

# 横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略

— 戦略に基づく具体的な取り組み（2015・2016年度版） —

## 2015年度実績・評価報告書

平成29年（2017年）2月

横須賀市

# 戦略体系図

## 基本目標1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する

(1) 新たな雇用の場の創出と企業等の成長支援

- ① 企業等の立地促進と産業集積
- ② 付加価値の高い製品・製品の創出支援（既存企業等のさらなる成長に向けた支援）
- ③ 創業・起業等の促進
- ④ アクティブ・シニアの移住による新たな雇用機会の創出
- ⑤ 事業引継ぎ支援による雇用の場の維持
- ⑥ 見込まれる労働力不足への対応

(2) 域内の仕事量の拡大

- ① 誘致企業からの発注促進
- ② ICT（情報通信技術）を利用した新しい働き方による仕事の獲得
- ③ 防衛関係施設の「しごと」の市内への発注促進・受注拡大に向けた支援

(3) 域外からの新たな需要の獲得（集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大）

- ① 集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大
- ② 交流人口の拡大に向けた新たなプロジェクト等の推進

(4) 域内消費規模の維持と潜在需要の喚起

- ① 定住促進施策の推進
- ② シニア層の需要喚起
- ③ 米海軍関係者の市内消費拡大

## 基本目標2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる

(1) 【再掲】市内経済の活性化と雇用の創出【基本目標1で記載】

- ① 新たな雇用の場の創出と企業等の成長支援
- ② 域内の仕事量の拡大
- ③ 域外からの新たな需要の獲得（集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大）
- ④ 域内消費規模の維持と潜在需要の喚起

(2) 出産・子育て環境、教育環境の充実

- ① 出産・子育て環境、教育環境の充実

(3) 住環境の充実

- ① 子育て世代の住宅購入の後押し
- ② 良質な住宅ストックの循環促進
- ③ 拠点市街地の形成に向けた取り組み
- ④ 交通事業者等との連携強化
- ⑤ 賃貸住宅の活用・再生支援

(4) 「住むまち」としての都市イメージの向上と積極的なプロモーション展開

- ① 都市イメージ向上のためのプロモーション展開

### 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 結婚を希望する若い世代の後押しと出産・子育て環境の充実

- ① 安定した生活基盤の確保に向けた取り組み
- ② 結婚のきっかけづくり
- ③ 妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない包括的な支援
- ④ 子育て世代の経済的負担の軽減
- ⑤ 子育て世代にやさしいまちづくりの推進

(2) 子育て世代が働きやすい環境づくり（仕事と子育ての両立の実現）

- ① 待機児童の解消、多様化する教育・保育ニーズへの対応
- ② 学童クラブの充実
- ③ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- ④ 【再掲】ICT（情報通信技術）を利用した新たな働き方の普及・促進

### 基本目標4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める

#### 【4-1 空き家対策・都市のコンパクト化】

(1) 人口減少社会を見据えたまちづくりの推進

（コンパクトな都市づくりの考え方としての「拠点ネットワーク型都市づくり」の推進）

- ① 拠点ネットワーク型都市づくりの推進

(2) 総合的な住宅政策の立案・推進（空き家を含めた既存ストックの有効活用、流動化の促進）

- ① 既存住宅の有効活用、流動化の促進に向けた取り組みの推進

(3) 増加が予測される空き家の管理を行き届かせるための取り組みの推進

- ① 空き家の適正な管理に向けた取り組み

#### 【4-2 健康・医療・福祉対策】

(1) 適切な医療・介護体制の整備、終末期の課題や不安の解消

- ① 在宅医療・介護連携の取り組みの推進
- ② 認知症の人と家族への対応
- ③ 医療・介護人材の確保・育成
- ④ 終末期の課題や不安の解消

(2) 健康管理意識の向上・行動変容を促すための取り組みの推進

- ① 生涯現役社会の実現
- ② 事業主への働きかけ

(3) 市民活動・地域活動への参画促進

- ① 地域の担い手づくり

# 目 次

<b>1 実績および評価の概要</b> .....	1
○横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略について.....	1
○総合戦略評価（効果検証）の枠組み.....	2
<b>2 具体的な取り組みの実績および評価</b> .....	3
<b>基本目標1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する</b> .....	6
（1）新たな雇用の場の創出と企業等の成長支援.....	7
（2）域内の仕事量の拡大.....	24
（3）域外からの新たな需要の獲得（集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大） ..	28
（4）域内消費規模の維持と潜在需要の喚起.....	40
<b>基本目標2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる</b> .....	44
（1）【再掲】市内経済の活性化と雇用の創出【基本目標1で記載】 .....	44
（2）出産・子育て環境、教育環境の充実.....	45
（3）住環境の充実.....	53
（4）「住むまち」としての都市イメージの向上と積極的なプロモーション展開.....	64
<b>基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b> .....	68
（1）結婚を希望する若い世代の後押しと出産・子育て環境の充実.....	69
（2）子育て世代が働きやすい環境づくり（仕事と子育ての両立の実現） .....	83
<b>基本目標4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める</b> .....	92
<b>【4-1 空き家対策・都市のコンパクト化】</b> .....	92
（1）人口減少社会を見据えたまちづくりの推進（コンパクトな都市づくりの考え方としての「拠点ネットワーク型都市づくり」の推進） .....	93
（2）総合的な住宅政策の立案・推進（空き家を含めた既存ストックの有効活用、流動化の促進） .....	96
（3）増加が予測される空き家の管理を行き届かせるための取り組みの推進.....	102
<b>【4-2 健康・医療・福祉対策】</b> .....	104
（1）適切な医療・介護体制の整備、終末期の課題や不安の解消.....	105
（2）健康管理意識の向上・行動変容を促すための取り組みの推進.....	117
（3）市民活動・地域活動への参画促進.....	126
<b>&lt;参考資料&gt;</b> .....	129
（1）地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業実績・評価.....	129

# 1 実績および評価の概要

## ○横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

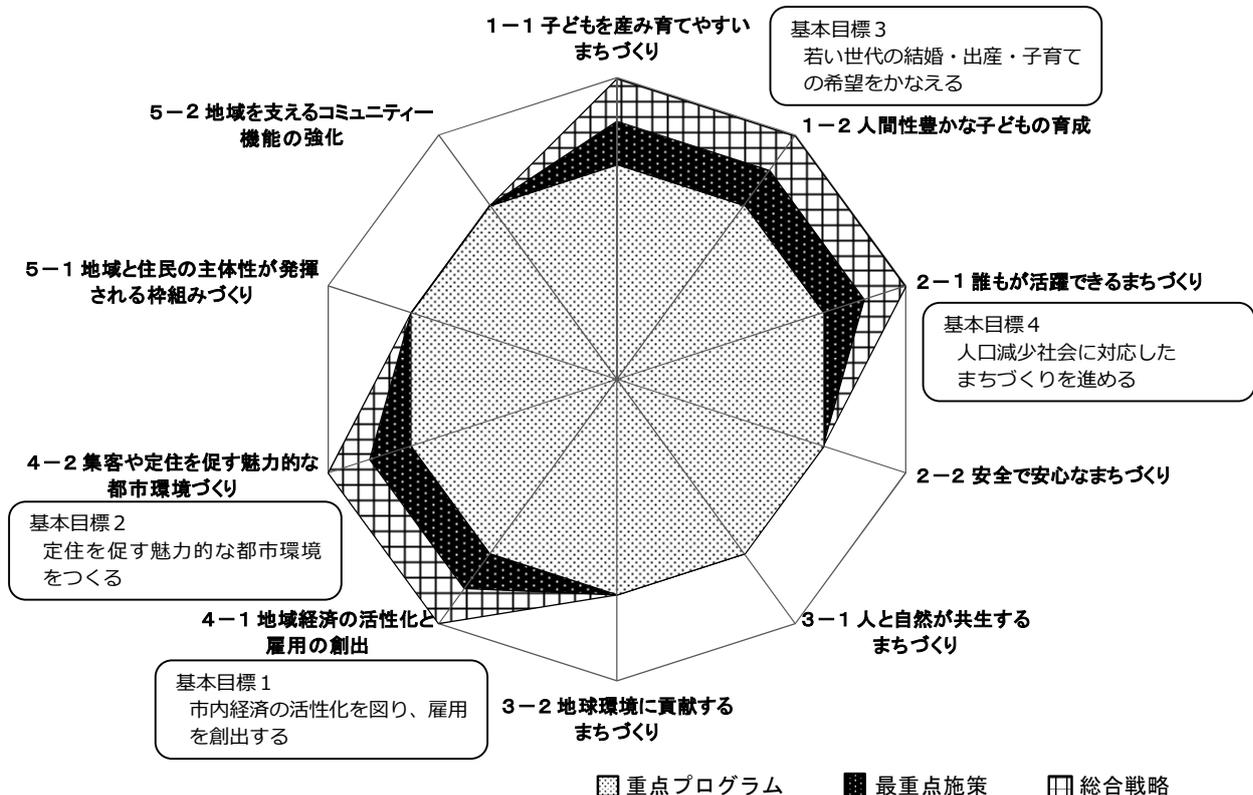
急激な人口減少、少子高齢化がもたらす負の影響を考察した上で、将来にわたって活力ある地域経済・社会をつくるため、まち・ひと・しごと創生法に基づく国および県が定める総合戦略を踏まえて、今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定している。

総合戦略では、基本計画に掲げた重点プログラムや、実施計画とその最重点施策など、これまで本市が重点課題の解消に向け取り組んできた施策展開を前提に、4つの基本目標の実現に向けた施策分野の取り組みをさらに充実させていくという考えの下、必要な施策を展開していく。

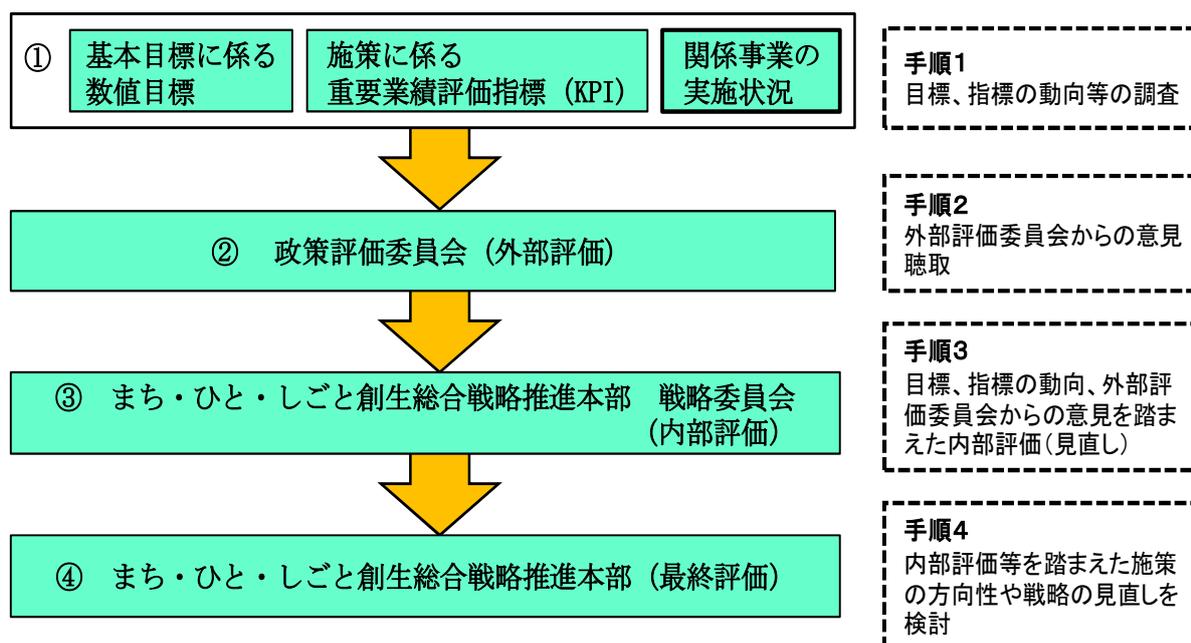
### 《総合戦略の政策分野（4つの基本目標）》

- 基本目標1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する
- 基本目標2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める
  - 【4-1 空き家対策・都市のコンパクト化】
  - 【4-2 健康・医療・福祉対策】

### 《総合戦略と総合計画の関係イメージ》



## ○総合戦略評価（効果検証）の枠組み



### 手順1. 基礎データの把握

評価の基礎データとするため、以下の状況を把握する。

- ・総合戦略数値目標の実績値
- ・重要業績評価指標（KPI）の進捗状況と現状分析・今後の方針
- ・事業の実績
- ・市民の実感 [市民アンケート]

### 手順2. 外部評価（横須賀市政策評価委員会）

基礎データを基に検証を行う。

- ① 4つの基本目標、具体的な施策のKPIについて、「目指す方向性に向かっているか」「どのようなところでそう思うのか・思わないのか」など、方向性に対する意見を聴取する。
- ② 各基本目標の実現のために、「今後、どのような取り組みを進めていけばよいか」、戦略の見直しを含めた意見を聴取する。

### 手順3. 内部評価

市民の実感（市民アンケート結果）・外部評価結果を踏まえて自己評価を行う。

- ① 関係部局において、今後の取り組みについて方向性の検討を行う。
- ② 関係部局長で構成するまち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部戦略委員会において、①を基に今後の施策の方向性や戦略の見直し等の検討を行う。

### 手順4. 最終評価

まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部において、今後の施策の方向性や必要に応じて総合戦略の見直し等を検討・決定する。

## 2 具体的な取り組みの実績および評価

### 【具体的な取り組みについて】

2016年度の新規・拡充事業、地方創生先行型・先行型（上乘せ）・加速化交付金充当事業などを中心に記載している（既存事業も含む）。内容については、毎年度、見直し（修正・追加）を行う。

### 【数値目標・重要業績評価指標（KPI）について】

#### ◆数値目標

- ・基本目標の達成状況を測るために設定
- ・原則、行政活動（事務事業）がもたらす結果ではなく、政策が実現を目指す状態「期待される姿」を示すものとして設定（直接的な結果に近い中間的ものを含む）

#### ◆重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）

- ・施策の進捗状況を検証するために設定
- ・基本目標に掲げた具体的な施策（本戦略では○数字に当たる部分）ごとに設定
- ・行政活動（事務事業）がもたらす結果を中心に設定（一部間接的なものを含む）

※数値目標、重要業績評価指標は、実施計画や経済、子育て、福祉など分野別の計画で掲げているものを中心に設定

#### ◆目標・指標の尺度・表記について

尺度	表記
毎年（度）で測るもの	／年（度）
計画期間中の累計値で測るもの	（累計）
計画期間中の最終年（度）で測るもの	記載なし

【重要業績評価指標（KPI）の実績値に対する進捗状況（達成状況）判定方法について】

判定基準	進捗状況
計画期間中の目標を当該年度で達成している場合	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
計画期間中の目標を当該年度で達成していないが、最終年度（2019年度）の目標達成に向け順調に進んでいる場合	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
計画期間中の目標を当該年度で達成しておらず、最終年度（2019年度）の目標達成に向けて改善が必要な場合	やや遅れている (☆☆)
計画期間中の目標を当該年度で達成しておらず、最終年度（2019年度）の目標達成に向けて見直しが必要な場合	遅れている (☆)
事業未実施（実績値なし【2016年度新規事業】）の場合	—

【2015年度実績における重要業績評価指標（KPI）の進捗状況（達成状況）について】

2015年度実績一覧

進捗状況（達成状況）	基本目標					計	
	1	2	3	4-1	4-2		重複除く
順調に進んでいる (☆☆☆☆)	4件	3件	3件	1件	2件	13件	10件
概ね順調に進んでいる (☆☆☆)	6件	1件	5件		4件	16件	16件
やや遅れている (☆☆)	3件	4件	4件	2件	3件	16件	16件
遅れている (☆)		1件	2件			3件	1件
— <sup>(※)</sup>	3件	3件	1件	5件	6件	18件	12件
計	16件	12件	15件	8件	15件	66件	55件

※2016年度新規事業等で判定不能のもの

---

## 基本目標ごとの具体的な取り組みの実績および評価

---

## 基本目標 1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する

### <数値目標>

項目	直近値／基準値	目標値	2015年[度] 実績値
<b>新規求人数</b> ハローワーク横須賀管内の年間新規求人数	11,296人 (2014年)	12,000人	11,986人 (2015年)
<b>延観光客数</b> 横須賀市を訪れた観光客(入込観光客)の推計延人数(年間)	785万人 (2014年)	819万人	868万人 (2015年)
<b>「地域経済の活性化と雇用の創出」に対する市民満足度</b> 市民アンケートにおける「地域経済の活性化と雇用の創出」(現在の実感)についての肯定的な回答割合と否定的な回答割合の差(DI) (「基本計画重点プログラム市民アンケート」)	▲28.3ポイント (2013年度)	5.0ポイント 以上改善	4.9ポイント 悪化 〔2016年5月 ▲33.2ポイント〕
<b>事業所開業率(創業比率)</b> 期首において既に存在していた事業所に対する新たに開設した事業所を年平均した割合(計画最終年度以前の直近調査結果と比較) ※直近調査での県内市の最高値:2.69% (総務省・経済産業省「経済センサス」)	2.0% (2009~2012年)	2.7%※	6.3% 直近調査(2012~2014年) での年平均値

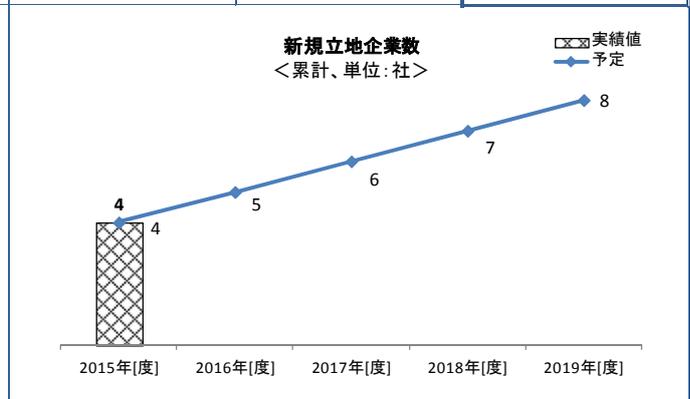
**(1) 新たな雇用の場の創出と企業等の成長支援**

**① 企業等の立地促進と産業集積**

市内における雇用機会の拡大や経済波及効果など、新たな事業所等の立地が地域経済に与える影響や本市が持つ特性を踏まえ、エネルギー・ICT（情報通信技術）・観光・海洋技術等の今後成長が期待される分野の企業や研究機関など、域内の人口や消費需要の影響を受けにくい事業所等の立地に向けた取り組みをさらに進める。

**<重要業績評価指標（KPI）>**

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>新規立地企業数</b> 誘致活動により新たに立地した企業数 ※毎年度1社の立地（2015年度実績：4社）	—	8社（累計）	4社

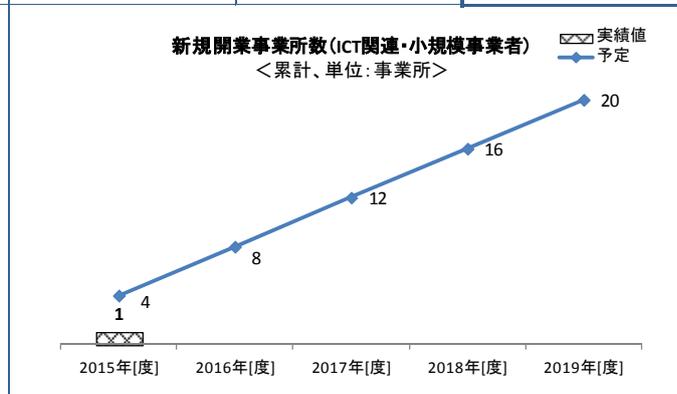


**実績値の分析**

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる（☆☆☆）
現状分析・今後の方針	<p>企業等の立地促進と産業集積に向けて、エネルギー・ICT・観光等の今後成長が期待される分野をはじめ、4社（下記参照）の企業誘致が実現した。2016年度に（株）ニフコ本社・新実験棟、2018年度には日本エア・リキード（株）など成長分野の企業の操業が決定しており、今後も継続的に取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー製菓（株） 冷凍ケーキ等の製造</li> <li>・日本エア・リキード（株） 産業・医療ガスの製造販売、産業・医療ガス関連機器の製造販売産業・医療ガス関連サービス、大型空気分離装置などのプラントエンジニアリング事業</li> <li>・（株）JVCケンウッド・クリエイティブメディア CD、DVD、Blu-ray等の記録済み光ディスク開発・製造・販売</li> <li>・ウイング興産（株） 飲食・物販・温浴施設の営業</li> </ul>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度]実績値
新規開業事業所数 (ICT 関連・小規模事業者) 開業支援や誘致活動により新たに開業した ICT 関連事業者および小規模事業者の事業所数	—	20 事業所 (累計)	1 事業所



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	市外の ICT 関連・小規模事業者の市内進出にあたり、条件にマッチする企業の把握ができていない。 今後は情報収集に努めるとともに市外への PR 方法を検討する必要がある。

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

- ア. 今後成長が期待される分野、国家プロジェクトに関連する分野の企業や研究機関の誘致
- ▶ 新たな立地に対する支援 (税の優遇措置、奨励金の交付)、事業者の市内転入の促進、水道利用加入金の免除、既存企業の設備投資に対する支援など企業の誘致に向けた取り組みを推進する。  
<2015 年度: 日本エア・リキード株式会社>

【2015 年度 (平成 27 年度) 実績】

- 【企業立地奨励金の交付】 3 件
- 【企業等拡大再投資奨励金の交付】 1 件
- 【新規立地事業所等就業者転入支援補助金】 6 件
- 【既存企業の設備投資減税】 6 件

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 通勤・物流・観光面の利便性を高めるなど、交通事業者等と連携し、企業等が進出しやすい環境を整える取り組みを推進する。（横浜横須賀道路の料金値下げ、スマートインターチェンジの開設、モーニング・ウィング号の運行など）

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- ・三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟を通じ、国・県・NEXCO 東日本等に要望活動を行った。  
（総会、要望活動を各1回、計2回実施し、国・県・NEXCO 東日本等に要望を伝達した）
- ・2015年7月に、（仮称）横須賀 PA スマートインターチェンジの連結許可が得られた。また、2016年4月から、横浜横須賀道路の通行料金値下げが決定された。

## \*工業系地域への誘致

新たに立地する企業だけでなく、既存企業の設備投資や集約・統合型の企業立地に対して積極的に支援する。

<2015年度：ファミリー製菓株式会社、株式会社 JVC ケンウッド・クリエイティブメディア>

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- 【企業立地奨励金の交付】 3件
- 【企業等拡大再投資奨励金の交付】 1件
- 【新規立地事業所等就業者転入支援補助金】 6件
- 【既存企業の設備投資減税】 6件

## \*観光関連企業の誘致

豊かな自然、多彩な文化や農水産物など観光資源に恵まれた地域特性を生かし、宿泊施設や大規模飲食施設など観光関連施設の誘致を推進する。

<2015年度：ウイング興産株式会社（飲食、物販、温浴施設等）>

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- 【進出企業】  
ウイング興産（株） [飲食・物販・温浴施設の営業]  
2016年11月 操業開始予定

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

### \*エネルギー関連企業等の誘致

現在、長期計画停止している横須賀火力発電所のリブレース誘致に向けた取り組みを推進する。  
今後成長が期待させるエネルギー関連分野の企業や研究機関の集積を図る。

### 【2015年度（平成27年度）実績】

- ・東京電力に対し横須賀火力発電所の恒久的な稼働要請を行った。

### \*海洋・海底探査技術関連企業・研究機関等の誘致

海洋資源調査産業の創出を目指すという国の方向性の中、関係する研究機関の集積していること、海に面している地形的な特性を生かし、本市が海洋技術の開発拠点となるための取り組みを検討・推進する

### 【2015年度（平成27年度）実績】

- ・自作の水中ロボットによる競技会やプレゼンテーションを行う「水中ロボットコンベンション」がJAMSTECで行われた。
- ・市内研究機関の研究内容・研究成果を学び、市の施策との連携を図るきっかけづくりとして、市職員による研究機関の視察を実施した（1回）。

- イ. ICT関連事業者・小規模事業者の集積 ▶ ICT関連事業者や小規模事業者の市内進出を促進するため、本社等の移転や支店設置に対して支援する。

### 【2015年度（平成27年度）実績】

- 【小規模事業者進出補助金】 1件

### \*YRP（横須賀リサーチパーク）への誘致

情報通信分野における最先端の研究機関が集積する強みを生かし、情報通信産業を中心に、今後成長が期待される分野の企業や研究機関のさらなる集積を図る。

### 【2015年度（平成27年度）実績】

- 【YRPテナントビル入居補助金】 1件

## \*ヨコスカバレー構想（※）の推進

新たな企業誘致・企業集積のあり方としての「ヨコスカバレー構想」を推進するとともに、働く場所を選ばない ICT（情報通信技術）関連企業の進出を促進する。

<2015 年度：オフサイトミーティング（社外における合宿形式のミーティング）の利用支援>

※ICT 分野での起業や新規事業展開を積極的に応援することによって、市内に ICT 関連事業者の集積を図っていこうとする構想

## 【2015 年度（平成 27 年度）実績】

## 【オフサイトミーティング（社外における合宿形式のミーティング）の利用支援】

18 社利用（2015 年 11 月～2016 年 3 月）

## 【ハッカソン、アイデアソンの開催】

## ・横須賀カレーハッカソンの開催

ご当地カレーナンバー 1 の「よこすか海軍カレー」にちなんで、カレーをテーマにしたハッカソンを開催  
1 月 23 日・24 日 ヴェルクよこすか 参加者延べ 14 人

## ・3 市連携（鎌倉・横須賀・横浜）ハッカソンの開催

各市で開催したハッカソンの成果発表（横須賀市はカレーハッカソン）と、ワークショップを開催  
2 月 20 日 横浜市立大学金沢八景キャンパス  
参加者 40 人

## ・（株）ニフコとのアイデアソンの開催

市内企業の（株）ニフコとコラボレーションし、ニフコの製品や技術を活用して本市の課題を解決するアイデアソンを開催  
1 月 18 日（株）ニフコ技術開発センター  
参加者 24 人

## ②付加価値の高い製品・製品の創出支援（既存企業等のさらなる成長に向けた支援）

付加価値（※）の多寡が地域経済や雇用に大きな影響を及ぼすと考えられることから、付加価値の高い製品・農水産物・加工品・サービス等を創出し、地域経済をけん引する事業者を積極的に支援する。

また、先端的な技術や研究成果を有する研究機関などとの連携を強化し、新たな事業の創出につなげるための取り組みを推進する。

※企業の営業利益に人件費・減価償却費等（設備投資）を加えたもの

### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>製造業設備投資件数</b> 市内製造業者が企業等立地促進制度を利用して行った設備投資件数	6件 (2014年度)	5件／年度	6件

**製造業設備投資件数**  
<単位: 件>

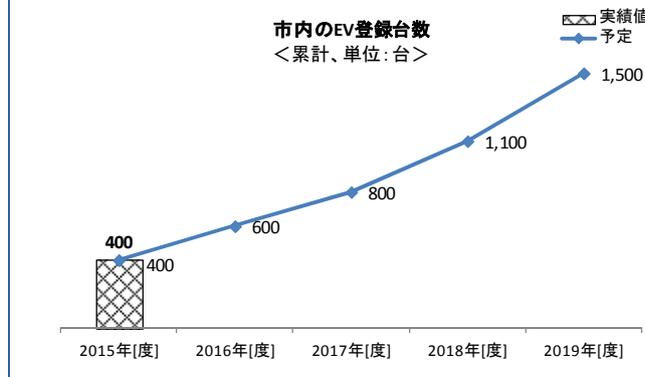
年度	実績値	予定
2015年[度]	6	5
2016年[度]	-	5
2017年[度]	-	5
2018年[度]	-	5
2019年[度]	-	5

### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	市内企業を訪問し、設備投資のニーズ把握することができている。今後も市内企業との連絡を密にとっていく。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
市内のEV登録台数 EV（電気自動車）の登録台数	約300台 (2014年度)	1,500台	約400台



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>経路充電を中心とした充電インフラ整備が進んだことで、今後もEV台数は増えていくと考えられる。</p> <p>目標達成に向け、今後は日産自動車との協定に基づき、普及のカギとなる共同住宅や事業所の通勤車両用の充電器普及に重点的に取り組む。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

ア. 既存企業等のニーズを踏まえた成長支援、新分野進出など製品やサービスの高付加価値化に取り組む事業者等への支援

▶ 技術力向上・技術開発に対する設備投資などイノベーションに取り組む製造業事業者を支援する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【ものづくり技術開発促進事業補助金】  
補助金支出 2件

▶ 企業知名度アップや製品・技術のPRを積極的に展開する事業者を支援する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【企業PR補助金】  
補助金支出 4件（産業見本市出展：1件、パンフレット作成2件、ホームページ作成1件）

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 市民、企業、地域関係団体などから、産業振興など地域活性化の障壁となっている規制の見直しに関する提案を受ける場を設置し、時代や環境の変化に即した見直し（規制改革）に向けた検討を進める。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

・市が定めている規制の有無等について庁内関係課へヒアリングを行い、現状を把握した。また、各中核市の地方版規制改革会議の設置状況等について調査を行った。以上を踏まえ、今後の取組方針を検討した。

**イ. ICT事業者等の経営基盤の強化に向けた支援**

- ▶ 事業組合の設立、PRに対する助成、取引先の開拓、マッチングイベントの開催など、経営基盤強化に向けた取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【ICT関連事業協同組合設立補助の新設】**

設立にかかる経費の一部を助成

**【ICT事業者等PR補助の新設】**

市外見本市への出展費用、webサイトへの広告掲載料の一部を助成

- ▶ IoT（※）分野における最先端無線技術者の育成を支援する。  
※あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【プレセミナーの開催】** 2016年3月4日（参加者31人）

**ウ. 民間事業者への協力による横須賀発のEV（電気自動車）の本格普及に向けた取り組みの推進**

- ▶ 充電インフラの整備に対する助成、民間事業者の購入助成など普及に向けた取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【EV普及を促進するための助成制度の実施】**

民間事業者へのEV購入助成 6件7台

民間事業者・共同住宅への充電器設置費助成 2件2基

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- エ. 農水産品の高付加価値化に向けた支援 ▶ 横須賀産野菜の認知度向上、ブランド化、販路拡大に向けた取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

- ▶ 農水産物等の付加価値向上を図る6次産業化、機能性食材の開発、規格外産品等の有効利用など、生産者や事業者が行う産品の高付加価値化や研究開発に対して支援する。

【2015年度（平成27年度）実績】

- ・神奈川県と連携し、6次産業化に取り組む農水産業者や団体に対して適時情報提供を行った。
- ・種苗業者と連携し、市内の若手農家が付加価値の高い機能性野菜の栽培を行うための支援を行った。

- オ. 市内に立地する研究機関間、研究機関と企業等との連携強化 ▶ 新たな技術や付加価値の高い製品などの創出を図るため、本市に立地する研究機関同士、大学や企業との連携の強化に向けた取り組みを検討・推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

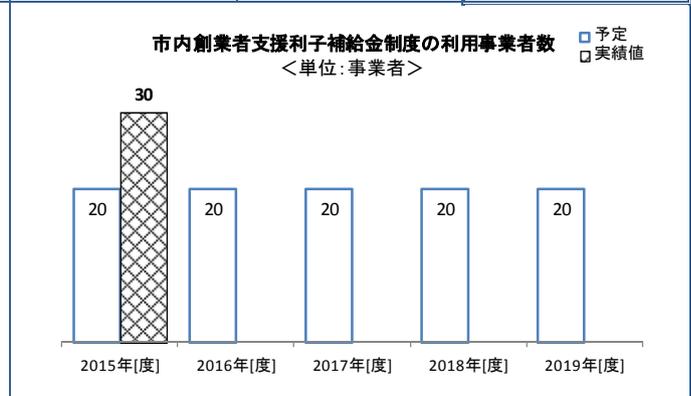
### ③創業・起業等の促進

さまざまな分野での創業や新事業の展開を支援し、雇用の創出につなげるとともに、ICT を活用した場所や時間を選ばない柔軟な働き方として、クラウドソーシングによる「自営型テレワーク」(※)の普及・促進を図る。

※クラウドソーシングとは、従来、従業員が行っていた仕事を、公募するような形で不特定多数の請負者のネットワークにアウトソーシング(業務委託)すること  
 テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方で、企業に勤務する被雇用者が行う「雇用型」と個人・小規模事業者等が行う「自営型」がある。

#### <重要業績評価指標(KPI)>

項目	直近値/基準値	指標値	2015年[度] 実績値
市内創業者支援利子補給金制度の利用事業者数  金融機関から新規開業のための融資を受け、市内で創業した事業者に対する補助制度の利用事業者数	19事業者 (2014年度)	20事業者/年度	30事業者

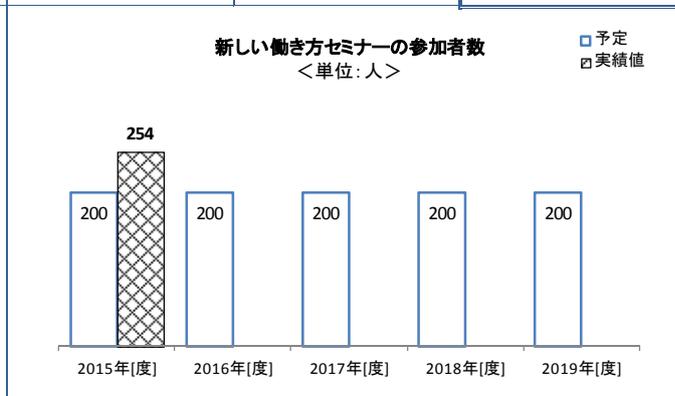


#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる(☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	2015年度より、利子補給の対象となる融資の範囲を拡大したことが実績値の増につながっている。 市内で創業する事業者を支援する制度は継続して実施していく。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
新しい働き方セミナーの参加者数 クラウドソーシングを広く普及させるためのセミナーの参加者数	—	200人／年度	254人

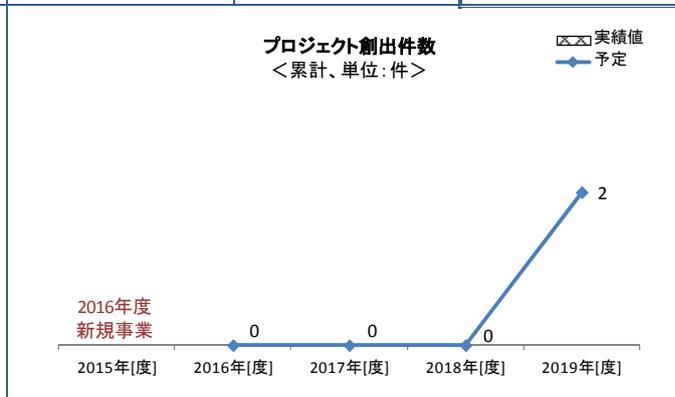


実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー (7回 参加者 223人)、スキルアップセミナー (2回 参加者 31人) 開催し、普及促進を図ることができた。引き続き実施していく。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
プロジェクト創出件数 市、横須賀商工会議所、地域金融機関が連携した新たな事業提案制度により事業化されたプロジェクトの件数	—	2件（累計）	— 2016年度新規事業

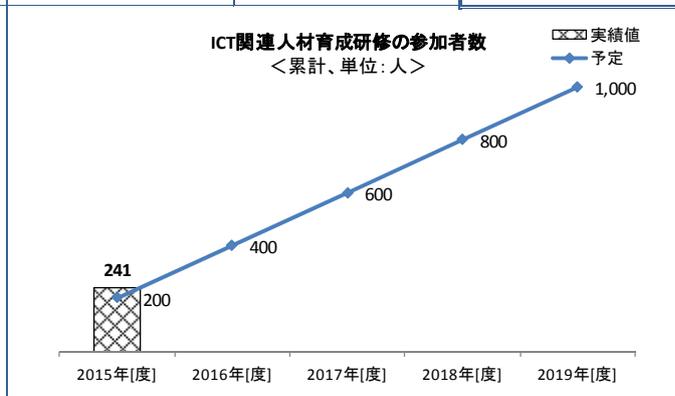


実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	横須賀商工会議所、地域金融機関と連携して、新たな事業提案制度の創設し、事業者からの提案の場（提案会議）の開催に向けた調整を行う。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
ICT 関連人材育成研修の参加者数 ICTに関連する研修の市内企業の従業員および市民の参加者数	—	1,000人(累計)	241人



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>市内在学の高校生向けのプログラミング研修の開催 (3回 延べ 54名参加)、ICTに関連する企業のスキルアップのための研修 (14回 187人参加) を行った。</p> <p>引き続き、受講者のニーズを的確に反映し、今後の研修内容を充実させていく。</p>

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 創業や既存事業者の経営改善・新事業展開に向けた動機付けの取り組み
- ▶ 創業・経営改善セミナーの開催、融資に対する利子補給など、各種支援や環境整備の取り組みを推進する。  
 <2015年度：セミナー開催、奨励金制度、利子補給など各種支援の拡充>

**【2015年度（平成27年度）実績】****【創業セミナーの開催】**

2015年7月7日～7月31日 全8回  
 横須賀商工会議所 参加者26人（応募定員30人）

**【経営改善セミナーの開催】**

2016年2月18日～年3月2日 全3回 横須賀商工会議所  
 参加者延べ33人（応募定員各回30人）

**【スタートアップオーディションの開催】**

応募数14件 第1次審査（書類審査）5件選出  
 最終選考会 2015年9月3日 ヴェルクよこすか  
 大賞（100万円）1件、入賞（30万円）4件

**【市内創業者支援利子補給】42件（30事業者）****【スタートアップセミナーの開催（市内企業の経営層、次世代の経営層となりうる中核社員対象）】**

2015年9月5日オリエンテーション、10月10日～2月13日 全6回 横須賀市産業交流プラザ  
 参加者25人（応募定員25人）

- イ. ICTスタートアップ（創業・新事業展開）に向けた動機付けの取り組み
- ▶ 新たなビジネスプランへの支援、事業シーズ（種）の発掘や各種セミナーの開催など、スタートアップに向けた動機付けの取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【創業セミナーの開催】**

2015年7月7日～7月31日 全8回  
 横須賀商工会議所 参加者26人（応募定員30人）

**【経営改善セミナーの開催】**

2016年2月18日～年3月2日 全3回 横須賀商工会議所  
 参加者延べ33人（応募定員各回30人）

**【スタートアップオーディションの開催】**

応募数14件 第1次審査（書類審査）5件選出  
 最終選考会 2015年9月3日 ヴェルクよこすか  
 大賞（100万円）1件、入賞（30万円）4件

**【市内創業者支援利子補給】42件（30事業者）****【スタートアップセミナーの開催（市内企業の経営層、次世代の経営層となりうる中核社員対象）】**

2015年9月5日オリエンテーション、10月10日～2月13日 全6回 横須賀市産業交流プラザ  
 参加者25人（応募定員25人）

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ウ. 新しい働き方（クラウドソーシング）の周知・啓発 ▶ セミナーやスキルアップに向けた講座の開催など、普及に向けた取り組みを推進する。

<2015年度：セミナー・講座の開催>

【P25.「基本目標1-(2)-②-ア」、P91.「基本目標3-(2)-④-ア」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【クラウドソーシングを活用した仕事づくりの支援】

- ・クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー開催  
7回 参加者 223人
- ・スキルアップセミナー開催  
2回 参加者 31人

- エ. ICT産業を担う人材の育成

- ▶ 市内にある高校の生徒を対象としたスマートフォンアプリ等の開発に関する研修会の開催など、ICT産業を担う人材の育成に向けた取り組みを推進する。

<2015年度：高校生を対象としたプログラミング研修の実施>

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【高校生を対象としたプログラミング研修の実施】

- ・市内高校生向け研修開催  
1回 2015年10月3日 ヴェルクよこすか  
参加者7人（応募者11人）
- ・個別学校向け研修開催  
2回  
2015年12月12日・19日 学校法人湘南学院 湘南学院高等学校 参加者延べ41人  
2016年3月15日 横須賀総合高等学校 参加者6人

- オ. 定住・交流人口の増、雇用の拡大や地域経済への波及効果が期待できるプロジェクトの創出に向けた支援

- ▶ 横須賀商工会議所、地域金融機関と連携して、地域特性を生かした交流の拠点・機会の創出が期待できるプロジェクトを推進する上で必要な融資や投資などの金融支援に結びつける場の提供や支援を行う。

【P39.「基本目標1-(3)-②-ア」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

#### ④アクティブ・シニアの移住による新たな雇用機会の創出

活動的な高齢者（アクティブ・シニア）の移住を進める「日本版 CCRC（※）」など、さらなる増加が見込まれるシニア層を意識した取り組みを検討・推進する。

※高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービス等を受けながら生涯学習や社会活動等に参加するような共同体（Continuing Care Retirement Community）

##### 【施策】

##### 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. アクティブ・シニアの移住の場の創出を目指す民間事業者との調整・協力 ▶ 移住の場の誘致・創出に向けた研究・検討の取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

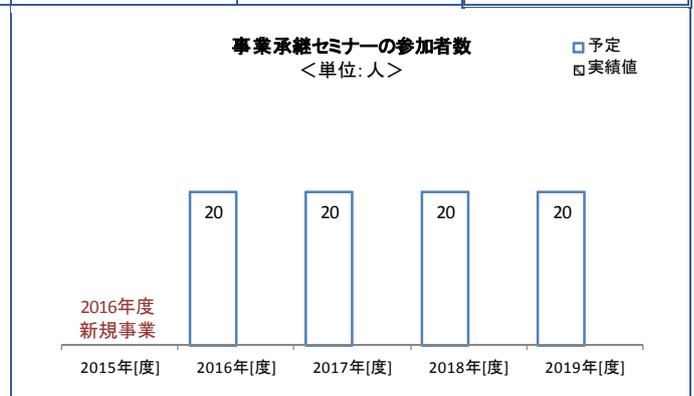
2015年度時点の実績なし

#### ⑤事業引継ぎ支援による雇用の場の維持

企業経営者の高齢化が進む中、成長力を有する事業者、雇用を支えている事業者が後継者の問題で廃業することのないよう、事業承継の円滑化に向けた支援に取り組む。

##### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
事業承継セミナーの参加者数 市内の経営者に事業承継について意識してもらうためのセミナーの参加者数	—	20人／年度	— 2016年度新規事業



##### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	<p>2016年度から事業を開始し、第1回のセミナーは多くの企業の参加を得た。</p> <p>今後は、年度内の第2回セミナー開催に向けた準備を進めていくとともに、次年度以降の事業承継支援に向けた、より具体的な方策を検討していく。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 横須賀商工会議所、地域金融機関と連携した市内事業者に対する動機付け
- ▶ 周知・啓発を図るセミナーや事業主等に対する研修など、事業承継の必要性、重要性の意識付け、対策への動機付けを図る取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

⑥見込まれる労働力不足への対応

地元での就職を希望する若者に対する支援のほか、見込まれる労働力人口の不足に対応するため、女性や定年退職後の高齢者がその担い手として活躍できるような取り組みを検討・推進する。

<重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>合同企業就職説明会の参加者数</b> 横須賀商工会議所等と共同開催する就職説明会の参加者数	252人 (2014年度)	250人／年度	201人

**合同企業就職説明会の参加者数**  
<単位:人>

□ 予定  
■ 実績値

年度	2015年[度]	2016年[度]	2017年[度]	2018年[度]	2019年[度]
予定	250	250	250	250	250
実績値	201				

実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	学生の就職環境が「売り手市場」であることや経済団体（経団連等）の就職活動解禁スケジュールに左右され、就職説明会開催時には就職先が既に決定している学生も多く、学生の来場者数が減少している。 しかし、その中でも出展企業へのヒアリングでは、参加者の22名が内定を得ることができた。 今後は、近隣大学等の協力を得て、さらなる周知・広報に努めていく。

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 地元での就職を希望する人への動機付け・きっかけづくり ▶ 新規卒業予定者・第二新卒者を対象とした市内企業合同就職説明会の開催などの取り組みを横須賀商工会議所と連携して推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【市内企業合同就職説明会の開催】**

- ・ 第1回（2015年9月3日）  
出展企業：31社 来場者：79人
- ・ 第2回（2016年3月15日）  
出展企業：34社 来場者：122人

- ▶ 市立中学校・高校への出前講座など、若年層に対する介護への関心を高める取り組みを推進する。

【P114.「基本目標4-2-(1)-③-イ」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】****【2016年度新規事業】実績なし**

- ▶ ハローワーク横須賀が開催する「新規高等学校卒業予定者 求人・求職情報交換会」に協力する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【新規高等学校卒業予定者 求人・求職情報交換会】**

2015年6月18日の開催に協力  
参加校：22校 参加企業：67社

**（2）域内の仕事量の拡大****①誘致企業からの発注促進**

新たな進出企業や誘致企業と市内企業等との取引を促進する。

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 誘致企業と市内企業の関係強化、取引促進 ▶ 市内企業に向けた紹介の場を提供など、横須賀商工会議所と連携した新たなビジネスチャンスの創出に向けた取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【受・発注商談会の開催】**

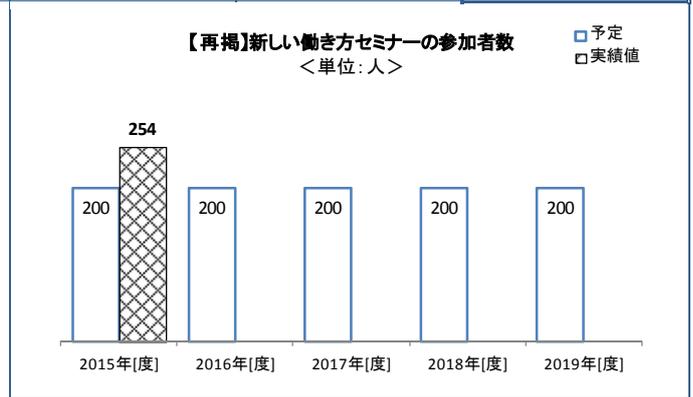
2015年7月7日 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット  
参加企業数 発注：45社（うち市内5社）  
受注：265社（うち市内13社）

②ICT（情報通信技術）を利用した新しい働き方による仕事の獲得

ICT を活用した場所や時間を選ばない柔軟な働き方として、クラウドソーシングによる「自営型テレワーク」の普及・促進を図る。

<重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
【再掲】新しい働き方セミナーの参加者数 クラウドソーシングを広く普及させるためのセミナーの参加者数	—	200人／年度	254人



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー（7回 参加者 223人）、スキルアップセミナー（2回 参加者 31人）開催し、普及促進を図ることができた。引き続き実施していく。

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 【再掲】新しい働き方（クラウドソーシング）の周知・啓発
- ▶ セミナーやスキルアップに向けた講座の開催など、普及に向けた取り組みを推進する。  
<2015年度：セミナー・講座の開催>  
 【P21.「基本目標1－（1）－③－ウ」、P91.「基本目標3－（2）－④－ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

【クラウドソーシングを活用した仕事づくりの支援】

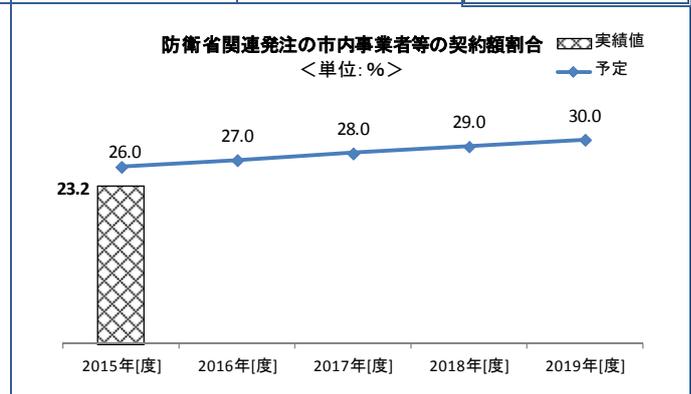
- ・クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー開催  
7回 参加者 223人
- ・スキルアップセミナー開催  
2回 参加者 31人

### ③防衛関係施設の「しごと」の市内への発注促進・受注拡大に向けた支援

米海軍基地、自衛隊施設、防衛大学校などの防衛関係施設から東京・横浜など域外の事業者が発注されている「しごと」が域内の事業者によく発注されるよう連携して検討を進めるとともに、それらの「しごと」を域内事業者がこれまで以上に多く受注できるよう支援する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>防衛省関連発注の市内事業者等の契約額割合</b> 防衛省関連の発注額で市内事業者等が契約した額の割合（年度） ※市内事業者等：市内に支店や営業所がある事業者を含む	23.6% (2014年度)	30.0%	23.2%



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>発注情報に関する説明会の開催、SSH0 資格取得認定講座の参加費用の一部負担による資格取得支援、入札の流れや落札経験のある事業者の声を集めた事例集の作成を行った。</p> <p>しかし、事業者へのアンケート等によると、多くの事業者がまだまだ防衛関係施設の入札に参加する意欲や経験が乏しいため、受注できていないと考えられる。</p> <p>今後は、引き続き SSH0 資格取得に対する支援を行うとともに、米海軍の入札に参加する市内事業者が増加する支援策を検討していく。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 市内事業者と米海軍の取引促進 ▶ SSHO 資格（※）取得認定講座の誘致や参加費用の一部負担、業者登録・契約書類作成、通訳等への経費の補助など、市内事業者の受注拡大に向けた支援を行う。

※米海軍の工事を請け負うために必要な資格

SSHO:現場安全衛生管理者 (Site Safety Health Officer)

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

【SSHO 資格取得支援】

資格取得講座（2015 年7月3日～5日）に参加した市内事業者への参加費一部負担 18 件

- イ. 防衛省関係業務の応札拡大に向けた課題の調査・分析 ▶ 市内事業者の「応札状況」「応札を妨げている要因」「応札に必要な支援策」など、応札する市内事業者の増加に向けて、調査・分析を行う。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

【取引事例集の作成】

米軍・自衛隊等の市内事業者の応札の増加を促進するため、入札の流れや、落札経験のある事業者の声を集めた事例集を作成した。

### (3) 域外からの新たな需要の獲得（集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大）

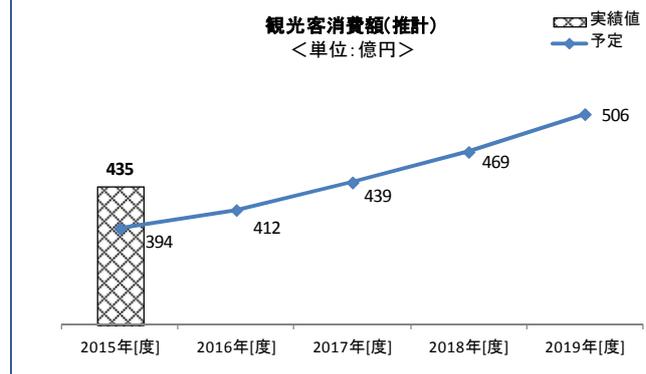
#### ①集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大

「観光・集客」を本市の成長分野として捉え、事業者とも連携しながら、今ある観光資源の磨き上げや新たな観光拠点の創出など、観光地としての魅力を高めることで、集客・交流人口の増加および来訪者の宿泊も含めた滞在時間の延長を図る。

また、現在策定中の「観光立市推進基本計画」との整合を図る。

#### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>観光客消費額（推計）</b> 横須賀市の宿泊客数、日帰り客数 <sup>(※1)</sup> にそれぞれの平均消費単価（三浦半島（鎌倉地区以外） <sup>(※2)</sup> ）を乗じて合算した額 （※1）出所：神奈川県入込観光客調査報告書 （※2）出所：神奈川県観光客消費動向等調査報告書  ※上記の推計額は横須賀市経済部の独自推計によるもので、神奈川県が毎年公表する「神奈川県入込観光客調査報告書」における本市の観光客消費額とは異なる。	386 億円 (2014 年度)	506 億円	435 億円 (速報値)



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる（☆☆☆）
現状分析・今後の方針	集客施設の日帰り客数が増加したことにより、観光消費額も前年と比べて増加している。 今後は、横須賀ツーリズムバス事業（※）などの施策により、平日の観光客数増加と市内滞在時間の延長による消費額の増加を図る。 ※観光バス招致のための助成制度

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 本市が持つ特性を生かした新たな観光拠点・ストーリー性を持った周遊ルートの創出
- ▶ 歴史的資源である横須賀製鉄所（造船所）の啓発活動、文化的価値の高い近代建築である田戸台分庁舎（旧横須賀鎮守府司令長官官舎）の一般公開やガイドツアーの実施、東京湾要塞跡（猿島砲台跡・千代ヶ崎砲台跡、走水低砲台跡を含む）の活用など、本市の文化や歴史を生かした取り組みを推進する。
- ＜2015年度：横須賀製鉄所（造船所）創設150周年記念事業（記念講演会・演奏会、ドライドック見学ツアー、物産展、海上自衛隊記念コンサート、記念パレード、博物館・ヴェルニー記念館特別展など）  
走水低砲台の活用に向けた環境整備リーフレットの作成・観光ツアーの開発など＞

【2015年度（平成27年度）実績】

【横須賀製鉄所（造船所）創設150周年記念事業】

＜海上自衛隊の全6隊の音楽隊を一堂に会して記念コンサート（名称：海上自衛隊バンドフェスティバル）＞

2015年10月10日 横須賀芸術劇場大劇場

入場者数 1,605人（応募者数 5,352人）

出演：海上自衛隊東京音楽隊、同横須賀音楽隊、同呉音楽隊、同佐世保音楽隊、同舞鶴音楽隊、同大湊音楽隊

＜日本最大級と銘打ち記念パレード（音楽隊パレードおよびアンコールステージ）（名称：横須賀パレード）＞

全国の海上自衛隊地方総監部音楽隊が一斉にそろい、米海軍第7艦隊音楽隊、県内有名マーチングバンド、本市をホームタウンとする横浜F・マリノス、横浜DeNAベイスターズをはじめ、海外からは、フランスサンシール陸軍士官学校、オーストラリア海軍カラーガードなど参加総数約1,200名が、横須賀を舞台に壮大で華麗なパレードを繰り広げた。

2015年10月11日 横須賀中央大通り～ドブ板通り～ヴェルニー公園

来場者数 30,000人（中央大通り 15,000人、ドブ板通り 2,000人、ヴェルニー公園 13,000人）

参加団体 26団体（参加者総数 1,216人）

## 【横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念事業】

## ＜講演会・演奏会＞

2015 年 11 月 15 日 横須賀芸術劇場 来場者数 1,363 人

- ・ 記念映像「近代日本のルーツ 横須賀製鉄所」上映
- ・ 横須賀市・富岡市友好都市提携締結式
- ・ 講演会「横須賀製鉄所からはじまる日仏交流」  
講師：外交評論家 磯村尚徳氏
- ・ 演奏会：神奈川フィルハーモニー管弦楽団による  
弦楽アンサンブル

## ＜ドライドック見学ツアー、物産展「ヨコスカ・マルシェ」＞

2015 年 11 月 14 日・15 日

- ・ 見学ツアー  
米海軍横須賀基地内ドライドック周辺エリア  
参加者 495 人
- ・ 物産展  
ヴェルニー公園 来場者 1,500 人

## ＜特別展示＞

「すべては製鉄所から始まった -Made in Japan の原点-」

2015 年 10 月 31 日～2016 年 1 月 31 日

自然・人文博物館本館、ヴェルニー記念館

## 【東京湾要塞跡の活用】

## ＜走水低砲台の活用に向けた環境整備＞

- ・ 旗山崎公園園路広場整備工事の完了
- ・ 「巡ってみよう横須賀の軍事遺産」パンフレット作成  
(AR アプリ対応)  
ガイドブック 30,000 部  
リーフレット 100,000 部
- ・ AR 携帯アプリの開発
- ・ 猿島公園専門ガイドツアーの企画
- ・ 民間事業者による観光ツアーの開発  
(東京湾要塞跡ツアー)
- ・ 走水低砲台跡整備事業  
(防護柵・階段等の安全対策 (2016.4.15 完了))

## ＜千代ヶ崎砲台跡＞

- ・ 千代ヶ崎砲台跡の特別公開とパンフレットの作成
- ・ 史跡の環境整備

- ▶ 観光バス招致のための助成制度の実施やヴェルニー公園前観光バス乗降所の設置など、観光バスの来訪、再来訪を促進する。

## 【2015 年度（平成 27 年度）実績】

【2016 年度新規事業】実績なし

- ▶ 横須賀集客促進実行委員会が主体となって、ドル街プロジェクト、サブカルチャーの活用など、本市の特性を生かした取り組みを推進する。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【観光マップ等の制作・発行】15種 956,000部  
 【ウォークイベントの開催】全5回、延べ5,312人参加  
 【ドル街よこすか】参加店舗89店舗  
 【サブカルチャーを活用したヨコカル祭】  
 2会場延べ12,300人

- ▶ 本市の魅力ある「自然観光資源」を守りながら身近にふれあうことができる「エコツアー」のさらなる推進を図る。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

・横須賀エコツアーサポート協会を運営し、各種支援を実施（パンフレット作成や研修会実施等）  
 ・新たな実施場所の選定に向けた検討の実施  
 ・エコツアー実施実績  
 518回 10,451人（猿島、観音崎、大楠・西海岸）

- ▶ 新たな施設の整備など、広域的な集客のある公園（長井海の手公園（ソレイユの丘）・くりはま花の国など）の魅力を高める取り組みを推進する。

<2015年度：長井海の手公園（ソレイユの丘）への大型遊具の設置>

【P82.「基本目標3-(1)-⑤-イ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【長井海の手公園（ソレイユの丘）への大型遊具の設置】  
 2016年3月12日 使用開始  
 入園者数は増加傾向  
 2015年3月(41,220人)、4月(41,272人)  
 2016年3月(53,471人)、4月(60,990人)  
 3、4月を比較すると、31,969人の増

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

イ. 本市観光振興の中核的組織である一般社団法人横須賀市観光協会の機能強化に向けた支援（「日本版DMO（※）」を視野に入れた取り組みの検討を含む）

▶ 外部人材の活用や人材育成など、日本版DMOの設立準備に向けた取り組みを推進する。

＜2015年度：観光マネジメント等研修会の実施＞

※さまざまな地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体（Destination Management/Marketing Organization）

**【2015年度（平成27年度）実績】****【観光セミナーの開催】**

全10回 延べ218人参加

（一社）横須賀市観光協会内に観光アドバイザーを設置

ウ. 地域の農水産物、歴史と関連性を持たせた商品・製品の創出や販売促進に向けた支援

▶ 本市の資源を生かしたおみやげ商品の開発、販路拡大など、市内事業者のビジネスチャンス拡大に向けた取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【よこすか産業まつり2015の開催】**

来場者数 26,500人

・横須賀おみやげコンテスト2015、のりだんだんおべんとうコンテストの開催

エ. 宿泊施設・大規模飲食施設等の整備促進

▶ 豊かな自然、多彩な文化や農水産物など観光資源に恵まれた地域特性を生かし、宿泊施設や大規模飲食施設など観光関連施設の誘致を推進する。

＜2015年度：ウイング興産株式会社（飲食、物販、温浴施設等）＞

**【2015年度（平成27年度）実績】****【進出企業】**

ウイング興産（株） [飲食・物販・温浴施設の営業]

2016年11月 操業開始予定

▶ 「横須賀中央エリア再生促進アクションプラン」に基づき、特別減税制度および商業施設や宿泊施設に対する奨励金制度等を活用し、再開発・建て替え事業を促進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

・大滝町二丁目地区市街地再開発ビルに対する、横須賀中央エリア再生促進特別減税制度の適用

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- オ. 農水産業が盛んな地域における体験型の宿泊（民泊）、外国人家庭での英語生活体験の推進
- ▶ 近隣都市を含む教育旅行、インバウンド（訪日外国人観光客）、一般客など、民泊受入体制・環境を整えるための支援をする。  
【P36. 「ク」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- ・インバウンド調査・研究のための現地訪問セールス1回
- ・タイTV制作会社2社受入、タイ国内で計11回放送
- ・修学旅行等の教育旅行の誘致（民泊の推進）5件うち外国人2件
- ・民泊受入 2件（5件中）、受入家庭 102件

- ▶ 市内外の学生を自宅に受け入れる（ホームステイ・ホームビジット）外国人家庭の発掘・育成に向けた取り組みを推進する。

【P49. 「基本目標2-（2）-①-エ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- 【横須賀ホームビジット受け入れ家庭の発掘・育成】  
ホストファミリー希望者研修の実施（講習会・体験実習）  
2回（2016年1月16日・23日、2月20日・27日）

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

カ. 三浦半島の市町や本市と歴史的つながりを持つ自治体、また、観光などの事業者と連携した広域的な観光・集客施策の推進

▶ 神奈川県、三浦半島4市1町の連携による「三浦半島魅力最大化プロジェクト」の取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

・三浦半島地域の人口減少対策に取り組むため、2016年3月に、県と三浦半島の4市1町が連携して「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定した。

▶ 三浦半島観光連絡協議会（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町並びにこれら地域の観光産業に関わる団体）による集客促進のための共同PRの取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【サイクリング環境整備】**

- ・エイドステーション設置 7か所(述べ45ヶ所)
- ・ラックレンタル 6台(延べ25台)
- ・マイルストーン設置 8基

**【デジタルサイネージ事業】**

- ・デジタルサイネージ設置 8台

**【PR 動画製作】**

街頭放映7か所、CM放送3局38回オンエアー

**【PR 番組制作】**

J-COM 2本

▶ 三浦半島4市1町の市長・町長による三浦半島サミットを通じた広域的な取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【三浦半島サミットの開催】**

2回

- ・2015年5月21日（開催地：葉山町）
- ・2015年11月2日（開催地：横須賀市）

▶ 旧軍港4市（横須賀市、呉市、佐世保市、舞鶴市）の連携による「日本遺産」の認定に向けた取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【日本遺産認定に向けての会合等】**

12回

**【旧軍港四市・近代化遺産フォーラム開催】**

2015年11月26日

**【日本遺産申請】**

2016年2月9日（2016年4月25日 日本遺産認定）

- ▶ 歴史的資源である横須賀製鉄所（造船所）に関係の深い富岡市・高崎市倉渕町（旧倉渕村）との相互連携を推進する。  
 <2015年度：群馬県富岡市と友好都市提携を締結>

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【富岡市との交流】

- ・友好都市提携締結式（2015年11月15日）
- ・富岡小学校児童133人が修学旅行でヴェルニー記念館、ヴェルニー公園を見学（2015年11月6日）
- ・よこすかカレーフェスティバル2015（5月9、10日）、よこすか産業まつり2015（11月7、8日）、横須賀製鉄所（造船所）150周年記念物産展「ヨコスカ・マルシェ」（11月14、15日）に富岡市が出店
- ・パンフレットの相互配架

## 【高崎市倉渕町との交流】

- ・よこすか産業まつり2015（11月7、8日）、横須賀製鉄所（造船所）150周年記念物産展「ヨコスカ・マルシェ」（11月14、15日）に高崎市倉渕町が出店
- ・ヴェルニー・小栗祭式典に倉渕中学校教諭・音楽部生徒18人が出席し、海上自衛隊音楽隊と合同演奏（2015年11月15日）

- ▶ 三浦按針（ウィリアム・アダムズ）にゆかりの4市（臼杵市、伊東市、横須賀市、平戸市）の相互連携による取り組みを推進する。  
 <2015年度：ANJINサミットの開催>

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【第3回 ANJIN サミットの開催】

2015年4月7日 横須賀芸術劇場 来場者数1,194人

- ・基調講演「歴史の中の横須賀」  
 講師：日本総合研究所理事長 寺島実郎氏
- ・パネルディスカッション 「三浦按針が現在（いま）に伝えたもの」  
 コーディネーター：寺島実郎氏  
 パネリスト：徳川宗家18代当主 徳川恒孝氏、  
 浄土寺住職 逸見道郎氏
- ・アトラクション  
 市立横須賀総合高等学校吹奏楽部、  
 緑ヶ丘女子高等学校バトン部
- ・市民団体パネル展示
- ・各市の銘菓等の販売

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

キ. 横浜横須賀道路の料金値下げやスマートインターチェンジの開設など基盤整備を契機としたプロモーションの推進

▶ 高速道路のパーキングエリアやサービスエリア（神奈川県、埼玉県、千葉県 の 7カ所）で市内施設等の特典（割引等）付きチラシを配布するキャンペーンの実施など、集客促進に向けたプロモーションを図る。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

【2016 年度新規事業】実績なし

ク. 東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、羽田空港への近接性、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン（※）」における高い評価などを生かし、宿泊も含めたインバウンド（訪日外国人観光客）の増加に向けた取り組みの推進

▶ 主要観光施設や商店街を対象としたインバウンド（訪日外国人観光客）の受け入れに対する動機付け、環境整備に対する支援を行う。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

・インバウンドセミナーの開催 2 回  
（うち 1 回はツアーデスクと共同）  
・タイ TV 制作会社来日時に観光地・買物ができる商店街などを紹介

▶ 近隣都市を含む教育旅行、インバウンド（訪日外国人観光客）、一般客など、民泊受入体制・環境を整えるための支援をする。

【P33.「オ」にも掲載】

※豊かな自然や多彩な文化に触れることができる興味深い観光地が紹介されており、掲載地は旅行者へのお薦め度という観点で、星なしから「わざわざ旅行する価値がある」という三つ星まで分類されている。  
三浦半島は、「寄り道する価値がある」を意味する二つ星の評価を得ている。  
（ミシュランホームページより）

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

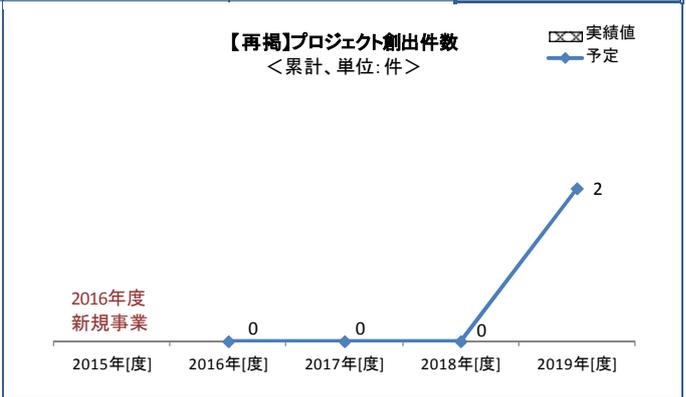
・インバウンド調査・研究のための現地訪問セールス 1 回  
・タイ TV 制作会社 2 社受入、タイ国内で計 11 回放送  
・修学旅行等の教育旅行の誘致（民泊の推進）5 件うち外国人 2 件  
・民泊受入 2 件（5 件中）、受入家庭 102 件

②交流人口の拡大に向けた新たなプロジェクト等の推進

ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致をはじめ、本市の自然環境を生かした海洋・アウトドアなどのスポーツ拠点整備やスポーツを中心とした交流人口の拡大を図る。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】プロジェクト創出件数</b> 市、横須賀商工会議所、地域金融機関が連携した新たな事業提案制度により事業化されたプロジェクトの件数	—	2件（累計）	— 2016年度新規事業



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	横須賀商工会議所、地域金融機関と連携して、新たな事業提案制度の創設し、事業者からの提案の場（提案会議）の開催に向けた調整を行う。

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 地域特性を生かした交流の拠点・機会の創出

- ▶ ナショナルトレーニングセンター拡充施設や大規模スポーツ大会等の誘致活動、BMX やスケートボードなどのアクティブスポーツ施設誘致に向けた調査研究の取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致】

- ・ 要望活動  
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣（2015年8月6日）
- ・ 誘致候補地視察  
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣（2015年12月16日）  
競技団体関係者（随時） 6件
- ・ 誘致委員会  
第3回総会の開催（2016年3月30日）

【大規模スポーツ大会等の誘致活動】

- ・ マウンテンバイク大会  
2015年11月14日  
「メリダ・ミヤタカップ 2015in 横須賀 Y-HEART」

【アクティブスポーツ施設誘致に向けた調査研究】

- 横須賀商工会議所より「アクティブスポーツ施設の誘致に向けた共同研究への参画依頼を受けた。  
(2015年10月13日)

- ▶ 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致に向け、神奈川県と連携した取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

- ・ 神奈川県が作成した事前キャンプパンフレット「KANAGAWA 事前キャンプガイド」並びにホームページに本市の受け入れ可能な競技施設や宿泊施設を掲載し、神奈川県と協働して各国の大使館や競技団体等への紹介活動を行った。
- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致県・市町村担当者会議への参加 3回

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 横須賀商工会議所、地域金融機関と連携して、地域特性を生かした交流の拠点・機会の創出が期待できるプロジェクトを推進する上で必要な融資や投資などの金融支援に結びつける場の提供や支援を行う。

【P21.「基本目標1-(1)-③-オ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

- ▶ 全国大会予選会など公式戦の開催、選手強化合宿の利用など、交流人口の拡大に向け既存施設内の機器等の整備を行う（エアライフル、ビームライフル競技）。

<2015年度：くりはま花の国へのエアライフル、ビームライフル競技関係機器等導入>

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【エアライフル電子標的システム導入】

2016年2月19日

導入により、公式戦等の開催が可能になった。横須賀ライフル協会のホームページにも掲載し、周知を図っている。

## 【ビームライフル機器購入】

2016年2月23日

4月からの有料貸し出し開始

※導入後、横須賀ライフル協会のホームページを見て10件程度の問い合わせあり  
全日本キッズ大会（7・12・3月）の開催およびその他の公認の大会について、3月時点で4大会追加開催決定

- ▶ 市内に研究機関が多く立地しているという特性を生かし、国際学会等の誘致に向けた取り組みを推進する。

【P49.「基本目標2-(2)-①-ウ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【学会開催の決定】

1件

日本微生物生態学会（2016年10月開催）

## (4) 域内消費規模の維持と潜在需要の喚起

### ① 定住促進施策の推進

【基本目標2で記載】

### ② シニア層の需要喚起

さらなる増加が見込まれるシニア層の需要を喚起する取り組みを検討・推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
シニアマーケットセミナーの参加者数(平均) 横須賀商工会議所と共同開催するシニアマーケットセミナーの年間平均参加者数	18.5人 (2014年度)	20人/年度	20人

シニアマーケットセミナーの参加者数(平均)  
<単位:人>

年度	参加者数(平均)
2015年[度]	20 (実績値)
2016年[度]	20 (予定)
2017年[度]	20 (予定)
2018年[度]	20 (予定)
2019年[度]	20 (予定)

#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	横須賀商工会議所と共同で、シニアマーケットセミナーを開催した。 今後もシニアマーケットの重要性の啓発、ビジネスチャンスのノウハウを提供するセミナーを開催し、意欲的な事業者を支援する。

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 外出促進、シニアマーケットを商機と捉え積極的に取り組む事業者への支援

- ▶ 京浜急行バスと連携した「はつらつシニアパス」（※）の発行、割引や優待サービスを行うなど購買意欲の向上を図る「はつらつシニア応援ショップ」を支援する。

※65歳以上の市民限定の市内路線バス6カ月間乗り放題のバス

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- ・ はつらつシニア応援ショップ一覧、お出かけ情報の作成
- ・ 6月発行枚数 8,005枚、12月発行枚数 8,191枚  
合計 16,196枚発行
- ※前年度の15,522枚と比べ発行枚数が著しく増加

- ▶ シニアマーケットの重要性の啓発、ビジネスチャンスのノウハウを提供するセミナーの開催など、意欲的な事業者を支援する。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【シニアマーケットセミナー開催】

2016年1月27日 横須賀商工会議所 参加者 20名  
内容：マーケティングと経営戦略

- ▶ ウォーキングによる健康づくりや外出促進に向けた取り組みを推進する。

【P122.「基本目標4-2-(2)-①-ウ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【距離表示サインの設置】

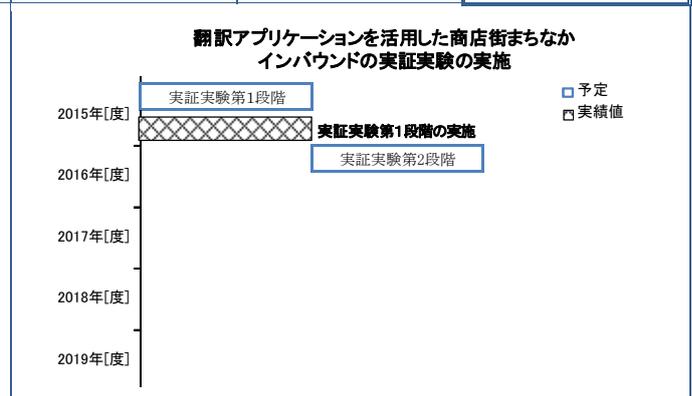
10,000mプロムナードのサイン未設置箇所（本町3丁目～鴨居4丁目の10か所）に距離表示サインの設置  
【生涯現役イベント（ウォーキング講座）】1回 参加数138人  
【ロコモ予防講演会】1回 参加数60人  
【ウォーキングイベント】2回 参加数延べ153人

### ③米海軍関係者の市内消費拡大

米海軍関係者の市内消費の拡大に向けた取り組みを検討・推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>翻訳アプリケーションを活用した商店街まちなかインバウンドの実証実験の実施</b> 株式会社NTTドコモがYRPで開発している翻訳技術を活用し、外国人客とのコミュニケーションを円滑にするための実証実験の実施	—	実証実験の実施	実証実験 第1段階の実施 2016年3～5月



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	商店街5団体、33店舗で翻訳タブレットを使用した実証実験を行った。 2016年7月より、実証実験の第2段階として、新デバイス、新翻訳アプリケーションを活用し、利用シーンを拡大していく。

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 外国人への消費に対する動機付け、環境整備に対する支援

- ▶ 株式会社 NTT ドコモと共同で、まちなかインバウンドを目指し、株式会社 NTT ドコモが YRP で開発している翻訳技術を活用した実証実験を、段階的に行う。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・ 2016 年 3 月～ 5 月の期間で、商店街 5 団体、33 店舗で翻訳タブレットを使用した実証実験の実施

- ▶ 「ヨコスカイチバン」（地域密着のお店情報サイト）やガイドブックの作成など横須賀商工会議所が実施する外国人の集客に向けた取り組みとの連携を強化する。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・ 英語版「YOKOSUKA 1 CHIBAN」3,000 部発行
- ・ サイトを横須賀市が発行する多言語パンフレット上で紹介

## 基本目標 2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる

### <数値目標>

項目	直近値／基準値	目標値	2015年[度] 実績値
<b>25～49歳の社会増減数</b> 横須賀市の25～49歳の転入人口から転出人口を差し引いた数 (総務省「住民基本台帳移動報告」)	▲1,324人 (2013年)	0人	▲1,349人 (2015年)
<b>「横須賀市に住み続けたい」と思う人の割合 (25歳～49歳)</b> 市民アンケートにおける「今住んでいるところに住み続けたい」「横須賀市内のどこかに住み続けたい」を選択した人の割合(25～49歳) (「基本計画重点プログラム市民アンケート」)	82.1% (2014年度)	85.0%	74.4% (2016年5月)
<b>横須賀市への居住意向率(20～49歳)</b> 結婚・子育て世代へのアンケート(インターネット調査)において、横須賀市に「とても住みたい」「やや住みたい」を選択した人の割合 (市外居住者を対象、次回調査は2016年度)	11.9% (2012年度)	5.0ポイント 以上上昇	—

### (1) 【再掲】市内経済の活性化と雇用の創出【基本目標1で記載】

- ①新たな雇用の場の創出と企業等の成長支援
- ②域内の仕事量の拡大
- ③域外からの新たな需要の獲得(集客の促進と交流拠点の創出による市内消費の拡大)
- ④域内消費規模の維持と潜在需要の喚起

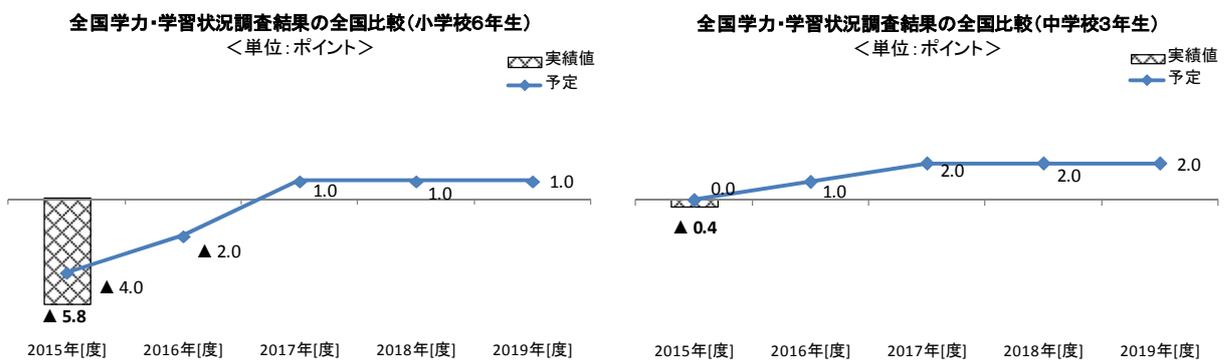
## (2) 出産・子育て環境、教育環境の充実

### ① 出産・子育て環境、教育環境の充実

子育て世代の定住に向け、出産・子育て環境、教育環境の充実を図る取り組みを推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
全国学力・学習状況調査結果の全国比較 (小学校6年生、中学校3年生) 全国学力・学習状況調査における調査対象教科の合計平均正答率の全国平均比較 (正答率の差)	小 ▲5.6ポイント 中 ▲1.2ポイント (2013年度)	小 1.0ポイント 中 2.0ポイント	小 ▲5.8ポイント 中 ▲0.4ポイント

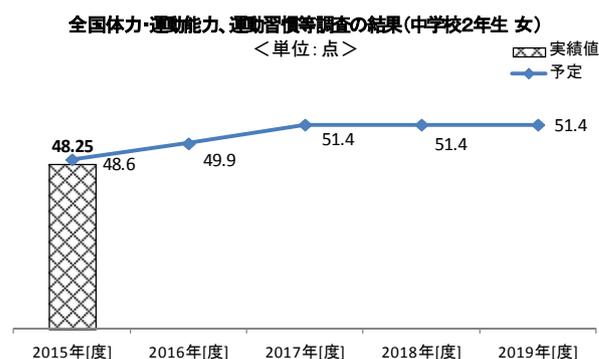
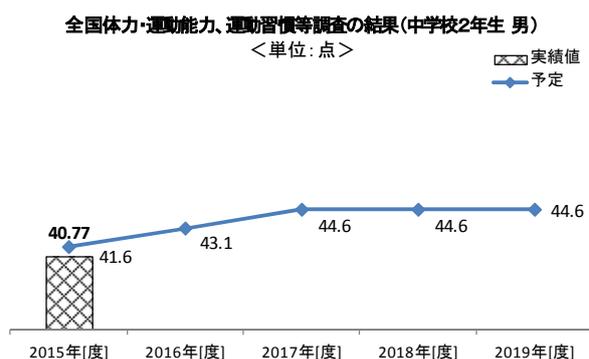
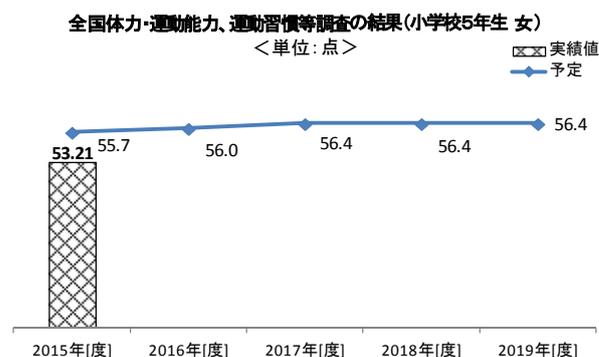
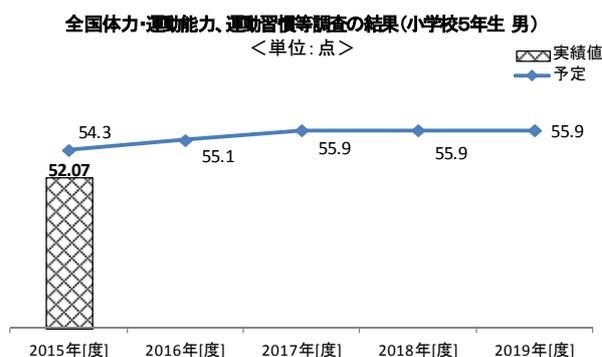


#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>横須賀市学習状況調査の分析結果から、小学校3年生の時点で、学力に課題があるということが明らかとなった。また、学年が進むにつれて、全国との差が縮まっているということも明らかとなった。</p> <p>そのため、小学校3年生に対する指導の充実を図ることで、その後の学年への学力向上にもつながると考え、少人数学級のための非常勤配置を行い、きめ細やかな指導の充実を図っていく。</p>

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度]実績値
<b>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果</b> (小学校5年生、中学校2年生)  全国体力・運動能力、運動習慣等調査における新体力テストの項目別得点の合計点の平均値	小男 52.79点 女 55.06点  中男 38.76点 女 45.54点 (2012年度)	小男 55.9点 女 56.4点  中男 44.6点 女 51.4点	小男 52.07点 女 53.21点  中男 40.77点 女 48.25点

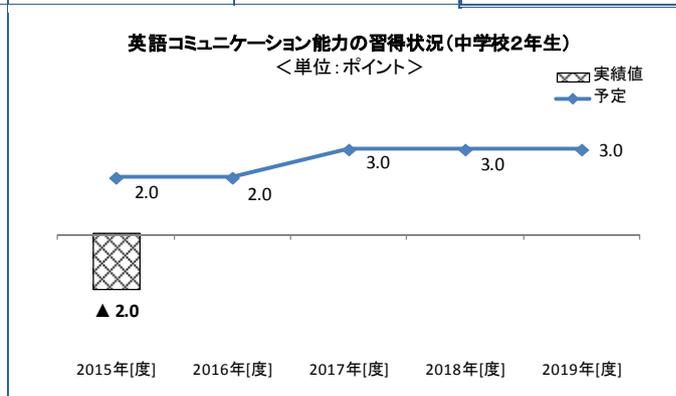


### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>5段階に分かれる総合判定の下位にあたるD・E判定の児童生徒の割合が全国平均を上回り、また運動・スポーツする習慣がない児童生徒の割合も全国平均を上回っている傾向が見られ、運動・スポーツができ、運動習慣がある児童生徒との二極化が進んでいるという課題が見られた。</p> <p>2015年度から市独自で小学校3年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象とした同様の調査を行い、調査結果は、個人、学年・学校、市全体の別に集計分析し、市内各校に還元し、各校で取り組みを図るとともに家庭、地域と連携した取り組みを推進した。今後、研究委託校で効果があった実践について、小中学校の研究会と連携して横須賀市全体に広めていくことで、学校教育全体での子どもたちの体力向上への取り組みの充実を図っていく。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
英語コミュニケーション能力の習得状況 (中学校2年生) 横須賀市学習状況調査における英語の目標正答率と平均正答率の比較 (正答率の差)	1.9 ポイント (2013年度)	3.0 ポイント	▲2.0 ポイント



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	英語の授業において「話す」、「書く」活動を行う際に、正しく話す、正しく書く視点が弱くなってしまった。その結果、知識の定着を問う問題に課題が見られた。 「正確さ」をどのように指導していくか、どのように評価していくかを明確にすることを各学校に求めていくとともに、各単元における目標設定や評価のあり方など明確にしながら、指導改善を図っていく。

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

ア. 出産・子育て環境の充実

【基本目標3で記載】

イ. 「横須賀市学力向上推進プラン」に基づく学力向上に向けた取り組みなど教育施策の充実

▶ 学力向上サポートティーチャーによる放課後等における個別指導や少人数補習の取り組みを推進する。

【2015年度(平成27年度)実績】

・小学校46校、中学校23校の全校に配置し、各学校の個に応じた指導体制の確立を図った。

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 長期休業日・土曜日授業の実施、土曜寺子屋教室・プログラミング教室の実施など土曜学習の取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

- ・プログラミング教室を新規で開始し、基礎コース15回（うち2回親子教室）、中級者コース5回を開催した。
- ・土曜教室の実施個所を1か所から3か所へ拡充し、市内の土曜学習の取り組みを充実させた。

- ▶ 家庭学習カードの配布、問題集データベースの活用など家庭学習の充実を推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

- ・「家庭学習カード」を使用希望小学校に配布
- ・「家庭学習用のスタンプ」を全小学校に配布
- ・問題集データベースの活用を研修の場などで周知した。

- ▶ 体力・運動能力の向上に向けた取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

- ・小学校3年から中学校3年までの全児童生徒を対象とした体力・運動能力、運動習慣等調査の実施及び学力・体力・生活意識調査の相関分析を行い、体力向上の取り組みの充実が図れた。
- ・学識経験者を交えた「横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会」を2回開催し、健康・体力向上に向けた方策について協議した。

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 読書に親しむ環境づくり・機会づくり（BCG 接種時のブックスタートパック配布、幼稚園・保育園児の保護者や小・中学生へのブックリスト配布等）など、読書活動の重要性の普及・啓発に取り組むとともに、特に、小・中学校に学校図書館コーディネーターを配置するなど、学校図書館を中心とした読書活動を推進する。

## 【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・市内全校の学校図書館の充実のために、非常勤職員、臨時職員を配置し、各学校を訪問して図書館の環境整備や図書館を活用した授業の補助、図書館ボランティアの活動を支援した。
- ・学校図書館研究会と連携し、「読書感想文コンクール」「読書感想画コンクール」「本を楽しもう展」を開催し、子どもたちが読書に親しむ機会を増やした。
- ・年 1 回司書教諭研修を行い、司書教諭の資質向上を図った。
- ・読書に親しむ環境づくり・機会づくりとして、BCG 接種時にブックスタートパックを 2,588 セット配布し、幼稚園・保育園児の保護者や小・中学生の対象者にブックリストを 20,462 冊配布し、読書活動の重要性の普及・啓発に取り組んだ。

- ウ. 教育現場における企業・研究機関・関係機関との連携強化（キャリア教育・就業体験・施設見学など）

- ▶ 地元高校生による国際学会での研究発表、キャリア教育の講師として招聘など、市と各研究機関との関係を強化する。

【P39.「基本目標 1 - (3) - ②-ア」にも掲載】

## 【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・市内中学校 2 校が（公財）地球環境戦略研究機関における職場体験を実施した。

- エ. 英語コミュニケーション環境、英語を身近に感じられる機会の充実

- ▶ 市内外の学生などの若い世代に「生きた英語」に触れる機会の充実を図るため、市内在住の外国人に対してホームステイ・ホームビジット受け入れのための研修を実施し、ホストファミリーを育成するとともに、特に市民の利用促進に向けた支援を行う。

<2015 年度：ホームビジット受け入れ家庭の発掘・育成>

【P33.「基本目標 1 - (3) - ①-オ」にも掲載】

## 【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- 【横須賀ホームビジット受け入れ家庭の発掘・育成】  
ホストファミリー希望者研修の実施（講習会・体験実習）  
2 回（2016 年 1 月 16 日・23 日、2 月 20 日・27 日）

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 英語に親しむ機会を提供するため、子どもを主な対象としたイベントを開催するとともに、市内在住の中学生・高校生に「生きた英語」に触れる機会を提供するため、全行程を英語だけで過ごす「横須賀イングリッシュキャンプ」を実施する。  
<2015年度：横須賀イングリッシュキャンプの開催>

### 【2015年度（平成27年度）実績】

#### 【横須賀イングリッシュキャンプの開催】

2015年8月21日～24日 三浦ふれあいの村

参加者36人（定員40人、応募者102人）

※参加決定後に4人がキャンセル

- ▶ 米海軍基地内の教育機関との連携を図り、基地内のメリーランド大学への市民の就学支援や、横須賀総合高等学校とキニックハイスクールの短期交換留学を行う。また、市民と米海軍関係者がボランティア活動などを通じて友好を深める日米交流事業を実施する。

### 【2015年度（平成27年度）実績】

#### 【UMUCブリッジプログラムの開講】

<2015年3月開講分>

- ・3月から2016年5月まで全6学期  
修了者数 39人（うち市民34人）

<2016年8月開講分>

- ・見学会 2月16日・18日 米海軍横須賀基地内  
全6回 参加者数 34人
- ・募集説明会 2月19日 ヴェルクよこすか  
参加者数 50人
- ・模擬授業 3月4日・5日 総合福祉会館  
全4回 参加者数 27人

#### 【高校生短期交換留学の実施】

- ・横須賀総合高等学校からキニックハイスクール  
3月19日～4月2日、5月4日～6日（土日除く全14日間） 参加者数 11人
- ・キニックハイスクールから横須賀総合高等学校  
5月11日～15日（全5日間） 参加者数 延べ37人

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 市立学校全校にネイティブスピーカーの配置、ICTを利用した英語教育の試行、米海軍基地内のサリバンススクールの児童が参加するイベントの開催、本市の魅力を題材とした英語副教材の作成など、英語に直接触れ合う時間を増やすことで、子どもたちの国際コミュニケーション能力の育成を図る。

【2015年度（平成27年度）実績】

- ・ 児童生徒の国際コミュニケーション能力の育成を図るため、市立学校全校にネイティブスピーカーを58名配置（FLT5名、ALT53名）
- ・ 米海軍基地内のサリバンススクールの児童（約90名）が参加するイベントの開催（2015年11月）
- ・ 本市の魅力を題材とした英語副教材の作成に向けた検討（1回）

オ. グローバル人材の育成を図る教育機関の立地に向けた取り組みの推進

- ▶ インターナショナルスクールの誘致に向けた調査・研究を行う。

【2015年度（平成27年度）実績】

【インターナショナルスクール誘致のための調査・研究】

- ・ 「ISS SUMMER SCHOOL 2015」への後援  
期間 2015年8月3日～9日 6泊7日  
場所 YRP1番館およびYRPホテル  
対象 高校1年生・2年生  
参加者 25人  
内訳：日本人12人、海外からの留学生13人  
(インドネシア、シンガポール、フィリピン)
- ・ 誘致に向けた調査研究等

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- カ. 歴史など郷土への理解を深める教育機会の充実 ▶ 横須賀製鉄所（造船所）への理解を深めるため、小冊子の配布、郷土史家による小学校への出前授業、初任者教員のための校外研修の実施など学校教育における取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【横須賀製鉄所（造船所）に関する学校教育での取り組み】**

- ・子ども向け歴史小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の配布  
2015年7月配布、発行部数 13,000部  
市内の小学校6年生に配布するとともに、市民向け等にも配布
- ・郷土史家による小学校への出前授業  
2015年7月～12月 実施校数 10校（6年生7校、4年生3校）
- ・初任者教員のための校外研修の実施  
2015年8月6日（木） 米海軍横須賀基地内  
参加者 初任者教員 62人

- ▶ 本市の魅力を題材とした英語副教材の活用など、学校教育における本市への理解を深める機会の充実を図る。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

- ・学校教育における本市への理解を深める機会の充実を図るため、本市の魅力を題材とした英語副教材作成に向けた検討（1回）

### (3) 住環境の充実

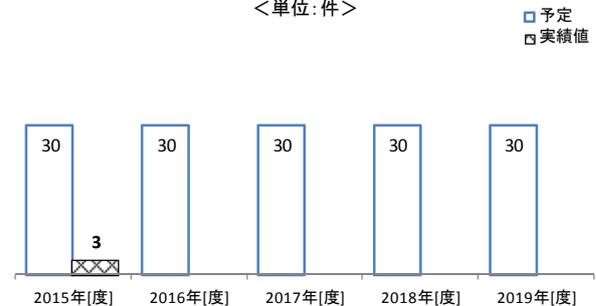
#### ①子育て世代の住宅購入の後押し

子育て世代の住宅購入を後押しするため、規制緩和や既存住宅団地への子育て世代の流入促進など、経済的負担を軽減する取り組みを推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
子育てファミリー等応援住宅バンク助成制度の利用件数  空き家対策と子育て世代の定住を促進するための「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に向けた助成制度の利用件数	—	30件／年度	3件／年度

子育てファミリー等応援住宅バンク助成制度の利用件数  
<単位: 件>



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	遅れている (☆)
現状分析・今後の方針	<p>「住宅取得」という大きなライフイベントを対象とし、かつ、市外からの転入者を助成対象としたことから、当初から対象者が極めて限定されてしまった可能性がある。その結果、当該制度について、不動産事業者から、ごく一部の顧客にしか紹介できないことで周知が不足し、幅広い層への訴求ができなかった。</p> <p>空き家の利活用と子育て世代の転出抑制という視点から、2016年度より、助成対象者を市内の子育て世代まで拡大し、利用しやすい制度設計に改善したことで、不動産事業者から市内外の子育て世代に対して、より積極的なPRが可能になると考えている。引き続き、事業者と連携しながら、子育て世代への周知を図っていく。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 良質な中古住宅の流通・購入に向けた支援 ▶ 「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入に対する各種助成など、購入に向けた支援を行う。

<2015年度：住宅バンク開設、各種助成制度（物件購入・引越し・リフォーム）の創設>

【P57.「②-ア」、P78.「基本目標3-(1)-④-ア」、P100.「基本目標4-1-(2)-①-ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

**【子育てファミリー転入応援住宅バンク】**

制度を利用し、転入した子育て世帯の数 3組

- ・引越し助成 3件 348,482円
- ・物件購入助成 3件 595,400円
- ・住宅リフォーム助成 1件 150,000円

- ▶ 不動産事業者、金融機関等と連携し、相談窓口の設置、住宅団地での出張相談会の開催など主に单身・夫婦のみの高齢世帯を対象とした物件の流動化に向けた取り組みを推進する。

【P57.「②-ア」、P99.「基本目標4-1-(2)-①-ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

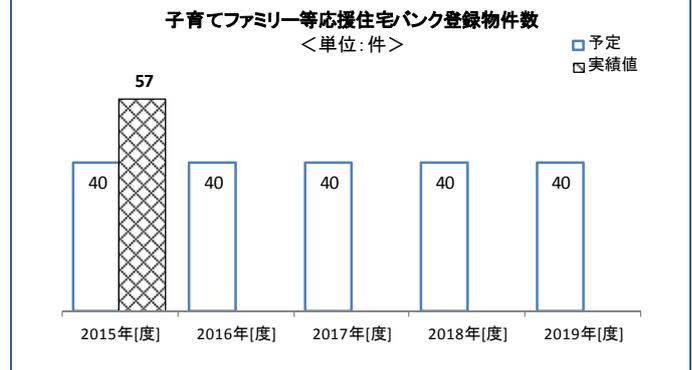
**【2016年度新規事業】** 実績なし

## ②良質な住宅ストックの循環促進

家族形態やライフステージにあった住まいの選択ができるよう、住み替え促進など、良質な住宅ストックを循環させる仕組みを検討する。

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
子育てファミリー等応援住宅バンク 登録物件数  空き家対策と子育て世代の定住を促進するための「子育てファミリー等応援住宅バンク」の登録物件数	—	40件／年度	57件／年度

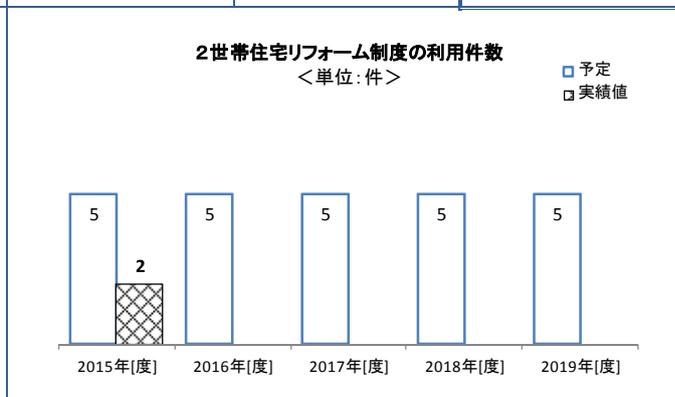


### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>指標値を上回る数の物件がバンクに登録されたことで、中古住宅の取得を検討している方にとっての選択肢を広げることにつながったと考えている。</p> <p>今後も宅地建物取引業協会や全日本不動産協会と連携し、不動産事業者へのチラシ配布や電話・訪問での案内を行っていく。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
2世帯住宅リフォーム制度の利用件数 市の助成制度（2世帯住宅リフォーム）を利用してリフォームされた件数	—	5件／年度	2件／年度



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>市外からの転入による2世帯同居を前提とするため、複数世帯での意思決定に時間を要する可能性が高く、初年度は指標値に及ばなかったが、幅広い手法での周知を継続することが必要と考えている。</p> <p>広報よこすかへ継続して毎月制度の案内を掲載するとともに、ホームページ掲載、すかりぶのメルマガ配信、広報掲示板へのポスター掲示など様々な手法で周知を図っていく。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 不動産事業者、金融機関等と連携した取り組みの推進

- ▶ 相談窓口の設置、住宅団地での出張相談会の開催など主に単身・夫婦のみの高齢世帯を対象とした物件の流動化に向けた取り組みを推進する。

【P54.「①-ア」、P99.「基本目標4-1-(2)-①-ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

- ▶ 「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に対する各種助成、所有者に対するリフォーム助成など、流通促進に向けた支援を行う。

<2015年度：住宅バンク開設、各種助成制度（物件購入・引越し・リフォーム）の創設>

【P54.「①-ア」、P78.「基本目標3-(1)-④-ア」、P100.「基本目標4-1-(2)-①-ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

【子育てファミリー転入応援住宅バンク】

制度を利用し、転入した子育て世帯の数 3組

- ・引越し助成 3件 348,482円
- ・物件購入助成 3件 595,400円
- ・住宅リフォーム助成 1件 150,000円

イ. 市内に住む親世代と市外に住む子ども夫婦世帯の市内同居に向けた支援

- ▶ リフォームに対する助成金など、多世代同居に向けた支援を行う。  
<2015年度：リフォーム助成制度の創設>

【2015年度（平成27年度）実績】

【2世帯住宅リフォーム助成事業】

自宅をリフォームした世帯の数 2組

- ・住宅リフォーム助成 2件 600,000円

ウ. 市の推進体制の強化

- ▶ 関係機関や事業者との連携を強化し、住宅ストックの循環を促進する施策を推進するため、新たに担当部署を設置する（担当課長の配置）。

【P101.「基本目標4-1-(2)-①-カ」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

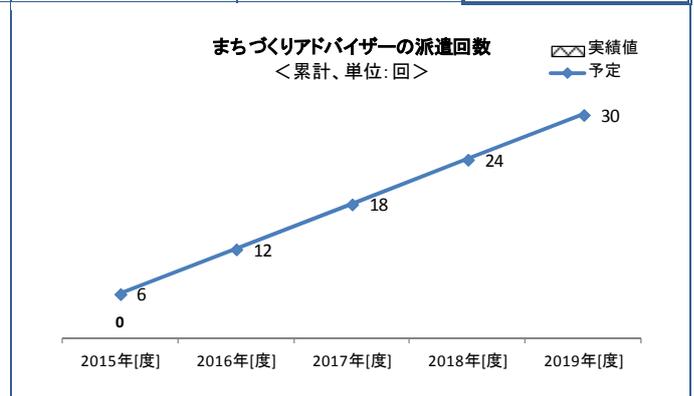
- ・都市部都市計画課に住まい活用担当課長を配置  
(2016年4月)

### ③拠点市街地の形成に向けた取り組み

主要鉄道駅等を中心とする市街地の再開発や高度利用などを進め、居住機能や生活利便施設が集積した拠点市街地の形成を図る。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
まちづくりアドバイザーの派遣回数 市民がまちづくりを検討する際の複雑な課題（街の環境改善や建物共同化、土地利用の高度化など）の解決に向け、ノウハウの提供など技術的な支援を行う専門アドバイザーの派遣回数	9回 (2014年度)	30回（累計）	0回



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	<p>市民（権利者等）が自らまちづくりの検討を行い、その合意形成を含めたまちづくり活動を行うことについて、2015年度は、まちづくりアドバイザーの派遣によらず、本市が行う他の調査業務において支援を受けることができています。</p> <p>このような状況を踏まえて、今後の業績評価指標については再考する必要もあると考える。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 中心市街地や拠点市街地の再開発促進（横須賀中央駅周辺地区、追浜駅前地区、京急久里浜駅周辺地区など）

▶ 事業化に向けた準備組合の活動、各協議会の活動に対する支援、関係機関との調整や情報交換など再開発促進に向けた取り組みを推進する。

【P94.「基本目標 4-1-(1)-①-ア」にも掲載】

**【2015 年度（平成 27 年度）実績】**

【活動費交付金の交付】	5 地区
【市街地総合再生基本計画の作成】	1 地区
【市街地再開発事業基本計画の作成】	1 地区
【再開発コーディネート業務の実施】	1 地区

イ. JR 久里浜駅周辺地域の土地利用の検討

▶ JR 久里浜駅周辺地域の土地利用に関して、国、JR 東日本、市が連携して検討を行う。

【P95.「基本目標 4-1-(1)-①-イ」にも掲載】

**【2015 年度（平成 27 年度）実績】**

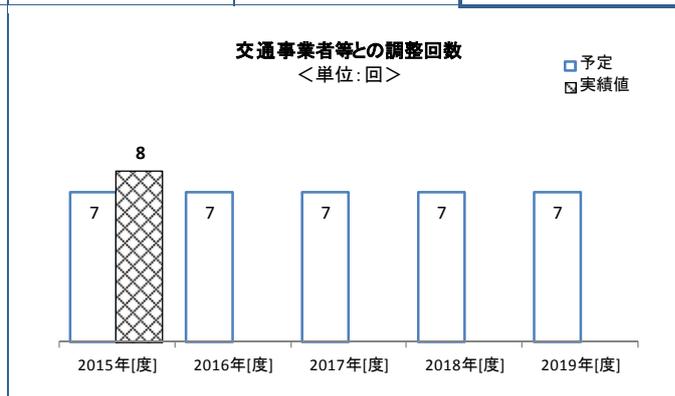
・ JR 久里浜駅周辺地域の土地利用に関して、国、JR 東日本、市が会合を行い、連携して検討を行うことを確認した。

#### ④交通事業者等との連携強化

通勤等の利便性、快適性の向上に向けて、交通事業者等との連携を強化する。

##### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>交通事業者等との調整回数</b> 都市間・地域間相互を連絡する主要幹線道路の整備促進、鉄道輸送力の増強、バス運行の定時性の確保など、利用者の利便性・快適性向上に向けて、交通事業者等と調整（要望）を行った回数	7回 (2014年度)	7回／年度	8回／年度



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>三浦半島広域幹線道路整備促進期成同盟等を通じ、国・県・NEXCO東日本等への要望活動を行ってきたが、2015年7月に、(仮称)横須賀PAスマートインターチェンジの連結許可が得られるとともに、2016年4月からは、横浜横須賀道路の通行料金値下げが行われた。</p> <p>また、兼ねてより要望していた京浜急行電鉄による京急ウイング号の朝の運行が、2015年12月から開始された。</p> <p>今後も、本同盟等を通じた、国等への要望活動を行うとともに、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議などにおける鉄道事業者への要望や、各道路管理者・神奈川県警察・バス事業者との調整を通じて、通勤等の利便性、快適性の向上を引き続き図る。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 利便性、快適性の向上に向けた関係機関との調整

- ▶ 京浜急行や JR 東日本へさまざまな要望を行うとともに、必要な調整を図る。

<2015 年 12 月：モーニング・ウィング号の運行開始>

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・ 2015 年度は実績なし  
（例年京浜急行との連絡会を年 1 回開催）

- ▶ 鉄道輸送力増強等に関する情報収集や国および鉄道事業者への要望活動などを行う。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・ 鉄道輸送力増強促進会議を通じ、情報収集を図るとともに、鉄道事業者への要望活動を行った  
（総会、理事会、JR 合同部会、京急部会に各 1 回、計 4 回出席し、鉄道事業者に要望活動を実施した）

- ▶ 広域連絡機能を強化し、都市の活力を維持発展させるため、国、県等の関係機関に対し、国道 357 号など都市間・地域間相互を連絡する主要幹線道路の整備促進などの要望活動を行う。

<2015 年度：（仮称）横須賀 PA スマートインターチェンジ連結許可、横浜横須賀道路の料金引き下げ（2016 年 4 月）>

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

- ・ 道路関連 5 団体を通じ、要望活動を実施した

- ▶ バス運行の定時性、利用者の利便性・快適性を向上させるため、神奈川県警察やバス事業者と調整し、公共車両優先システム（PTPS）の導入を促進する。

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

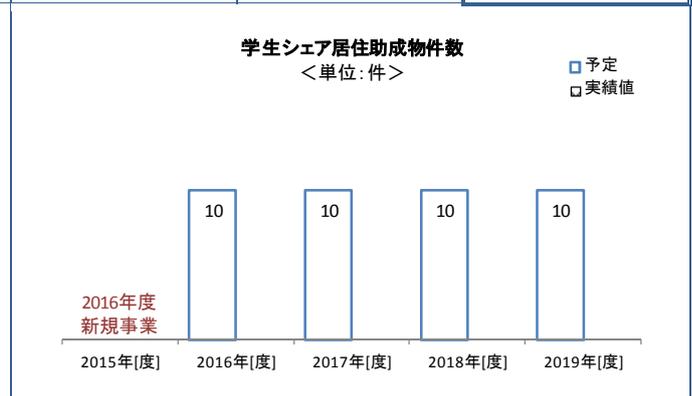
- ・ 神奈川県警察やバス事業者と調整し、米が浜通り～馬堀間の公共車両優先システム（PTPS）の導入に向けて検討を実施した  
（神奈川県警と調整を 2 回実施した）

## ⑤賃貸住宅の活用・再生支援

賃貸共同住宅等の再生（リノベーション・リフォーム）など、良質な居住環境の提供に向けた支援を進める。（近隣の大学生等を対象にした物件など）

### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
学生シェア居住助成物件数 市の助成制度（学生シェア居住）を利用して居住開始された物件数	—	10件／年度	— 2016年度新規事業



### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	大学の学生支援担当とも連携を取り、学校で説明会を開催するほか、必要に応じて学生への空き家物件紹介やグルーピング支援等、個別案件についても積極的な支援を行っていく。

## <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
社宅に転用された物件数 市の助成制度（社宅転用）を利用してリフォームされた物件数	—	10件／年度	— 2016年度新規事業



### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	横須賀商工会議所と連携し、商工会議所開催の事業などを通じて、市内事業者への周知を図っていく。

#### 【施策】

#### 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 良質な賃貸物件を提供する人、新たな居住形態により賃貸物件に居住する人への支援

- ▶ 鉄道駅周辺の階段上部で周辺高齢者の見守りを行う学生の市内居住促進に向け、リフォームを行う所有者を支援する。  
【P100.「基本目標4-1-(2)-①-ウ」にも掲載】

#### 【2015年度（平成27年度）実績】

##### 【神奈川県立保健福祉大学等学生居住支援事業】

- ・所有者に対するリフォーム助成 0件
- ・継続して居住している学生に対して家賃補助 3件(8名) 435,000円

- ▶ 賃貸物件にグループでシェア居住を開始する大学生等を支援する。

#### 【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

## (4) 「住むまち」としての都市イメージの向上と積極的なプロモーション展開

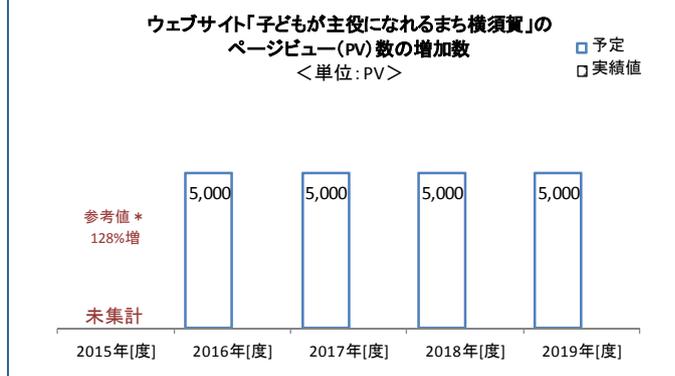
### ①都市イメージ向上のためのプロモーション展開

「住むまち」としての都市イメージの向上を図っていくとともに、常に先進的な取り組みにチャレンジしていくことで、市としての注目度・発信力を高める。

市内居住者と市外居住者との本市に対する「住むまち」としてのイメージのギャップ（大きなずれ）を埋める取り組みを、具体的な対象（者）を絞って展開する。

#### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>ウェブサイト「子どもが主役になれるまち横須賀」のページビュー（PV）数の増加数</b> 「住むまち」の魅力を発信するウェブサイトの年間ページビュー数 （ページごとの閲覧回数の合計） ※2015年のページビュー数：141,827PV（年間）	—	5,000PV／年度	— 〔 参考値※ 128%増 〕



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	「住むまち」としての都市イメージの向上については、ウェブサイトへのアクセス件数増が順調であることや、各種メディアに本市の住むまちの魅力を紹介する特集記事が掲載される等、一定の手応えを感じている。 引き続き、中長期的な視点でプロモーション活動を継続していく。 ※参考値: サイト開設後の2014年11月～3月の月平均ページビュー数9,412PVに対し、2015年度の月平均12,033PV (128%) 【2015年度のページビュー数：144,391PV】

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
Facebook「横須賀くらぶ」の会員数 横須賀にゆかりのある人の相互交流・親睦を図るための Facebook上の市人会「横須賀くらぶ」の会員数	973人 (2014年度)	3,000人	1,928人



基本目標  
2

実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	会員数が1年間で約2倍に増加していることから概ね順調に進んでいると捉えている。さらなる会員数の増加に向け、「横須賀くらぶ」に参加することで、会員がプレミアム感を抱いていただけるよう工夫をしていく。

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 「住むまち」としての横須賀の魅力を伝えるためのプロモーション展開・不動産事業者や関係機関と連携した物件の情報提供

▶ 国際的なスポーツ大会や新たなスポーツ施設の誘致、英語コミュニケーション環境を整えることなど、本市が持つ特性を生かした都市イメージを発信する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【英語コミュニケーション環境の充実】

- ・横須賀イングリッシュキャンプの開催  
2015年8月21日～24日 三浦ふれあいの村  
参加者36人（定員40人、応募者102人）  
※参加決定後に4人がキャンセル
- ・横須賀ホームビジット推進のための、ホストファミリー希望者研修の開催  
ホストファミリー希望者研修の実施（講習会・体験実習）  
2回（2016年1月16日・23日、2月20日・27日）
- ・外部の有識者を交えた英語コミュニケーションに関する懇話会の開催 4回

▶ 横須賀の魅力を伝える冊子「横須賀魅力全集」の市内外への配布、交通機関への広告掲出、コミュニティ紙、伝播力の高いメディア（FMラジオ）などさまざまな媒体による情報発信を行う。

<2015年度：市外重点エリアへの「横須賀魅力全集」（概要版）のポスティング>

【2015年度（平成27年度）実績】

【横須賀魅力全集（概要版）の市外重点エリア（※）へのポスティング】

「住むまち横須賀」の魅力を紹介するため、市外重点エリアを中心とする地域にポスティング配付  
2015年10月23日～31日 235,700部  
※市外重点エリア  
横浜市・京急線沿線・相鉄線沿線

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 不動産事業者や関係機関と連携し、主に市外在住者を対象にした新たな情報サイトなどによる物件情報の提供を進める。

【P101.「基本目標4-1-(2)-①-オ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

- ・横須賀市、横須賀商工会議所、京浜急行電鉄株式会社で構成する「横須賀“住”魅力発信プロジェクト実行委員会」で、不動産情報サイト「横須賀STYLE」を運営し、市内の物件情報を発信した。

- ▶ 自衛隊など国の機関や企業等への訪問活動を行い、物件情報を提供する。

【P101.「基本目標4-1-(2)-①-オ」にも掲載】

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【企業・大学等を対象としたプロモーション】

- 本市から通勤圏内の企業等への営業活動 573社
- 企業等を対象とした市内視察ツアー 1回

イ. 東京・横浜などへの交通の利便性が高く、商業、住宅地が集積している東京湾側の地域、第1次産業が盛んで自然環境に恵まれた相模湾側の地域など地域特性を生かし、対象となる人それぞれの価値観・ライフスタイルに適したプロモーションの展開

- ▶ 本市に興味を持った市外居住者、本市から通勤圏内の企業従業員・通学圏内の大学生を対象とした市内視察ツアーを実施し、本市の「住むまちの魅力」を実際に体感する機会を提供する。また、メディア（テレビ、雑誌）を対象とするプロモーションも実施する。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【横須賀の魅力発信キャンペーンの実施】

- ・魅力体感モニターツアー 7回
- ・企業等を対象とした市内視察ツアー 1回
- ・メディア関係者等の市内視察ツアー 5回

- ▶ 本市在住者、横須賀にゆかりのある市外で暮らす人に、「横須賀」をキーワードに想いをはせたり、つながっていたい気持ちを満たすことができるSNS上での情報交換の“場”を提供し、横須賀を応援してくれる人の輪を広げる。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

## 【「横須賀くらぶ」の会員数】

- 1,928人
- 横須賀にゆかりのある人の相互交流・親睦を図るためのFacebook上の市人会

## 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### <数値目標>

項目	直近値／基準値	目標値	2015年[度] 実績値
<b>合計特殊出生率（希望出生率※の実現）</b> 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子ども数に相当 ※神奈川県「結婚・出産・子育て、地方創生などに関する県民調査」における希望出生率	1.23 (2014年)	1.42※	—
<b>「子どもを産み育てやすいまちづくり」に対する市民満足度</b> 市民アンケートにおける「子どもを産み育てやすいまちづくり」（現在の実感）についての肯定的な回答割合と否定的な回答割合の差（DI） （「基本計画重点プログラム市民アンケート」）	11.5ポイント (2013年度)	5.0ポイント 以上上昇	17.9ポイント 上昇 〔2016年5月 29.4ポイント〕
<b>保育所等利用待機児童数</b> 保護者の就労などにより保育所等への入所申請をしているにもかかわらず、希望する保育所等の施設定員を超過するなどの理由で入所できない状態にある児童の数	24人 (2014年度)	0人	21人 (2015年度)

## (1) 結婚を希望する若い世代の後押しと出産・子育て環境の充実

### ① 安定した生活基盤の確保に向けた取り組み

自治体としての取り組みに限界はあるが、雇用形態や給与など安定した生活基盤（収入）の確保に向け、例えば若年者への給与の傾斜配分、子育て世代に対する手当での拡大、住まいの支援など、官民で取り組みを進めていく。

#### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】子育てファミリー等応援住宅バンク助成制度の利用件数</b> 空き家対策と子育て世代の定住を促進するための「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に向けた助成制度の利用件数	—	30件／年度	3件／年度

**【再掲】子育てファミリー等応援住宅バンク助成制度の利用件数**  
 <単位: 件>

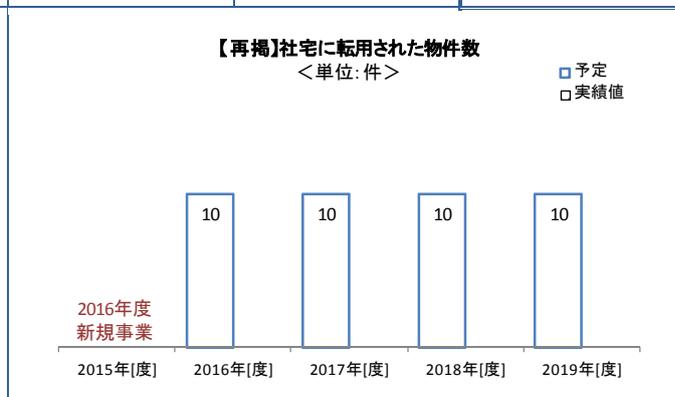
年度	予定 (件)	実績値 (件)
2015年[度]	30	3
2016年[度]	30	
2017年[度]	30	
2018年[度]	30	
2019年[度]	30	

#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	遅れている (☆)
現状分析・今後の方針	<p>「住宅取得」という大きなライフイベントを対象とし、かつ、市外からの転入者を助成対象としたことから、当初から対象者が極めて限定されてしまった可能性がある。その結果、当該制度について、不動産事業者から、ごく一部の顧客にしか紹介できないことで周知が不足し、幅広い層への訴求ができなかった。</p> <p>空き家の利活用と子育て世代の転出抑制という視点から、2016年度より、助成対象者を市内の子育て世代まで拡大し、利用しやすい制度設計に改善したことで、不動産事業者から市内外の子育て世代に対して、より積極的なPRが可能になると考えている。引き続き、事業者と連携しながら、子育て世代への周知を図っていく。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】社宅に転用された物件数</b> 市の助成制度（社宅転用）を利用してリフォームされた物件数	—	10件／年度	— 2016年度新規事業



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	横須賀商工会議所と連携し、商工会議所開催の事業などを通じて、市内事業者への周知を図っていく。

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 官民連携の促進

- ▶ 雇用形態や給与など安定した生活基盤の確保に向け、官民の連携を促進する。  
 ※住環境・手当てなど行政による具体的な取り組みは、P77. 「④子育て世代の経済的負担の軽減」に記載

## ②結婚のきっかけづくり

結婚を希望するものの、身近に出会いの場がないとする人に対して、そのきっかけとなる場を提供する。

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
「ヨコスカフェ」の参加者数 横須賀商工会議所と連携した市内在住・在勤の男女の出会いの場「ヨコスカフェ」の参加者数	283人 (2014年度)	290人／年度	228人／年度

「ヨコスカフェ」の参加者数  
＜単位：人＞

年度	予定	実績値
2015年[度]	290	228
2016年[度]	290	290
2017年[度]	290	290
2018年[度]	290	290
2019年[度]	290	290

### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>これまでのヨコスカフェは、幅広い方に出会いの場を提供することを重点に取り組んできたことから、参加人数を指標としてきた。しかし2015年度は、イベントの応募に対し、定員に満たずに中止となった回が複数あったことから、参加者数が減少した。</p> <p>今後、同じような開催形態では、参加者の先細りが予想され、また事業内容としても、より定住に繋がるような企画や実施方法への変更を、指標を含め検討していく必要があると考えている。</p> <p>これまでの分析から、市内の企業・団体と連携した婚活支援イベントが、市内定住に繋がる可能性が高いことがわかった。よって、今後は実施回数を絞りつつ、企業・団体と連携した婚活支援イベントを中心としていく。</p>

#### 【施策】

#### 【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

- ア. 市内在住・在勤の男女の出会いの場の提供 ▶ 横須賀商工会議所と連携した婚活支援イベントを開催する (市内企業、自衛隊、農業者、看護師を対象とした企画などさまざまなテーマで開催)。

【2015年度 (平成27年度) 実績】

#### 【カップリング事業】

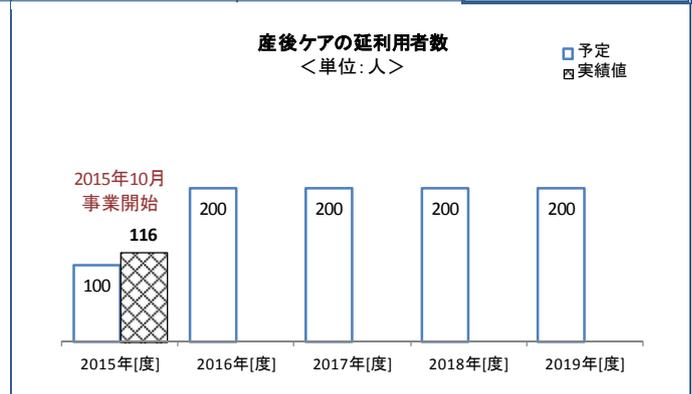
カップリング事業の企画・運営 7回

### ③妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない包括的な支援

安心して子どもを産み、子育てする上で不安のない環境づくりを進めるため、妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない包括的な支援を行う。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
産後ケアの延利用者数 産後の母体管理、乳房ケア、授乳・沐浴指導、育児ケア、 育児相談・保健指導等の産後ケアの延利用者数	—	200人／年度	116人 (※)



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	2015年10月より実施し、目標数達成に向け順調に進んでいる。 今後も対象者への周知の継続等引き続き継続していく。 ※2015年10月より事業開始、実績値は下半期分(2015年10月～2016年3月)

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>保健師・助産師による家庭訪問の訪問率</b> 生後4カ月までの乳児のいる世帯への保健師・助産師による全戸訪問の訪問率 ※県の算出方法による訪問率で、生後転入児への訪問も含む	99.6% (2012年度)	100%	101.3% (※)

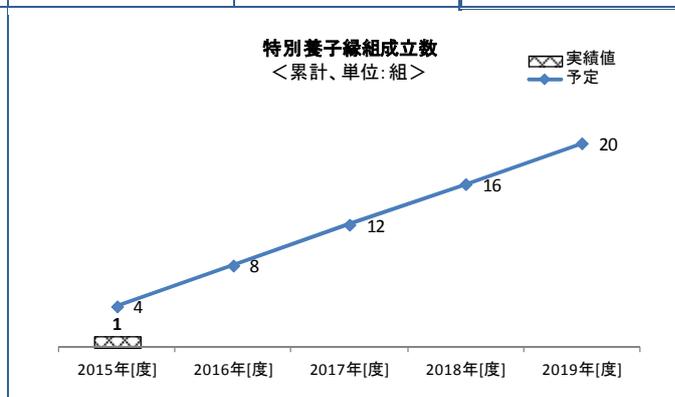


**実績値の分析**

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	「こんにちは赤ちゃん訪問」(保健師・助産師による家庭訪問)専任を設けた体制を継続していく。 ※県算出方法による転入者を含む訪問率

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
特別養子縁組成立数 児童相談所の調整により、家庭裁判所の審判を受け、特別養子縁組成立に至った数	—	20組（累計）	1組



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>2015年度は、ソーシャルインパクト・ボンド(官民連携の社会投資モデル(※))の手法を活用し、特別養子縁組前提での新生児委託を行った。目標は4件の成立だったが、3件の事例が同居を開始し、うち1件に縁組が成立している。</p> <p>成立していない2件は、すでに家庭裁判所への申し立てを行い、実親・養親への面接、児童相談所への嘱託などによる調査が終了し、審判を待っている状態である。</p> <p>特別養子縁組の成立には、児童との試験養育期間6ヶ月間の養育状況を確認したうえで検討される。(民法817条の8)そのため、成立までには相応の時間を要しており、2015年度内での成立は1件となっている。</p> <p>「育てられない」相談を受けた場合、育てられる可能性も含めて支援を行うため、「育てられない」から「育てる」方向に支援方法が変更する場合もある。</p> <p>今年度から児童相談所で養子縁組里親の育成を開始している。新生児の委託だけではなく、すでに施設入所をしている児童の支援状況を捉えながら、特別養子縁組が最善な支援であると判断した場合には、迅速に支援し目標を達成したい。</p> <p>※ソーシャル・インパクト・ボンドとは 民間事業者のノウハウや投資家・篤志家からの資金を活用し、社会問題を解決していこうとする官民連携による新しい成果連動型事業委託システムのことで、事業が生む効果に応じて後から事業費と成果報酬を支払う仕組み</p>

## 【施策】

## 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 特定不妊治療、不育症治療に対する経済的負担の軽減 ▶ 医療保険が適用されない特定不妊治療費助成の充実と、その治療の一環として男性不妊治療費の助成を行う。また、不育症治療費の一部と不育症判定検査費の助成を行う。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【特定不妊治療費助成】 延べ429件  
 【不妊相談】 6回 6組 6人  
 【不育症治療費助成】 延べ2件

- イ. 妊娠期から子育て期にわたる支援体制の整備  
 （専門職の母子保健コーディネーターなどによるさまざまな相談への対応） ▶ 妊娠に関する知識の普及・啓発を行うためのパンフレットの作成・配布、妊娠を望む夫婦に対するセミナーの開催、中・高校生を対象とした「いのちの授業」や「子育て体験」の実施に向けた体制づくりなど、市内で子どもを産み育てることに対する不安の解消を図る取り組みを推進する。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】 実績なし

- ▶ 育児不安の軽減を図るため、生後4カ月までの乳児のいる世帯への保健師・助産師による全戸訪問を実施する。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【こんにちは赤ちゃん訪問】  
 訪問率 101.3%  
 ＊ 県算出方法による転入者を含む訪問率

- ▶ 悩みを抱える妊産婦等が気軽に相談できる専門職の母子保健コーディネーターによるワンストップサービスの展開、周産期における各種サービスの情報提供など、健康福祉センターや他の関係機関と連携し、相談者のニーズに合わせた支援を行う。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【母子保健コーディネーター相談】 492件

- ウ. 助産院等で産後の母子の心身のケアや、育児サポート等を行う産後ケアの実施 ▶ 産後4カ月までの産婦とその乳児を対象に、助産院等で母子の心身のケアや育児サポートを実施するとともに、その費用に対する助成を行う。

## 【2015年度（平成27年度）実績】

【産後ケア事業（2015年10月～）】  
 利用者数 延べ116人

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

**エ. 特別養子縁組の推進**

- ▶ 講座の開催、妊娠 SOS カードの配布など、制度の普及や啓発を行うとともに、他都市や民間事業者と連携しながら特別養子縁組の成立を図る。

**【2015 年度（平成 27 年度）実績】**

【関係職員への研修開催】 2 回

【妊娠 SOS カード配布】 1,200 枚、市内 23 医療機関等

※特別養子縁組 1 件成立

（その他、年度内に同居を開始し、特別養子縁組の成立に向けて家庭裁判所に申し立てを行っているケースが 2 件あり）

#### ④子育て世代の経済的負担の軽減

良好な住環境を有する住宅団地の中古住宅を購入等の助成や医療費の助成など子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

##### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】子育てファミリー等応援住宅バンク助成制度の利用件数</b> 空き家対策と子育て世代の定住を促進するための「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に向けた助成制度の利用件数	—	30件／年度	3件／年度

**【再掲】子育てファミリー等応援住宅バンク助成制度の利用件数**  
 <単位:件>

年度	予定 (件)	実績値 (件)
2015年[度]	30	3
2016年[度]	30	0
2017年[度]	30	0
2018年[度]	30	0
2019年[度]	30	0

##### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	遅れている (☆)
現状分析・今後の方針	<p>「住宅取得」という大きなライフイベントを対象とし、かつ、市外からの転入者を助成対象としたことから、当初から対象者が極めて限定されてしまった可能性がある。その結果、当該制度について、不動産事業者から、ごく一部の顧客にしか紹介できないことで周知が不足し、幅広い層への訴求ができなかった。</p> <p>空き家の利活用と子育て世代の転出抑制という視点から、2016年度より、助成対象者を市内の子育て世代まで拡大し、利用しやすい制度設計に改善したことで、不動産事業者から市内外の子育て世代に対して、より積極的なPRが可能になると考えている。引き続き、事業者と連携しながら、子育て世代への周知を図っていく。</p>

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）**ア. 低廉で良質な住宅の供給促進**

- ▶ 「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に対する各種助成、所有者に対するリフォーム助成など、流通促進に向けた支援を行う。

<2015年度：住宅バンク開設、各種助成制度（物件購入・引越し・リフォーム）の創設>

【P54.「基本目標2-(3)-①-ア」、P57.「基本目標2-(3)-②-ア」、P100.「基本目標4-1-(2)-①-ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】****【子育てファミリー転入応援住宅バンク】**

制度を利用し、転入した子育て世帯の数 3組

- ・引越し助成 3件 348,482円
- ・物件購入助成 3件 595,400円
- ・住宅リフォーム助成 1件 150,000円

- ▶ 既存住宅をリフォームして社宅に転用する事業者を横須賀商工会議所と連携して支援する。

【P101.「基本目標4-1-(2)-①-エ」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【2016年度新規事業】実績なし**

**イ. 小児医療費の助成対象の拡大、多子世帯、ひとり親家庭に対する支援の拡充**

- ▶ 適切な医療を早期に受けられるようにするため、小児医療費助成（通院）の対象年齢を小学校6年生まで拡大し、保険診療の自己負担分を助成する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

- ・（通院）の対象年齢を、2015年4月から小学校4年生までに、同10月から小学校6年生までに拡大
- 助成総件数 512,687件
- 助成総額 923,173,830円

- ▶ 対象要件緩和や優遇措置の拡大など、多子世帯やひとり親世帯の保護者負担を軽減する取り組みを推進する（年収360万円までの世帯）。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【2016年度新規事業】実績なし**

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 学童クラブの小学校への移転促進や学童クラブに対する助成の充実など、保育料の軽減を図る。

【2015年度（平成27年度）実績】

【小学校への移転】

- ・公郷小学校（2016年4月1日）  
「学童保育グローバル」
- ・長浦小学校（2015年4月1日）  
「長浦学童さくらクラブ」
- ・荻野小学校（2015年4月1日）  
「荻野学童保育所「いちごクラブ」」
- ・家賃補助不用額  
△2,520千円（2015年度 小学校移行2クラブ分）

- ▶ 高等学校卒業程度認定試験への助成など、ひとり親家庭の親の安定した就業の支援を図る取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

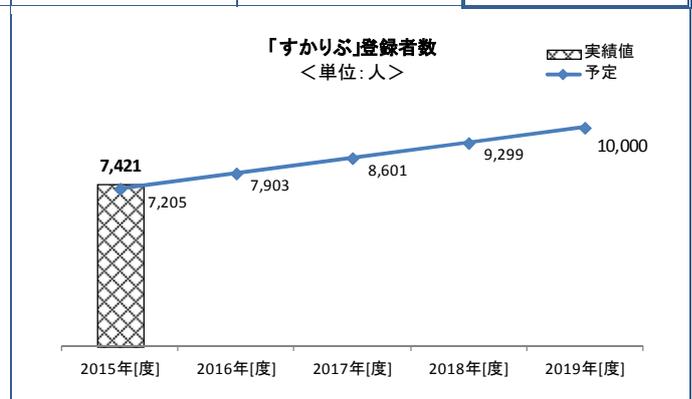
高等学校卒業程度認定試験への助成については、2016年4月から「ひとり親家庭の子」を対象に追加

## ⑤子育て世代にやさしいまちづくりの推進

子育て世代を応援するため、体験イベントや外出に便利な情報を提供するとともに、施設面・サービス面でも子育て世代にやさしいまちづくりを官民連携して進める。

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>「すかりぶ」登録者数</b> 市、横須賀商工会議所、市内事業者が一体となって、市内在住の結婚・子育て世代を中心に、「横須賀に住んでよかった」と思ってもらえるような環境づくりと魅力あるサービスを提供していく『子どもが主役になれるまち横須賀』市民限定プレミアムクラブ『すかりぶ』の登録者数	6,507人 (2014年度)	10,000人	7,421人

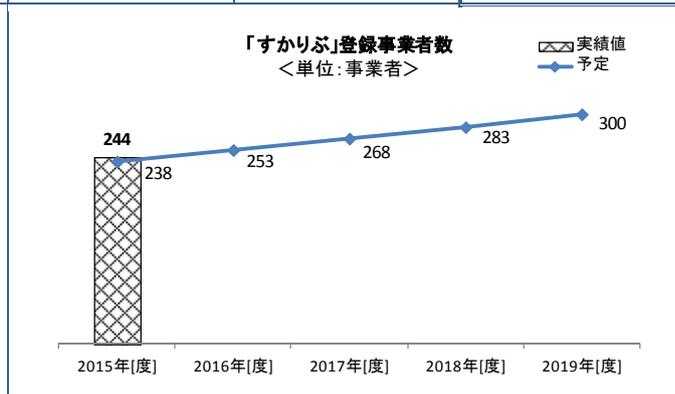


### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>「すかりぶ」登録者数は、2015年度は914人の増加となった。これら登録者に対して、お得な体験・イベント情報を届ける回数も増えつつあり、2015年度は239件の情報をホームページやメールマガジンで発信している。</p> <p>次年度も引き続き、満足度向上のためのサービスの充実を図っていく。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<p>「すかりぶ」登録事業者数</p> <p>市、横須賀商工会議所、市内事業者が一体となって、市内在住の結婚・子育て世代を中心に、「横須賀に住んでよかった」と思ってもらえるような環境づくりと魅力あるサービスを提供していく『子どもが主役になれるまち横須賀』市民限定プレミアムクラブ『すかりぶ』の登録事業者数</p>	223 事業者 (2014 年度)	300 事業者	244 事業者



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>「すかりぶ」登録事業者数は、2015年度は21社の増となった。これに伴い、事業者から寄せられる体験・イベント情報も増えつつあり、2015年度は239件の情報を、登録者に対しホームページやメールマガジンで発信している。</p> <p>次年度も引き続き登録事業者数増を目指し、周知の充実を図っていく。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

**ア. 官民連携による子育て世代の定住を応援する取り組みの推進**

- ▶ 親子で参加できる体験・イベント、買い物での割引サービスなどの魅力ある情報やサービスの提供など、市内居住の魅力や満足度を高めるための取り組みを市、横須賀商工会議所、市内事業者が一体となって推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

【子どもが主役になれるまち横須賀 横須賀市民向けプレミアムクラブ“すかりぶ”の取り組み】  
登録者数：7,421人 協賛事業者数：244店舗

**イ. 親子が楽しめる施設の充実**

- ▶ 新たな遊具の設置、キャンプ施設の整備など、魅力のある施設づくりの取り組みを推進する（長井海の手公園（ソレイユの丘）、くりはま花の国）。

<2015年度：長井海の手公園（ソレイユの丘）への大型遊具の設置>

【P31.「基本目標1－（3）－①－ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】**

【長井海の手公園（ソレイユの丘）への大型遊具の設置】  
2016年3月12日 使用開始  
入園者数は増加傾向  
2015年3月（41,220人）、4月（41,272人）  
2016年3月（53,471人）、4月（60,990人）  
3、4月を比較すると、31,969人の増

## (2) 子育て世代が働きやすい環境づくり（仕事と子育ての両立の実現）

### ①待機児童の解消、多様化する教育・保育ニーズへの対応

これまで行ってきた保育所の定員拡充に加えて、認定こども園や小規模保育事業などの新たな制度を活用しながら、待機児童の解消を図るとともに、延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業など多様な保育ニーズに対応した取り組みを進める。

#### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>保育所等利用待機児童数</b> 保護者の就労などにより保育所等への入所申請をしているにもかかわらず、希望する保育所等の施設定員を超過するなどの理由で入所できない状態にある児童の数	24人 (2014年度)	0人	21人

**保育所等利用待機児童数**  
<単位:人>

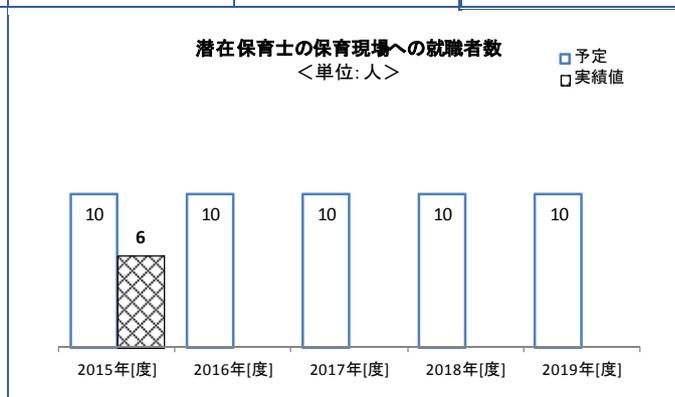
2015年[度] 2016年[度] 2017年[度] 2018年[度] 2019年[度]

#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>幼稚園の認定こども園への移行、小規模保育事業の推進等により定員拡充を図っており、待機児童数は、ここ数年減少傾向ではあるが、目標の0人は達成できていない。</p> <p>待機児童解消に至らない理由としては、定員拡充を行うも、それに伴い利用申込者も増加していることと、地区および年齢により入所できない児童の数に大きな差が出てしまい、最終的に調整しきれなかったことが挙げられる。</p> <p>今後は、待機児童数の多い地域や年齢層に対してより積極的な定員拡充を図るとともに、利用希望者への親身な相談や情報提供を行う専任の非常勤職員を配置することで利用調整の強化を図っていく。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
潜在保育士の保育現場への就職者数 保育士資格を有する横須賀市の潜在保育士の保育現場への就職者数	8人 (2014年度)	10人／年度	6人



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>潜在保育士データベースに登録されている人の中で保育現場に復帰する意欲のある人の復職が一巡したことが原因と分析している。</p> <p>データベースに頼る復職支援から就職相談会を活用した復職支援にシフトし、就職者数を増やしていく。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

- ア. 待機児童の解消に向けた取り組みの推進 ▶ 既存保育所の定員拡充、新たなに認定こども園の設置・移行促進など、待機児童の解消に向けた取り組みを推進する。

【2015年度(平成27年度)実績】

【定員数拡充】

156人

- ・保育所新規認可 1施設 30人
- ・既存施設定員拡充 4施設 計47人
- ・幼稚園→こども園への移行  
1施設 10人(保育定員のみ)
- ・家庭的保育新規認可 9事業所 計31人
- ・小規模保育新規認可 2事業所 計38人

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

イ. 多様な保育ニーズに対応した取り組みの推進

- ▶ 一時預かり・長時間預り保育、また、居宅等を保育室として使用し、少人数で家庭的な雰囲気の中での保育を実施する施設等を増やす、病児・病後児保育施設の新設に向けた検討など、さまざまな保育ニーズに対応した取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【私立幼稚園長時間預かり保育運営支援事業】

7園延べ1,343人の利用

【幼稚園型一時預かり事業】 3園延べ1,620人の利用

【地域型保育事業】 0～2歳児で定員19人以下に特化

家庭的保育事業所 9事業所

小規模保育事業所 2事業所

【保育所等運営費補助】

延長保育実施施設 全施設

一時預かり実施施設 8施設

休日保育実施施設 1施設

ウ. 保育人材の確保に向けた取り組みの推進

- ▶ 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市と共同で運営する「保育所・保育士支援センター」において、未就労の有資格者の再就職支援を行うとともに、研修の実施など保育補助業務に従事する子育て支援員の養成を図る。

【2015年度（平成27年度）実績】

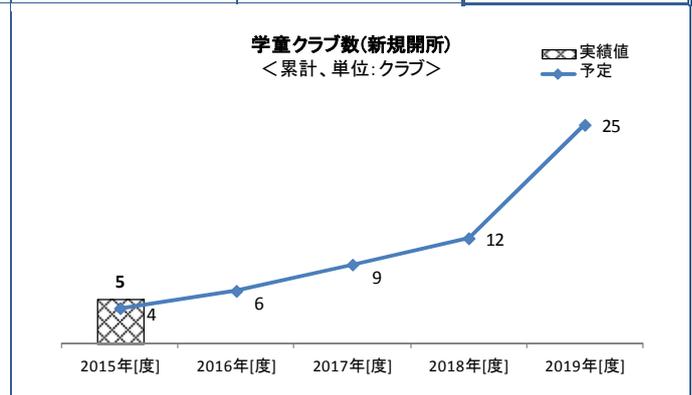
- ・ 保育士・保育所支援センターにおける潜在保育士の復職者数 6人
- ・ 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市と子育て支援員養成研修を共同実施することで合意し、2016年度からの開始に繋げた。

## ②学童クラブの充実

学童クラブを必要とする全ての家庭が利用できるよう、学童クラブの拡充を図り、就学後においても共働き家庭が安心して子育てができる環境を創出する取り組みを進める。

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
学童クラブ数（新規開所） 新たに開所する学童クラブの数	— (2014年度時点 54クラブ)	25クラブ（累計）	5クラブ （※）

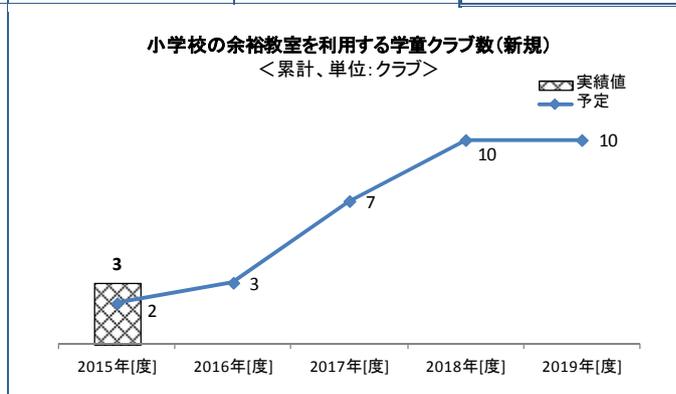


### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる（☆☆☆）
現状分析・今後の方針	<p>年平均5クラブ程度の新規開所が見込まれるため、概ね順調と考える。</p> <p>また、新規開所希望者の相談に懇切丁寧に対応し、新規開所につなげていく。</p> <p>※2015年3月31日 3クラブ減、2015年4月1日 8クラブ増</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
小学校の余裕教室を利用する学童クラブ数 (新規) 新たに小学校の余裕教室を利用する学童クラブの数	— (2014年度時点 15クラブ)	10クラブ (累計)	3クラブ (※)



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>現在、2016年度に4クラブの小学校移転が見込めているため、概ね順調と考える。</p> <p>また、2017年度に3クラブの小学校移転については、現在調整中である。</p> <p>※2015年4月1日 2クラブ、2016年4月1日 1クラブ</p>

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

ア. 学童クラブの小学校移転促進

- ▶ 学童クラブの市立小学校の余裕教室への移転を促進するために必要な施設等の整備を行う。

【2015年度(平成27年度)実績】

【小学校教室改修】

2014年度 2校(長浦小学校、荻野小学校 16,233千円)

※2015年4月1日 移転

2015年度 1校(公郷小学校 13,148千円)

※2016年4月1日 移転

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）**イ. 積極的な学童クラブの運営支援  
や新設支援の推進**

- ▶ 運営費等に係る補助金の交付、開所時の助成（家賃、放課後児童支援員等の雇用、防災用備品等の購入等）、支援員等の研修会の開催など、クラブ運営や新設に対する支援を行う。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【補助金交付】 6クラブ**

- ・家賃補助（2クラブ 308千円）
- ・礼金補助（2クラブ 155千円）
- ・備品補助（6クラブ 1,050千円）
- ・放課後児童支援員等雇用補助（2クラブ 336千円）

**ウ. 補助制度の充実や保育料の軽減**

- ▶ 運営費等に係る補助金の交付、ひとり親・多子世帯への利用料割引加算など、学童クラブに対して助成を行い、保育料の軽減を図る。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【ひとり親世帯利用料割引加算】 364人 18,500千円****【多子世帯利用料割引加算】 193人 9,552千円****エ. 学童クラブ運営に携わる関係者の負担軽減、地域の学校法人や社会福祉法人等の参入促進**

- ▶ 学童クラブの運営者を対象とした社会保険労務士や税理士等専門家による相談会を実施する。また、地域の学校法人や社会福祉法人等の参入を促進するため、家賃補助の対象に法人を加える。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【社会保険労務士等の専門家による相談会】**

1回実施（2015年11月16日）

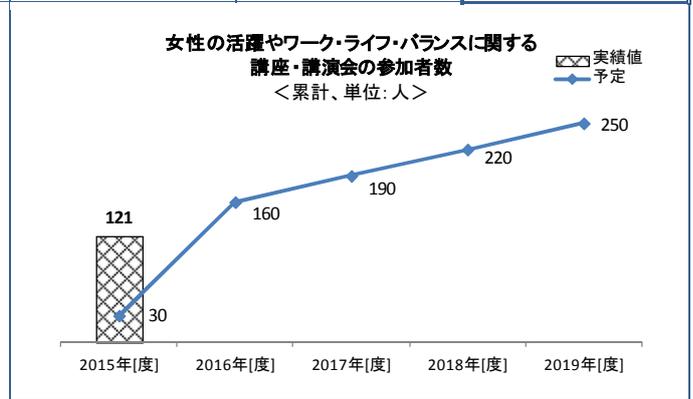
11クラブ 29名参加

### ③ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進

女性が出産後も安定して働けるよう、また、男性も含めた育児休業制度の利用促進などワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に向け、事業主に対して分かりやすく情報提供を行うなど必要な支援を行う。

#### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度]実績値
女性の活躍やワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の参加者数 <small>女性の活躍やワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会（女性活躍推進シンポジウム、男女共同参画セミナー等）の参加者数</small>	25人 (2014年度)	250人（累計）	121人



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる（☆☆☆）
現状分析・今後の方針	働く女性への支援やワーク・ライフ・バランスをテーマとした講座・講演会を計画どおりに進めることができた。 今後も継続して講座・講演会をとおした啓発に取り組んでいく。

#### 【施策】

#### 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 女性の活躍、ワーク・ライフ・バランスに対する意識を高める取り組みの推進

▶ シンポジウムの開催など、啓発等の取り組みを推進する。

#### 【2015年度（平成27年度）実績】

#### 【意識啓発】

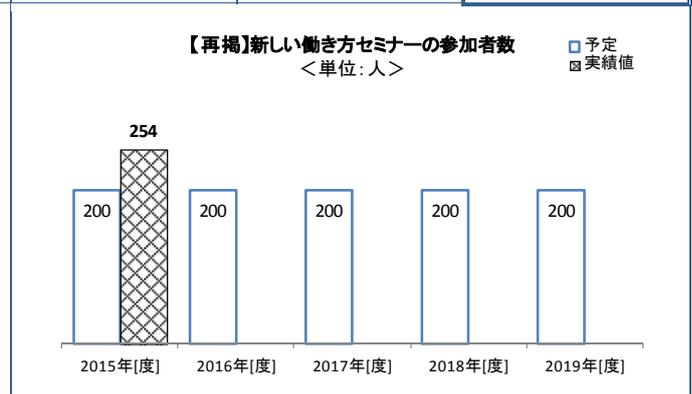
- ・働く女性への支援やワーク・ライフ・バランスをテーマとした男女共同参画セミナーの開催 3回
- ・男女共同参画モデル事業所づくり講演会の開催
- ・男女共同参画広報紙（年3回発行）

#### ④【再掲】ICT（情報通信技術）を利用した新たな働き方の普及・促進

クラウドソーシングによる「自営型テレワーク」といった、ICT を活用した場所や時間を選ばない柔軟な働き方の普及・促進を図る。

##### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
【再掲】新しい働き方セミナーの参加者数 クラウドソーシングを広く普及させるためのセミナーの参加者数	—	200人／年度	254人



##### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー（7回 参加者 223人）、スキルアップセミナー（2回 参加者 31人）開催し、普及促進を図ることができた。引き続き実施していく。

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 新しい働き方（クラウドソーシング）の周知・啓発 ▶ セミナーやスキルアップに向けた講座の開催など、普及に向けた取り組みを推進する。

<2015年度：セミナー・講座の開催>

【P21.「基本目標1－（1）－③－ウ」、P25.「基本目標1－（2）－②－ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【クラウドソーシングを活用した仕事づくりの支援】**

- ・クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー開催  
7回 参加者 223人
- ・スキルアップセミナー開催  
2回 参加者 31人

## 基本目標4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める

### 【4-1 空き家対策・都市のコンパクト化】

#### <数値目標>

項目	直近値／基準値	目標値	2015年[度] 実績値
<b>横須賀中央エリアの世帯数</b> 市街地総合再生計画区域に含まれるエリア（若松町1～3丁目、大滝町1～2丁目、本町1丁目、小川町）における世帯数 （10月1日現在住民基本台帳登録人口）	1,710世帯 （2014年）	2,200世帯	1,686世帯
<b>横須賀市を「住み良い」と思う人の割合</b> 市民アンケートにおける横須賀の住み良さについて、「住み良い」「まあまあ住み良い」を選択した人の割合 （「基本計画重点プログラム市民アンケート」）	86.6% （2014年度）	86.6%	82.7% （2016年5月）
<b>空き家率（前回調査との差）</b> 市内の総住宅数に対する空き家数割合の前回調査との差 （総務省「住宅・土地統計調査」、次回調査は2018年）	2.5ポイント （2013年） 2008年：12.2% 2013年：14.7%	2.5ポイント 以下	—

## (1) 人口減少社会を見据えたまちづくりの推進 (コンパクトな都市づくりの考え方としての「拠点ネットワーク型都市づくり」の推進)

### ① 拠点ネットワーク型都市づくりの推進

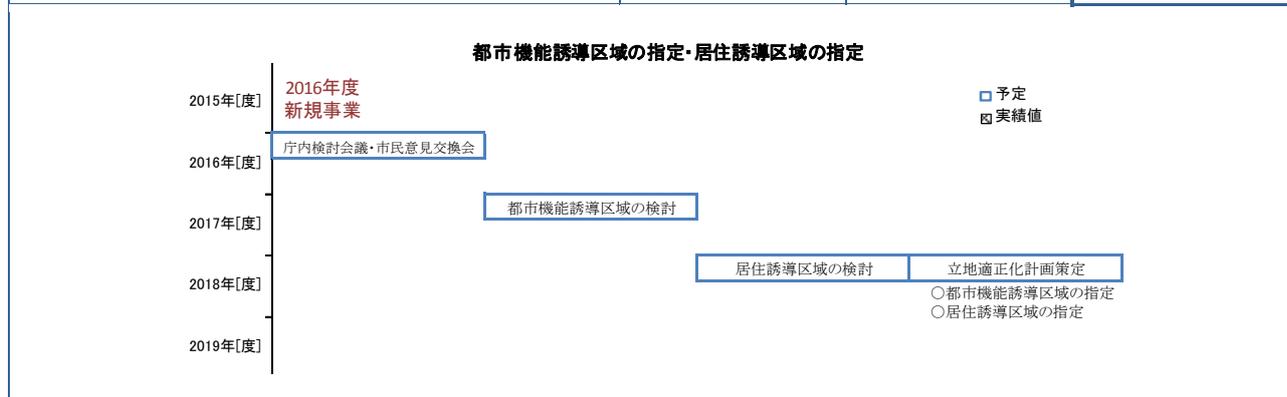
主要鉄道駅等を中心とする市街地の再開発や高度利用を推進する。これによる居住機能や生活利便施設が集積した拠点市街地の形成を図る。

駅周辺の拠点市街地とバスでアクセスされている既存住宅団地における店舗等の立地誘導など生活利便性を確保する。

人口や世帯数の減少が続き、道路等の都市基盤が十分でない地域の長期的な縮退を検討する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>都市機能誘導区域の指定</b> 医療施設、福祉施設、商業施設などの都市機能増進施設の立地を誘導すべき区域として立地適正化計画に定められる区域の指定	—	区域の指定	— 2016年度新規事業
<b>居住誘導区域の指定</b> 居住を誘導すべき区域として立地適正化計画に定められる区域の指定	—	区域の指定	— 2016年度新規事業

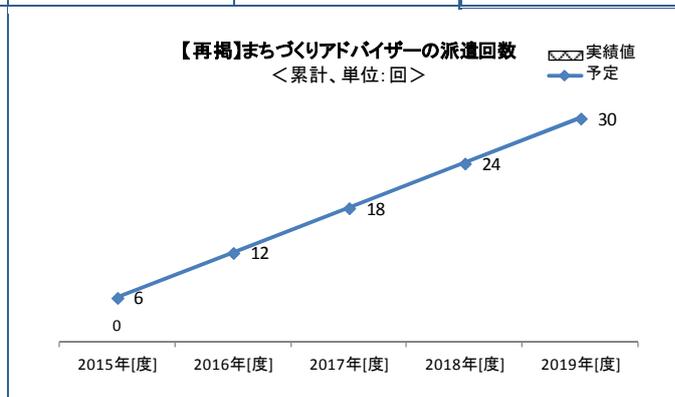


#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	2016年度に市民意見交換会、庁内検討会議を実施し、2018年度に立地適正化計画を策定する方針。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】まちづくりアドバイザーの派遣回数</b> 市民がまちづくりを検討する際の複雑な課題（街の環境改善や建物共同化、土地利用の高度化など）の解決に向け、ノウハウの提供など技術的な支援を行う専門アドバイザーの派遣回数	9回 (2014年度)	30回 (累計)	0回



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	<p>市民（権利者等）が自らまちづくりの検討を行い、その合意形成を含めたまちづくり活動を行うことについて、2015年度は、まちづくりアドバイザーの派遣によらず、本市が行う他の調査業務において支援を受けることができています。</p> <p>このような状況を踏まえて、今後の業績評価指標については再考する必要もあると考える。</p>

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 中心市街地や拠点市街地の再開発促進（横須賀中央駅周辺地区、追浜駅前地区、京急久里浜駅周辺地区など）

▶ 事業化に向けた準備組合の活動、各協議会の活動に対する支援、関係機関との調整や情報交換など再開発促進に向けた取り組みを推進する。

【P59.「基本目標2-(3)-③-ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

【活動費交付金の交付】	5地区
【市街地総合再生基本計画の作成】	1地区
【市街地再開発事業基本計画の作成】	1地区
【再開発コーディネート業務の実施】	1地区

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

- イ. JR 久里浜駅周辺地域の土地利用の検討 ▶ JR 久里浜駅周辺地域の土地利用に関して、国、JR 東日本、市が連携して検討を行う。

【P59.「基本目標 2 - (3) - ③-イ」にも掲載】

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

・ JR 久里浜駅周辺地域の土地利用に関して、国、JR 東日本、市が会合を行い、連携して検討を行うことを確認した。

- ウ. 都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画（※）策定に向けた検討 ▶ 立地適正化計画の策定に向けた取り組みを推進する。  
※都市計画区域内に、医療・福祉・商業等の各種サービスの効率的な提供を図る「都市機能誘導区域」、人口減少が進む中で人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導する「居住誘導区域」を定めるなどコンパクトなまちづくりに取り組む計画

【2015 年度（平成 27 年度）実績】

【2016 年度新規事業】実績なし

2016 年度に市民意見交換会、庁内検討会議を実施し、2018 年度に立地適正化計画を策定する予定

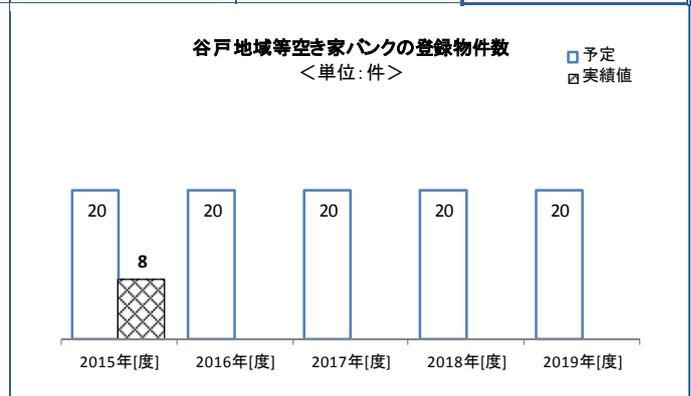
**(2) 総合的な住宅政策の立案・推進**  
**(空き家を含めた既存ストックの有効活用、流動化の促進)**

**①既存住宅の有効活用、流動化の促進に向けた取り組みの推進**

既存ストックの有効活用、老朽化した空き家の除却も含めた総合的な住宅政策を立案・推進する。

**<重要業績評価指標 (KPI) >**

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>谷戸地域等空き家バンクの登録物件数</b> <small>駅周辺の階段上部で、物件の流通を促進し活性化を図るための空き家バンクに登録した物件数</small>	5件 (2014年度)	20件／年度	8件

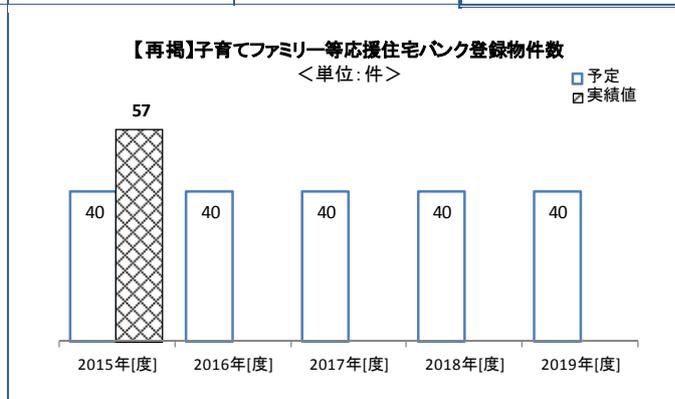


**実績値の分析**

<b>進捗状況</b> (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
<b>現状分析・今後の方針</b>	モデル地区内でバンク登録対象となる空き家の調査が及んでいない地域があるため、所有者に対する登録依頼が不足していた。 2016年度は、当該地域での調査を行い、所有者に直接、物件登録の案内を送付する。また、併せて、対象となる物件の仲介業者にも掲載の案内を行う。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】子育てファミリー等応援住宅バンク登録物件数</b> 空き家対策と子育て世代の定住を促進するための「子育てファミリー等応援住宅バンク」の登録物件数	—	40件／年度	57件／年度



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	指標値を上回る数の物件がバンクに登録されたことで、中古住宅の取得を検討している方にとっての選択肢を広げることにつながったと考えている。 今後も宅地建物取引業協会や全日本不動産協会と連携し、不動産事業者へのチラシ配布や電話・訪問での案内を行っていく。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】学生シェア居住助成物件数</b> 市の助成制度（学生シェア居住）を利用して居住開始された物件数	—	10件／年度	— 2016年度新規事業

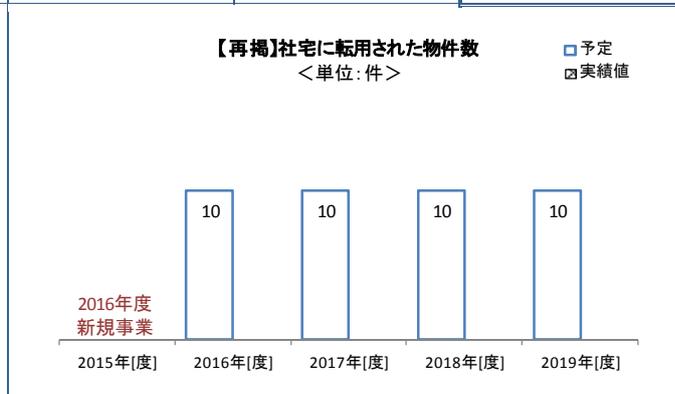


**実績値の分析**

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	大学の学生支援担当とも連携を取り、学校で説明会を開催するほか、必要に応じて学生への空き家物件紹介やグルーピング支援等、個別案件についても積極的な支援を行っていく。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】社宅に転用された物件数</b> 市の助成制度（社宅転用）を利用してリフォームされた物件数	—	10件／年度	— 2016年度新規事業



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	横須賀商工会議所と連携し、商工会議所開催の事業などを通じて、市内事業者への周知を図っていく。

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

ア. 家族形態やライフステージにあった住まいの選択ができるよう、住み替え促進など、良質な住宅ストックを循環させる仕組みの検討

▶ 不動産事業者、金融機関等と連携し、相談窓口の設置、出張相談会の開催など主に単身・夫婦のみの高齢世帯を対象とした物件の流動化に向けた取り組みを推進する。

【P54.「基本目標2-(3)-①-ア」、P57.「基本目標2-(3)-②-ア」にも掲載】

【2015年度(平成27年度)実績】

【2016年度新規事業】実績なし

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に対する各種助成、所有者に対するリフォーム助成など、流通促進に向けた支援を行う。

＜2015年度：住宅バンク開設、各種助成制度（物件購入・引越し・リフォーム）の創設＞

【P54.「基本目標2－（3）－①－ア」、P57.「基本目標2－（3）－②－ア」、P78.「基本目標3－（1）－④－ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】****【子育てファミリー転入応援住宅バンク】**

制度を利用し、転入した子育て世帯の数 3組

- ・引越し助成 3件 348,482円
- ・物件購入助成 3件 595,400円
- ・住宅リフォーム助成 1件 150,000円

- ▶ リフォームに対する助成金など、市外に住む子ども夫婦世帯と市内に住む親世代との市内同居（多世代同居）に向けた支援を行う。

＜2015年度：リフォーム助成制度の創設＞

**【2015年度（平成27年度）実績】****【2世帯住宅リフォーム助成事業】**

自宅をリフォームした世帯の数 2組

- ・住宅リフォーム助成 2件 600,000円

**イ. 既存住宅団地への子育て世代の流入促進**

- ▶ 「子育てファミリー等応援住宅バンク」登録物件の購入者に対する各種助成など、良質な中古住宅の購入に向けた支援を行う。

＜2015年度：住宅バンク開設、各種助成制度（物件購入・引越し・リフォーム）の創設＞

**【2015年度（平成27年度）実績】****【子育てファミリー転入応援住宅バンク】**

制度を利用し、転入した子育て世帯の数 3組

- ・引越し助成 3件 348,482円
- ・物件購入助成 3件 595,400円
- ・住宅リフォーム助成 1件 150,000円

**ウ. 近隣の大学生等を対象に含めたアパートなど賃貸共同住宅等の再生（リノベーション・リフォーム）支援**

- ▶ 鉄道駅周辺の階段上部で周辺高齢者の見守りを行う学生の市内居住促進に向け、リフォームを行う所有者を支援する。

【P63.「基本目標2－（3）－⑤－ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】****【神奈川県立保健福祉大学等学生居住支援事業】**

- ・所有者に対するリフォーム助成 0件
- ・継続して居住している学生に対して家賃補助 3件(8名) 435,000円

【施策】	【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）
<p>エ. シェアハウス、共同オフィス、サテライトオフィス、企業の厚生施設（社宅）など、多目的での活用の誘導・促進</p>	<p>▶ 市内、近隣の大学等と連携し、学生のシェア居住を支援する。</p> <p>【2015年度（平成27年度）実績】</p> <p>【2016年度新規事業】実績なし</p> <p>▶ 既存住宅をリフォームして社宅に転用する事業者を横須賀商工会議所と連携して支援する。</p> <p>【P78.「基本目標3-(1)-④-ア」にも掲載】</p> <p>【2015年度（平成27年度）実績】</p> <p>【2016年度新規事業】実績なし</p>
<p>オ. 公務員等の宿舍や企業の社宅から退出した後の住まいの候補となるよう、物件情報の提供など、関係機関と連携した取り組みの推進</p>	<p>▶ 不動産事業者や関係機関と連携し、主に、市外在住者を対象にした新たな情報サイトによる物件情報の提供を進める。</p> <p>【P67.「基本目標2-(4)-①-ア」にも掲載】</p> <p>【2015年度（平成27年度）実績】</p> <p>・横須賀市、横須賀商工会議所、京浜急行電鉄株式会社で構成する「横須賀“住”魅力発信プロジェクト実行委員会」で、不動産情報サイト「横須賀STYLE」を運営し、市内の物件情報を発信した。</p> <p>▶ 自衛隊など国の機関や企業等への訪問活動を行い、物件情報を提供する。</p> <p>【P67.「基本目標2-(4)-①-ア」にも掲載】</p> <p>【2015年度（平成27年度）実績】</p> <p>【企業・大学等を対象としたプロモーション】 本市から通勤圏内の企業等への直接アプローチ 573社 企業等を対象とした市内視察ツアー 1回</p>
<p>カ. 市の推進体制の強化</p>	<p>▶ 関係機関や事業者との連携を強化し、住宅ストックの循環を促進する施策を推進するため、新たに担当部署を設置する（担当課長の配置）。</p> <p>【P57.「基本目標2-(3)-②-ウ」にも掲載】</p> <p>【2015年度（平成27年度）実績】</p> <p>・都市部都市計画課に住まい活用担当課長を配置 (2016年4月)</p>

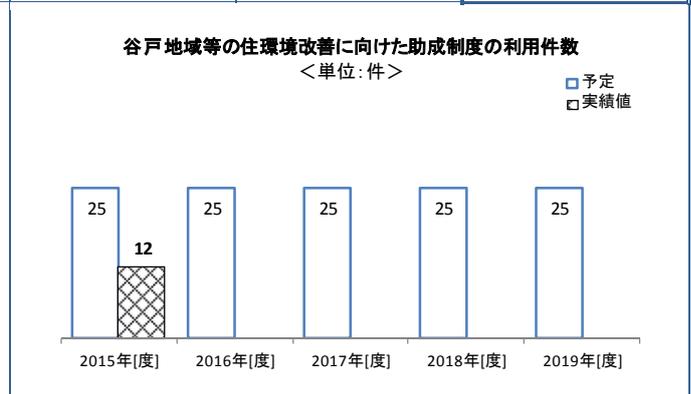
### (3) 増加が予測される空き家の管理を行き届かせるための取り組みの推進

#### ① 空き家の適正な管理に向けた取り組み

防災や防犯の上からも、空き家の適正管理に向けた取り組みの検討・推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>谷戸地域等の住環境改善に向けた助成制度の利用件数</b> 市の助成制度（空き家解体助成、菜園助成、みどり復元助成、憩いの場整備助成など）の利用件数	2件 (2014年度)	25件／年度	12件



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	モデル地区内で空き家の調査が及んでいない地域があるため、所有者に対する制度の周知が十分でなかった。 2016年度は当該地域での調査を行い、所有者に各種助成制度の案内を送付するとともに、町内会へも案内の回覧を依頼する。

#### 【施策】

#### 【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

ア. 老朽化した危険な空き家の増加が懸念される地域を対象とした除却誘導

▶ 解体費用に対する助成など、除却に向けた取り組みを推進する。

【2015年度 (平成 27年度) 実績】

【空き家解体費用助成】 5件

【施策】

【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

イ. 除却後の活用方法の検討（売却など取引が難しい土地の町内会等への寄付、緑化再生など）

▶ 菜園化やみどりへの復元、町内会の憩いの場としての整備、隣人への売却時の解体への助成など、除却後の住環境の改善に向けた取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【谷戸モデル地区空き家バンク】登録8件、賃貸成約5件

【谷戸の空き家バンクリフォーム助成】 5件

【谷戸の空き家片付け助成】 3件

【谷戸の空き家解体助成】 4件

▶ 売却など取引が難しい土地の町内会等への寄付制度を検討する。

【2015年度（平成27年度）実績】

・土地を売却する際に障壁となる家屋の解体費用について、実質的に地主の負担を軽減し、売却を促す「隣人への土地売却時空き家解体助成」を2016年度から実施することとした。

（補助額＝家屋の解体費用から土地の売却額を差し引いた額 上限200万円）

## 【4-2 健康・医療・福祉対策】

### <数値目標>

項目	直近値／基準値	目標値	2015年[度] 実績値
<b>65歳以上人口に対する介護保険の 認定者数の割合</b> 65歳以上人口に対する介護保険の認定者数(65歳以上の人のみ)の割合 ※10月1日現在	16.4% (2014年度)	16.0%	16.7%
<b>メタボリックシンドロームの 予備群・該当者の割合(40～74歳)</b> 生活習慣病薬剤の服用者を含めたメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群および強く疑われる人(該当者)の割合 (国民健康保険特定健康診査)	26.8% (2014年度)	20.0%	27.3%
<b>習慣的に運動している人の割合(成人)</b> 市民アンケートにおける成人人口に対する習慣的に運動している成人の割合(30分以上の運動を週2回、ウォーキングを含む) (「基本計画重点プログラム市民アンケート」)	男性 49.0% 女性 44.6% (2013年度) ※参考値	男性 60.0% 女性 60.0%	男性 62.8% 女性 58.4% (2016年5月)
<b>「誰もが活躍できるまちづくり」に対する 市民満足度</b> 市民アンケートにおける「誰もが活躍できるまちづくり」(現在の実感)についての肯定的な回答割合と否定的な回答割合の差(DI) (「基本計画重点プログラム市民アンケート」)	5.2ポイント (2013年度)	5.0ポイント 以上上昇	9.4ポイント 低下 (2016年5月 ▲4.2ポイント)

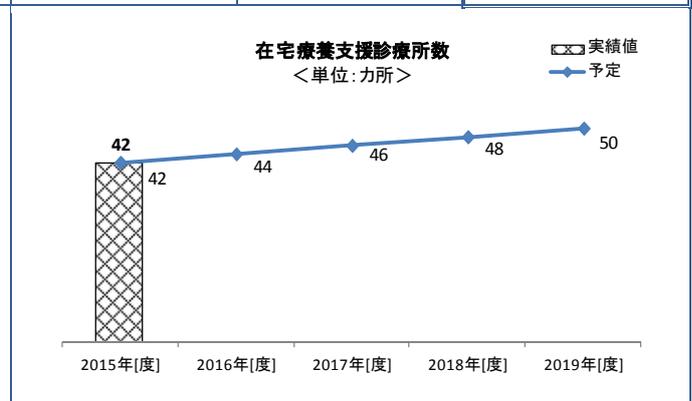
## (1) 適切な医療・介護体制の整備、終末期の課題や不安の解消

### ①在宅医療・介護連携の取り組みの推進

在宅での療養を望む市民やその家族が安心して生活を送ることができるよう、医師会等と連携し全国に先駆けて開始した在宅医療・介護連携の取り組みをさらに推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
在宅療養支援診療所数 24時間、往診や訪問看護の提供が可能な体制を取っていることや、緊急時の入院の受け入れ体制を他の医療機関と連携していることなど、必要な条件を満たしている保険医療機関の診療所数	41カ所 (2014年度)	50カ所	42カ所



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>安心した在宅療養生活を送るためには、医療・介護の多職種の連携が必須である。これまでに会議や研修等を積み重ねることで、市内においては多職種の顔の見える関係が構築されてきている。それが業務での連携にもつながり、在宅療養全体の推進にも寄与していると考えられる。</p> <p>しかしながら、在宅療養に必須の存在である在宅医の数は容易に増えないのが現状である。医師会等との連携のもと、市内診療所医師等に対して、今後の社会における在宅医療の必要性を、効果的に伝える方法を検討するとともに、在宅医の負担軽減につながる仕組み等もあわせて検討し、実施する。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 連携体制の強化と場づくり（職種・関係機関・二次医療圏内市町）

▶ 医療関係者と介護関係者など多職種が参画する会議、二次医療圏における4市1町の会議の開催など、医療・介護・行政など関係機関の連携強化に向けた取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

【在宅療養連携会議】 16回

【ブロック連携拠点運営委託】 4か所（市内病院）  
市内を4つの地域にわけ、ブロック連携拠点を設置  
ブロック会議開催、ブロック内多職種研修会開催、地域内在宅医の連携協力体制構築、病診連携推進等

【センター連携拠点運営委託】 1か所（医師会）  
市内全域を対象とした事業を実施する拠点を設置  
多職種合同研修会開催（市内全域）、在宅患者情報共有システム運用、在宅患者入院支援登録システム運用等

【横須賀・三浦二次医療圏在宅医療・介護連携推進事業担当者会議】 1回

イ. 在宅医や在宅療養支援診療所の拡大など人材の確保、育成

▶ 開業医向けセミナー、病院医療職向け在宅療養研修、介護職向け医療セミナーの開催など、在宅医療参入への動機付けや職員の知識習得を図る取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

【在宅医療推進動機づけ多職種連携研修】

参加者 101人

【開業医対象研修】

在宅医療セミナー 1回 参加者 40人

在宅医同行研修 4回 参加者 4人

【病院医療職対象研修】

病院内在宅医療セミナー 5回 参加者 370人

【介護職のための在宅療養セミナー】

4回 参加者延べ 240人

ウ. 市民への啓発、相談窓口（場所・時間など）の周知

▶ シンポジウムの開催や啓発冊子の配布など、市民への啓発を推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

【在宅療養シンポジウム開催】

2016年1月17日 参加者 700人

【在宅療養ガイドブック増刷】

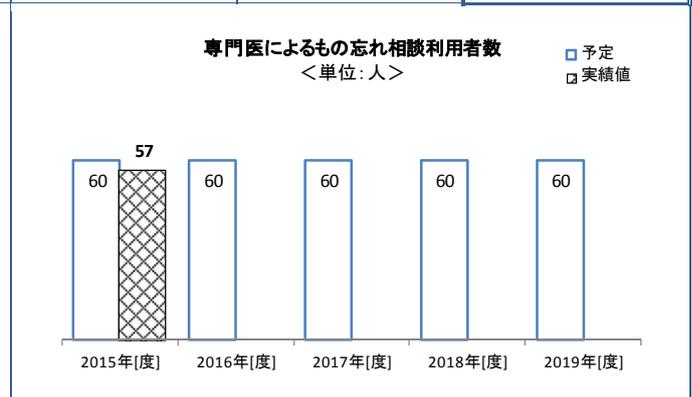
5,000冊

## ②認知症の人と家族への対応

認知症への理解を深めるための普及・啓発や継続的な支援体制の確立など、増加が見込まれる認知症高齢者への対応に向けた取り組みを推進する。

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>専門医によるもの忘れ相談利用者数</b> 早期対応を行うための専門医による面接相談の利用者数（訪問による相談を除く）	61人 (2014年度)	60人／年度	57人

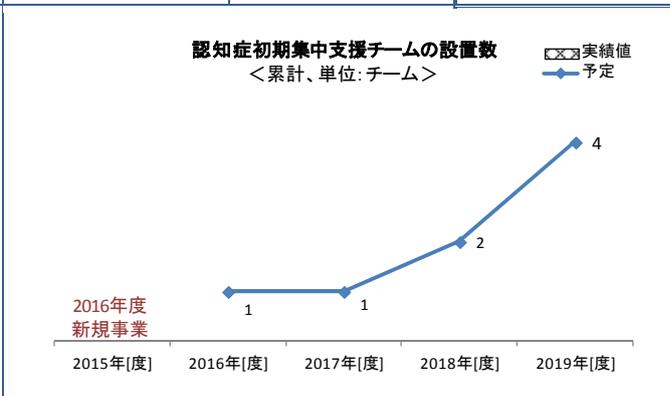


### 実績値の分析

<b>進捗状況</b> (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
<b>現状分析・今後の方針</b>	<p>今後も認知症の心配のある高齢者は増加の見込みであるが、もの忘れ相談利用者は指標値に達していない。これは、啓発により早期に市内の医療機関のもの忘れ外来を受診することがより進んだためと考えられる。</p> <p>2015年度より「認知症ケアパス（認知症の進行に合わせて受けられる医療・介護サービスなどを具体的に示したもの）」を配布しており、今後さらに配布数を増やすことで認知症に関する周知が進むとともに、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェなどの利用が増え、早期受診・早期対応は更に促進されることが考えられる。</p> <p>もの忘れ相談は受診に抵抗があるような正常範囲か MCI（軽度認知障害）である人が利用しやすい事業であり、早期受診・早期対応に有効であるが、認知症の人と家族への対応に関する指標としては、今後、別の指標も加えるなど検討が必要と考えられる。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>認知症初期集中支援チームの設置数</b> 医療・介護・福祉サービスへの取り次ぎや家族支援などに一体的に対応する「認知症初期集中支援チーム」の設置数	—	4チーム（累計）	— 2016年度新規事業

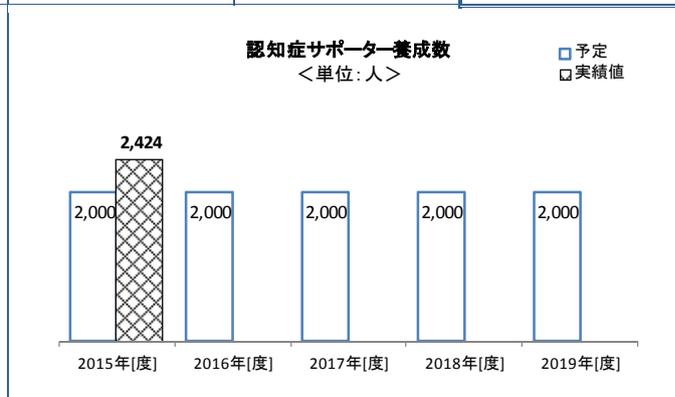


実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	2016年10月から、1チームを高齢福祉課に設置し、活動している。 チーム員は、高齢福祉課と地域包括支援センターの専門職(保健師・看護師・社会福祉士など)と医師会や認知症疾患医療センターなどの専門医で構成され、10月には第1回目のチーム員会議を開催し、支援にあたっている。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>認知症サポーター養成数</b> 認知症を理解し、地域で暮らす認知症の人とその家族を支援する意思のある認知症サポーターの養成数(認知症サポーター養成講座受講者数)	1,998人 (2014年度)	2,000人/年度	2,424人



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>横須賀市の認知症高齢者の推計数は、認知症高齢者が 17,566人、正常と認知症の中間状態のMCI 高齢者が 15,244人と考えられる。厚生労働省の認知症サポーター養成目標値である 400万人を横須賀市に当てはめると、必要なサポーター数は 13,800人程度である。サポーターの養成数は、平成 25 年末に 13,805人、平成 27 年末に 18,227人となり養成目標値を達成している。</p> <p>認知症サポーターは、何かを特別にやってもらうものではなく、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人や家族に対して温かい目で見守り支援する応援者である。サポーターが、できる範囲で見守りや認知症家族の手助けをすることにより、認知症になっても施設に入所するだけでなく、地域で暮らすことを選択できる社会を目指している。認知症サポーター養成は、金融機関や警察などでも認知症について理解することで、ATM の使用方法に迷う高齢者や、徘徊している認知症者の助けとして役立っている。</p> <p>サポーターの養成数は第 6 期横須賀高齢者保健福祉計画で、高齢者人口の伸びに合わせて年 2,000人と定めているが、厚生労働省の新オレンジプランによる新たな目標値 800万人を受けて、平成 30 年からの第 7 期の横須賀高齢者保健福祉計画では、養成数を見直したい。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 早期受診・早期相談体制の整備と認知症の人、その介護者や家族への支援

▶ 専門医による面接相談や訪問指導など早期受診・早期相談の体制を整えるとともに、情報交換の場や介護に関する学習の機会を提供するなど、介護者に対する支援を行う。

【2015年度（平成27年度）実績】

【もの忘れ相談】 24回 57人  
【もの忘れ訪問】 1回 1人  
【認知症高齢者介護者の集い】 18回 74人  
【認知症介護教室講演会】 1回 125人

▶ 認知症高齢者やその家族を地域で見守るサポーターを増やす取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

【認知症サポーター養成講座】  
88回開催  
サポーター養成数 2,424人

イ. 地域包括支援センターなど関係機関との連携

▶ 地域で暮らす高齢者や家族に対する総合的な支援を行う地域包括支援センターを中心に認知症の人や家族を地域で支えていく体制の充実を図る。

【2015年度（平成27年度）実績】

・ 認知症高齢者等支援連携会議、地域ケア会議を開催

▶ 地域の関係機関間の連携を図り、認知症の人への効果的な支援を行うため、認知症地域支援推進員を配置する。

【2015年度（平成27年度）実績】

市役所高齢福祉課に1名配置（平成26年度から）

ウ. 大学や研究機関との連携、知見を生かした取り組みの推進（認知症予防における運動や噛むことの重要性の啓発など）

▶ 認知症予防における運動や噛むことの重要性の啓発など、大学や研究機関と連携し、知見を生かした取り組みを推進する。

【2015年度（平成27年度）実績】

・ 神奈川県立保健福祉大学と認知症予防教室モデル事業を3年間実施し、その後、知見を生かした認知症予防教室を市内で展開している。

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- エ. 医療・介護・福祉サービスへの  
取り次ぎや家族支援などに一体的  
に対応する体制づくり（「認知  
症初期集中支援チーム」の設置）
- ▶ 早期相談・早期対応の体制整備のため、認知症専門医の指導の下、  
複数の専門職が対象者を訪問し、包括的・集中的に必要な支援を  
行う「認知症初期集中支援チーム」を立ち上げ、認知症が疑われ  
る人への支援を行う。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【2016年度新規事業】** 実績なし

2016年度 市役所高齢福祉課に1チーム配置予定。

- オ. 市民への啓発、相談窓口（場所・  
時間など）の周知
- ▶ 認知症予防講演会、予防講座の開催など、認知症予防に関する知  
識の普及や啓発を行う。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【認知症予防講演会】** 1回開催、参加者数 253人

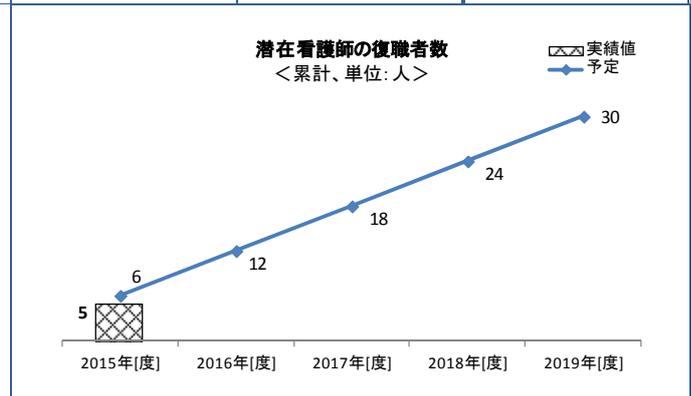
**【認知症予防講座】** 96回開催、参加者数 1,384人

### ③医療・介護人材の確保・育成

増加が見込まれる医療機関受診者、要介護者への対応に必要となる医療・介護人材の確保・育成に向けた取り組みを推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
潜在看護師の復職者数 看護師資格を持ちながらも看護職から離れていた人が看護職へ復帰した人数	3人 (2014年度)	30人(累計)	5人

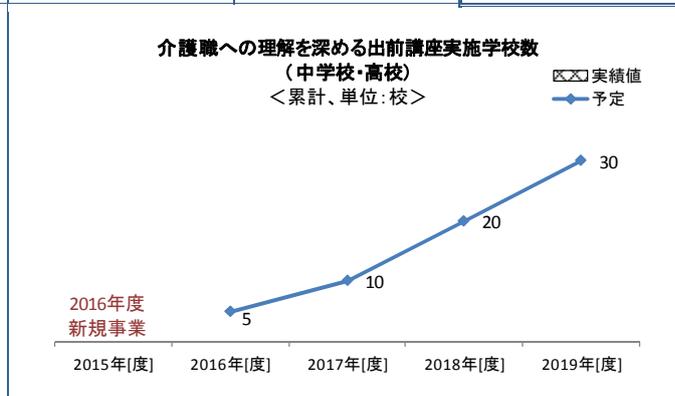


#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>看護師の再就職については、民間病院及び介護施設でも事業実施している中、本市では、市民協働モデル事業(※1)として、看護職のための合同就職・進学説明会や復職を希望する看護職を対象とした病院見学会など、潜在看護師が市内で復職するための支援策を実施し市内の看護師確保に努めてきた。</p> <p>事業の広報活動としては、広報紙やホームページへの掲載、無料相談窓口の開設などを実施してきた。</p> <p>しかし、離職し、潜在化している看護師は、育児中であったり、他の仕事をしていたり課題や生活拠点等は多様性があり、対象者の把握が困難な状況にある。</p> <p>そのため、これまでの広報活動では、対象者が実施している支援策の情報に接することが少なく、実施する支援策への参加機会がなかったため、復職者数が少なかったと考えられる。</p> <p>今後は、これまで市民協働モデル事業として実施していたものを市の事業として内容を充実させるとともに、SNSやHP上での会員登録などで広報を強化し、合同就職・進学説明会や復職研修会などへの参加者を増やすことで、市内で再就職する看護師数の増を目指す。</p> <p>※横須賀市企画提案型市民協働モデル事業 市と市民公益活動団体で実行委員会を設立し、協働で行う事業の経費を市が負担する制度。(団体名:NPO法人看護職キャリアサポート)</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
介護職への理解を深める出前講座実施学校数 (中学校・高校) 「介護職員出前講座」を実施した学校数	—	30校 (累計)	— 2016年度新規事業



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	市立中学校、市立総合高校へ事業の説明に努め、講座を受講してもらえるように働きかけを実施していく。

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

ア. 医療関係者等の確保・育成  
(看護師の復職など)

- ▶ 看護師の離職防止のための研修会の開催、潜在看護師や新たな看護師確保のための合同就職進学説明会、病院見学会の開催、男性看護師の支援など人材の育成、確保に向けた取り組みを推進する。

【2015年度(平成27年度)実績】

【看護師離職防止の研修会】

2回 参加者延べ34名

【看護職のための合同就職・進学説明会】(※)

1回 参加者34人

【キャリア支援研修】(※) 1回 参加者8名

【看護職のための復職支援研修(市内病院見学会)】(※)  
参加者8名

【キャリアカウンセリング】(※) 6名

【男性看護師交流会】(※) 1回 参加者8名

(※) 市民協働モデル事業として実施

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ▶ 看護師の市内定住に向け、身近に出会いの場がないとする人に対して、そのきっかけとなる場を提供する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【看護職の婚活パーティー】**

1回 参加者 18人

（市民協働モデル事業として実施）

- ▶ 介護職員の離職を防止するため、マネジメントやコミュニケーションなど、働きやすい職場環境づくりのための研修を開催する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設）職員研修】**

・OJTリーダー養成研修 20人×3日

・コミュニケーション研修 20人×1日

・フォローアップ研修 15人×2日

（過去のOJTリーダー養成研修受講者向け）

**【地域密着型サービス事業所職員研修（認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所）】**

・コミュニケーション研修 29人×1日

イ. 若年層に対する介護への関心を高める取り組みの推進、また、定年退職後の高齢者への動機付け、外国人人材の活用など介護業界で働く人の裾野の拡大

- ▶ 介護の仕事に対する理解を深めるため、市立中学校等の生徒を対象に地域の介護施設職員を講師とした出前講座を開催する。

【P24.「基本目標1-(1)-⑥-ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】**

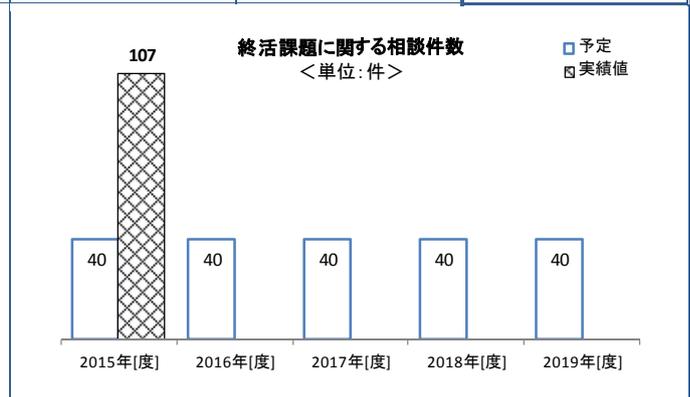
**【2016年度新規事業】** 実績なし

#### ④終末期の課題や不安の解消

現在、全国に先駆けて進めている、ひとり暮らしで身寄りのなく、生活にゆとりがない高齢者が抱える終末期の課題や不安を解消するための取り組みをさらに推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
終活課題に関する相談件数 ひとり暮らしで身寄りがなく、生活にゆとりがない高齢者の終活課題に関する相談件数	—	40件／年度	107件



#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	順調に進んでいる (☆☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>広報よこすかによる周知をはじめ、民生委員、地域包括支援センター等への説明会の実施、報道各社にも事業内容が取り上げられた。その甲斐もあって、相談件数は、行政機関、教育機関、報道機関等からの問い合わせも含めると218件ののぼり、そのうち高齢者本人やその親族、知人からの相談は107件と、指標値を大きく上回る相談件数となった。事業登録者は5人であったが、身寄りがいたり、要件を上回る収入、資産があるなどの登録者要件にあてはまらない相談者であっても、葬儀・納骨に関する情報の提供や相続権の説明を行ったほか、司法書士会や弁護士会などの専門家への相談につなぐなどして問題解決を図っている。</p> <p>今後も継続的に周知活動の推進を図る。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

- ア. 協力葬祭事業者と連携した、葬儀、納骨、死亡届出人、リビングウィル（延命治療の意思）の相談、支援プランの策定（エンディングプラン・サポート事業）
- ▶ 本人から死亡時の葬儀内容・納骨場所等について事前に相談を受け、本人と事業者との生前契約を支援するなど、終末期の課題や不安を解消するための取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【エンディングプラン・サポート事業】**

相談件数 107件

事業登録者数 5人

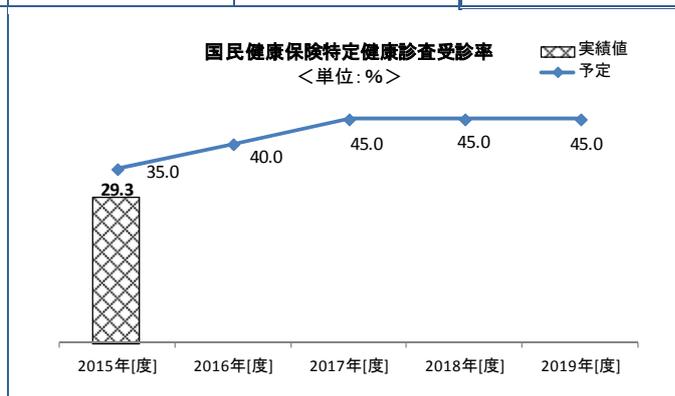
## (2) 健康管理意識の向上・行動変容を促すための取り組みの推進

### ①生涯現役社会の実現

健康寿命の延伸に向けて、自身の健康に関心を持ち、「食生活を見直す」「運動習慣を身につける」といった行動をする人を増やすための取り組みを推進する。

#### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
国民健康保険特定健康診査受診率 横須賀市国民健康保険加入者（40～74歳）の生活習慣病の早期発見のための健診の受診率	28.5% (2014年度)	45.0%	29.3%

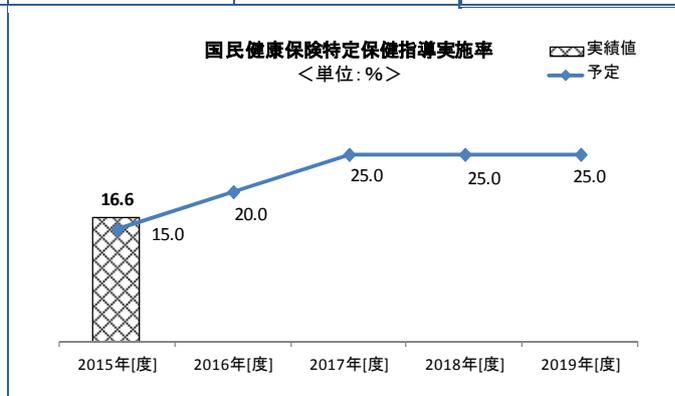


#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	やや遅れている (☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>健診案内の改善、人間ドック費用助成制度の導入、通知や電話による受診勧奨などの未受診者対策を実施した。</p> <p>未受診者の中には、受診者が増加する10月以降に予約が取れず、その結果受診を諦めてしまうケースがあり、また地域によっても受診率に差があることが分かった。</p> <p>一方で年度の前半（特に8月）は受診者が少ないため、今後は8月までの受診者に抽選で景品を贈呈する早期受診促進キャンペーンにより受診者数の平準化を目指すとともに、個人属性や受診動向等の分析に基づく受診勧奨通知の作成、受診率が低い地域での出張集団健診の実施など新事業を展開し、受診率向上を目指す。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>国民健康保険特定保健指導実施率</b> 特定健康診査の結果に応じた医師や管理栄養士等によるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防・改善のためのアドバイスや支援の実施率	3.2% (2014年度)	25.0%	16.6%

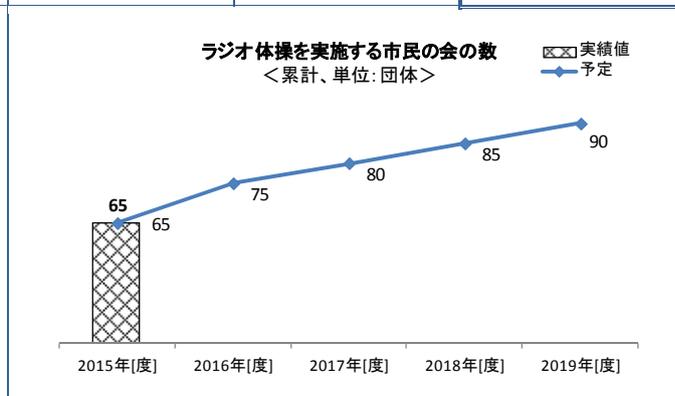


実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>利用券発送の迅速化や特定保健指導実施機関の追加、民間スポーツ施設の無料利用券配布や生活習慣病発症リスク通知の送付など未利用者への利用勧奨などを実施した。</p> <p>保健所健診センターが実施機関となったことに加え、はがきと電話による勧奨が、実施率の増につながったと考えられる。</p> <p>今後も、通知や電話による利用勧奨や様々な媒体を使った周知啓発、および環境整備を工夫しながら進め、実施率の向上を目指す。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
ラジオ体操を実施する市民の会の数 市内の公園などで継続的にラジオ体操を行っている団体数	44 団体 (2014 年度)	90 団体	65

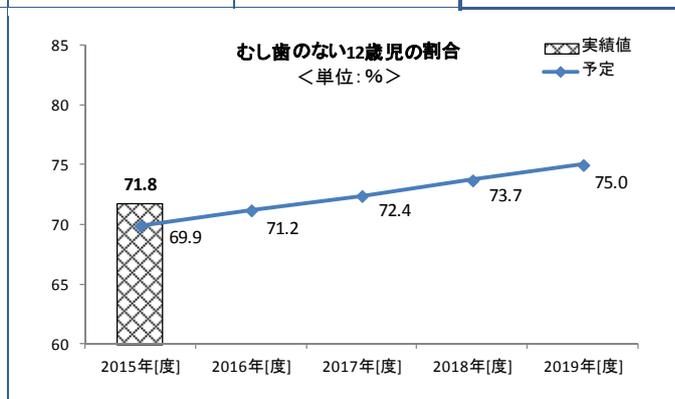


実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>地域や職域でラジオ体操の良さを広め活動するラジオ体操サポーターの養成数も 419 人と順調に増え、地域でのラジオ体操活動は、順調に進んでいる。</p> <p>今後は更に、広く市民にラジオ体操活動を周知及び普及するとともに地域活動のモチベーションアップのため、ラジオ体操講師を招き観光イベントや地域に出向いてラジオ体操イベントを開催する。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
むし歯のない12歳児の割合 中学校1年生でむし歯のない人の割合 (「むし歯等被患状況調査」)	68.7% (2014年)	75.0%	71.8%

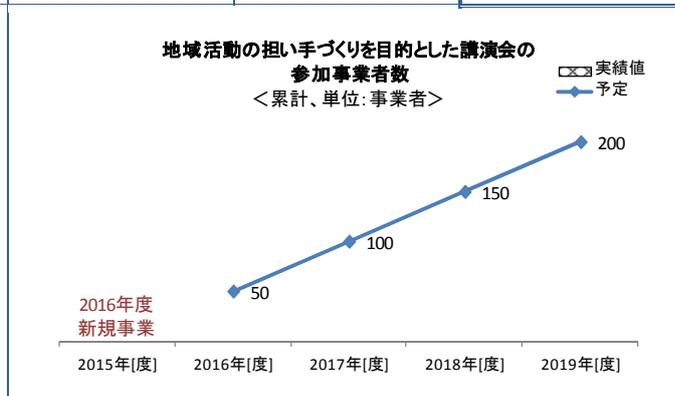


実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	概ね順調に進んでいる (☆☆☆)
現状分析・今後の方針	<p>現状では年々実績値が増加しており順調と考える。しかし、国においては既にフッ化物配合歯みがき剤の市場占有率ならびに使用者割合ともに約9割に達していること等の背景要因の変化により、むし歯のない児童の割合の上昇傾向は抑制がかかる可能性があることを示唆している。そこで、目標達成のため5年生においてむし歯予防効果の高い歯間清掃用具の実習を含んだ学校歯科巡回教室を昨年度より実施している。</p> <p>また、2016年度より市立保育園の4、5歳児にフッ化物洗口を実施する。</p>

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
地域活動の担い手づくりを目的とした講演会の参加事業者数 <small>横須賀商工会議所と共同で開催する地域活動の担い手づくりを目的とした講演会の参加事業者数</small>	—	200事業者(累計)	— 2016年度新規事業



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	今年度の実施に向け講師・講演会内容などを、商工会議所と協議して進めている。

【施策】

【具体的な取り組み】 (新規・拡充があるものを中心に記載)

- ア. 特定健診の受診率、特定保健指導の実施率向上に向け、大学・企業等と連携した取り組みの検討・推進
- ▶ 特定健診の早期受診促進キャンペーンなどの取り組みを進め、受診率の向上を図るとともに、特定保健指導の実施率を高めるため、実施医療機関を増やす取り組みや民間事業者と連携した取り組みを推進する。

【2015年度(平成27年度)実績】

- ・神奈川県立保健福祉大学の協力を得て、特定健診受診率の低い地域での啓発講演会を開催した。
- ・信用金庫の協力を得て、横須賀市国民健康保険の特定健診を受けた方への利率を優遇した「よこすか生涯現役定期預金」による受診啓発を実施した。
- ・積極的支援の保健指導実施機関に「横須賀市保健所健診センター」を追加
- ・特定保健指導の対象者となり、保健指導を利用した方に、民間スポーツ施設での無料利用券を配布した。

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）**イ. ビッグデータを活用した保健事業の展開（データヘルス）**

- ▶ 特定健康診査結果やレセプトなどのデータ解析により策定した「データヘルス計画」を着実に進めるとともに、効果を検証しながら必要に応じて見直しを行い、生活習慣病の予防に向け効率的・効果的な保健事業を推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

- ・効率的・効果的な保健事業を推進するため、データヘルス計画を進めている。

**ウ. 良好な健康状態を保持している人へのインセンティブ（報償）付与の検討**

- ▶ 健康づくりに向けたきっかけづくりや行動の継続を図るなどの取り組みを推進する。

【P41.「基本目標1-(4)-②-ア」にも掲載】

**【2015年度（平成27年度）実績】****【生涯現役ガイドブックの発行】**

188,000部

市内全戸にポスティング（2016年4月）

**エ. 「未病を治す」（※）取り組みの広域連携による推進**

- ▶ 三浦半島サミットにおける「未病を治す半島宣言」に基づき、三浦半島4市1町および神奈川県と積極的に連携した取り組みを推進する。

※「未病を治す」とは、心身の一連の変化の過程において、特定の疾患の予防・治療に止まらず、身体全体をより健康な状態に近づけること。「未病」および「未病を治す」という考え方は、生活習慣病において、典型的に当てはめることができる。（神奈川県ホームページより）

**【2015年度（平成27年度）実績】**

- ・他市町主催の講演会への出席など、専門職（保健師、管理栄養士）の資質向上に向けた交流を行った。

※2016年度（平成28年度）より、神奈川県が、「未病を治す」という表現について、「未病を改善する」というより幅広い表現に変更していくこととしたため、2016年（平成28年）10月31日の第7回三浦半島サミットにおいて「未病を治す半島宣言」を「未病を改善する半島宣言」と変更し取り組みを進めている。

**【施策】****【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

オ. 生活の質の向上、健康寿命の延伸に向けた、子どもの頃からの意識付け（食育、むし歯予防、介護や認知症に対する理解など）

▶ 観光イベントにおけるきっかけづくり、地域の活動を紹介する新聞の発行、活動の継続に向けた動機付けなど、健康づくりの一環としてラジオ体操を行う人を増やす取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】****【観光イベントでのラジオ体操の実施】**

2回（カレーフェスティバル、産業まつり）

**【生涯現役イベント（ラジオ体操講座）】**

1回 参加数 140人

**【「ラジオ体操新聞」の発行】**

22,000部

**【ラジオ体操サポーター養成講座】**

4回 参加数 136人

**【ラジオ体操教室】**

12回 参加数延べ 286人

**【地域・職域からの依頼によるラジオ体操教室】**

8回 参加数延べ 275人

▶ 講演会やイベントの開催など、健康づくりの一環としてウォーキングを行う人を増やす取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【生涯現役イベント（ウォーキング講座）】** 1回 参加数 138人

**【ロコモ予防講演会】** 1回 参加数 60人

**【ウォーキングイベント】** 2回 参加数延べ 153人

▶ 市立保育園での歯科指導、集団フッ化物洗口の実施など、幼児期からの取り組みを充実するとともに、定期的な歯科受診の必要性の啓発など、ライフステージに合わせた歯科疾患を予防する取り組みを推進する。

**【2015年度（平成27年度）実績】**

**【市立保育園歯科指導】** 10園 311人

**【私立保育園歯科指導】** 25園 1,005人

**【その他母子歯科教室】** 92回 3,940人

**【学校歯科教室】** 188回 24,837人

**【成人歯科教室】** 20回 513人

**【2歳6か月児歯科健診】** 1,961人

**【成人歯科健診】** 4,066人

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

カ. 定年退職前の早い段階から市民活動・地域活動に参加するきっかけづくりの提供、地域とのつながりなど定年退職後の新しい生きがいつくりに向けた支援

▶ 地域や企業の取り組みを紹介する事業者向けの情報紙の発行や講演会の開催など、横須賀商工会議所と連携して情報発信・啓発を行う。

【P128. 「(3) -①-ア」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

## ②事業主への働きかけ

事業主に対して、自身の健康管理も含め、従業員の健康状態の維持・増進を図るよう働きかける。

### <重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値												
健康づくり情報を掲載した事業者向け情報紙の発行回数 横須賀商工会議所と共同で発行する情報紙の発行回数	—	13回（累計）	— 2016年度新規事業												
<p style="text-align: center;"><b>健康づくり情報を掲載した事業者向け情報紙の発行回数</b>            &lt;累計、単位：回&gt;</p> <table border="1"> <caption>健康づくり情報を掲載した事業者向け情報紙の発行回数 (累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>発行回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年[度]</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2016年[度]</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2017年[度]</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>2018年[度]</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2019年[度]</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>				年度	発行回数	2015年[度]	4	2016年[度]	7	2017年[度]	10	2018年[度]	13	2019年[度]	13
年度	発行回数														
2015年[度]	4														
2016年[度]	7														
2017年[度]	10														
2018年[度]	13														
2019年[度]	13														

### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	情報紙発行のために、横須賀商工会議所および関係部局と調整しながら進めている。

#### 【施策】

ア. 事業主等への周知・啓発など、横須賀商工会議所との連携強化

#### 【具体的な取り組み】（新規・拡充があるものを中心に記載）

▶ 健診の重要性や健康づくりのアドバイス等の事業者への継続的な情報発信・啓発を横須賀商工会議所と連携して行う。

#### 【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

▶ ラジオ体操を事業所で実施してもらうための取り組みを推進する。

#### 【2015年度（平成27年度）実績】

・「ヘルパー事業者」、「横須賀魚市場関係者」に対して、ラジオ体操指導を実施した。

### (3) 市民活動・地域活動への参画促進

#### ①地域の担い手づくり

市民活動・地域活動の担い手（町内会・自治会役員、民生委員・児童委員など）不足の解消に向け、市・企業・関係機関が連携した取り組みを推進する。

#### <重要業績評価指標（KPI）>

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>【再掲】地域活動の担い手づくりを目的とした講演会の参加事業者数</b> 横須賀商工会議所と共同で開催する地域活動の担い手づくりを目的とした講演会の参加事業者数	—	200 事業者(累計)	— 2016年度新規事業

【再掲】地域活動の担い手づくりを目的とした講演会の参加事業者数  
 <累計、単位:事業者>

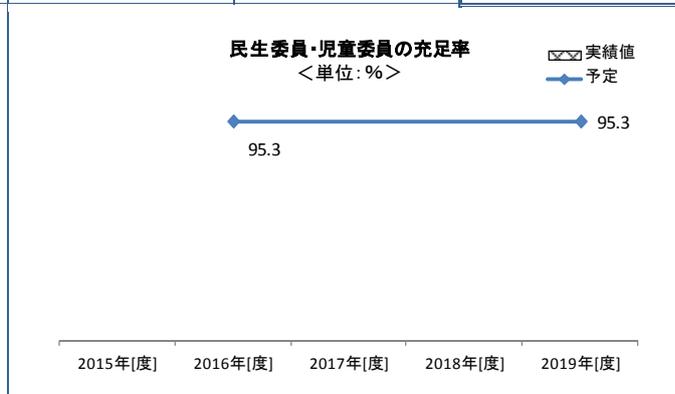


#### 実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	今年度の実施に向け講師・講演会内容などを、商工会議所と協議して進めている。

<重要業績評価指標 (KPI) >

項目	直近値／基準値	指標値	2015年[度] 実績値
<b>民生委員・児童委員の充足率</b> 3年に1度の一斉改選時における民生委員・児童委員の定数に対する委嘱者数の割合	95.3% (2013年度)	95.3%	— 次回改選：2016年



実績値の分析

進捗状況 (達成状況)	—
現状分析・今後の方針	<p>民生委員のなり手不足の要因としては、一人暮らし世帯の増加に加え、民生委員の活動内容に対する市民の理解不足や行政機関等から依頼される活動の増加による負担感などがあると認識している。</p> <p>上記の現状認識を踏まえ、福祉部としても民生委員のなり手不足の原因を探るとともに、民生委員が行っている見守り活動などについても社会福祉推進委員ほか地域の多くの人に関わってもらえるよう、民生委員の活動内容に関する啓発を継続的に行っていく必要がある。</p> <p>また、退職後の市職員の活躍を要望する声が多いことから、退職予定職員への啓発に加え、全職員を対象にした民生委員の活動への理解を深める学習会の実施を検討している。</p>

**【施策】**

**【具体的な取り組み】**（新規・拡充があるものを中心に記載）

ア. 事業主等への周知・啓発など、地域活動の担い手づくりに向けた横須賀商工会議所との連携強化

▶ 地域活動の担い手として活躍してもらうためのきっかけづくりとして、事業者向けの情報紙の発行や講演会の開催など、横須賀商工会議所と連携して情報発信・啓発を行う。

【P124. 「(2) -①- カ」にも掲載】

【2015年度（平成27年度）実績】

【2016年度新規事業】実績なし

▶ 効果的な事業の実施に向け、定期的な検討会を開催するなど、市と横須賀商工会議所との連携を強化する。

【2015年度（平成27年度）実績】

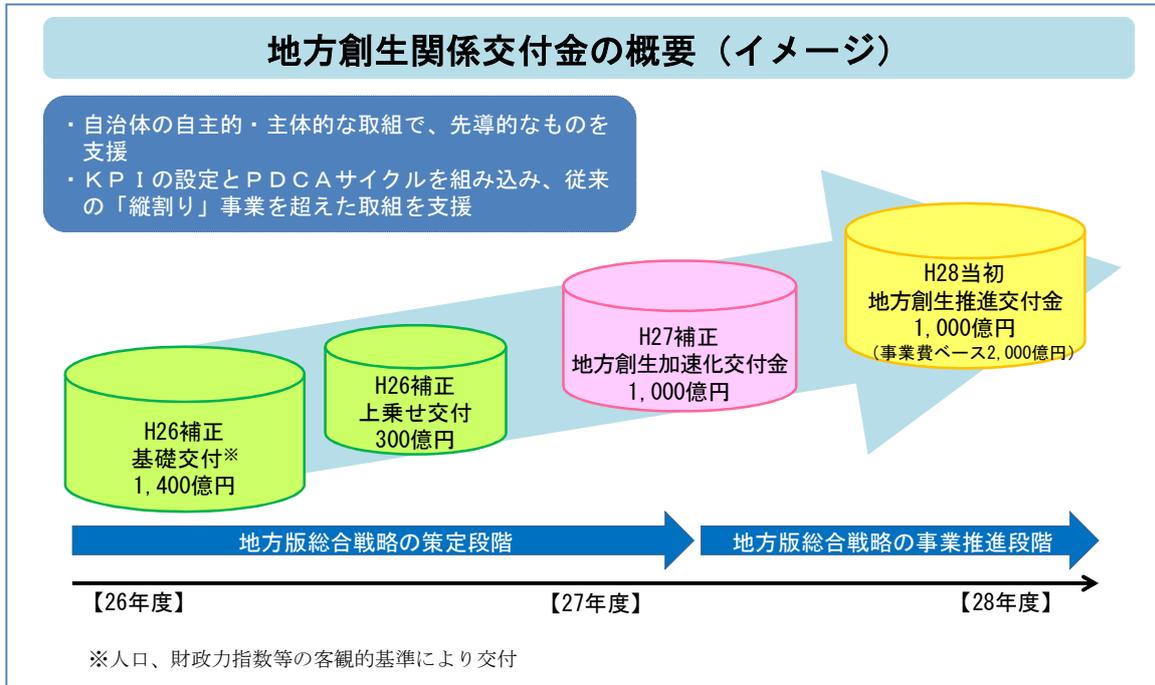
【横須賀商工会議所との連携事業に係る検討会議】  
2回開催（部長級1回、課長級1回）

## ＜参考資料＞

（１）地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業実績・評価

## 地方創生関係交付金の概要

地方版総合戦略の策定および実施に当たり、国が、地方公共団体が適切な効果検証の仕組みを伴いつつ自主性・主体性を最大限に発揮できるようにするための財政的支援として、次のような交付金を創設している。



### 【平成 27 年度 地方創生関係交付金事業一覧】

#### ■基礎交付分（平成 26 年度補正→平成 27 年度に事業実施）

No.	事業名	実績額（円）
1	横須賀市総合戦略策定事業 (観光立市推進基本計画の策定を含む)	10,000,000
2	スタートアップ支援事業	5,794,966
3	横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念事業	38,054,506
4	ANJIN サミット開催事業	1,144,633
5	くりはま花の国エアライフル場リニューアル事業	10,531,200
6	都市イメージ創造発信事業	4,113,607
7	住宅団地流通促進事業	1,898,948
8	多世代同居推進事業	600,000
9	都市イメージ創造発信事業（プロモーション展開）	12,069,703
10	長井海の手公園(ソレイユの丘)魅力向上事業	31,519,948

#### ■上乘せ交付分（平成 27 年度補正→平成 27 年度に事業実施）

No.	事業名	実績額（円）
11	ICT スタートアップ支援による仕事づくり事業	9,014,698

## 事業別調書の見方

### ①基本目標・中柱・小柱

「横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標とその柱番号を記載している。  
事業別調書は基本目標の順に掲載している。

### ②担当部課

事業を実施した部課名で、平成 27 年度の組織名を記載している。

### ③重要業績評価指標（KPI）の状況

重要業績評価指標（KPI）に対する達成率と達成根拠を KPI ごとに記載している。

- ・重要業績評価指標（KPI）：事業の推進状況を測るモノサシ
- ・達成状況：KPI の達成割合
- ・判定：全ての KPI の達成状況を次の基準により判定し、達成率が C・D の場合にはその理由も記載

A	達成率が 90%以上である
B	達成率が 50%以上 90%未満である
C	達成率が 50%未満である（Dを除く）
D	実績なし

## 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

11 事業の重要業績評価指標 21 件のうち、A判定（達成率 90%以上）は 11 件となった。

基本目標	KPI 数 (件)
1	14
2	6
3	1
4	0
合計	21

判定	KPI 数 (件)
A	11
B	5
C	5
D	0
合計	21

## 事業別調書

No.	1			
事業名	横須賀市総合戦略策定事業 (観光立市推進基本計画の策定を含む)	担当部課	政策推進部政策推進課、 経済部観光企画課	
基本目標	1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する	中柱	(3)	小柱 ①
事業目的	<p>「地方版総合戦略」を策定し、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むことで、将来にわたって活力ある地域社会を目指す。</p> <p>また、戦略の柱の一つに位置付ける観光の振興については、観光立市推進条例に基づき、観光の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、観光立市推進基本計画を平成27、28年度の2カ年で策定する。</p>			
事業内容	<p>【横須賀市総合戦略の策定】</p> <p>①総合戦略推進本部会議（内部会議）の開催、戦略委員会会議の開催 ②総合戦略推進会議（外部会議）の開催 ③市議会検討委員会、同特別委員会での議論、パブリックコメントの実施 ④その他 地方版総合戦略策定に係る調査分析委託、非常勤職員雇用</p> <p>【観光立市推進基本計画の策定】</p> <p>①計画の基礎となる本市における基幹産業、観光関連産業の条件付け、本市の現状把握、データ収集等を行うためのコンサル委託 ②観光振興推進委員会の開催</p>			
事業実績	<p>【横須賀市総合戦略の策定】</p> <p>①総合戦略推進本部会議（内部会議）の開催 6回、戦略委員会会議の開催 9回 ②総合戦略推進会議（外部会議）の開催 5回 ③市議会検討委員会、同特別委員会での議論、パブリックコメントの実施（意見4件） ④コンサル委託の実施、非常勤職員雇用1名（通年）</p> <p>【観光立市推進基本計画の策定】</p> <p>①コンサル委託 ・事業者インタビューのまとめ ・Web アンケート調査の実施、分析 ・骨子案の作成支援 ②観光振興推進委員会の開催 6回 ③基本計画策定のための先進事例都市視察 5回 (大阪府高槻市、京都府宇治市、福岡県北九州市、山口県下関市、兵庫県神戸市) ※平成29年3月末策定予定</p>			

※重要業績評価指標（KPI）はなし

No.	2					
事業名	スタートアップ支援事業	担当部課	経済部経済企画課			
基本目標	1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する		中柱	(1)	小柱	③
事業目的	市内創業および市内新事業展開を促進・支援する。					
事業内容	①創業と新事業展開を促進するスタートアップオーディションの拡充 ②創業利子補給制度拡充 ③ICT事業者等支援制度新設（組合新設支援、見本市等PR支援、マッチングイベント開催） ④新事業展開を促進する上級者向けセミナー開設（セミナー開催）					
事業実績	①スタートアップオーディションの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募数 14 件</li> <li>・第1次審査（書類審査） 5 件選出</li> <li>・最終選考会 9月3日 ヴェルクよこすか 大賞（100万円）1件、入賞（30万円）4件</li> </ul> ②県創業支援資金を利用した人に対する利子補給件数 13 件（9事業者） ③ICT組合設立に向けて、準備は進行しているが、年度内の設立はできなかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR補助は申請なし、マッチングイベントは開催できなかった。</li> </ul> ④スタートアップセミナーの開催（市内企業の経営層、次世代の経営層となりうる中核社員対象） <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月5日オリエンテーション、10月10日～2月13日 全6回、横須賀市産業交流プラザ、参加者 25 人（応募定員 25 人）</li> </ul>					
重要業績評価指標 (KPI) の状況	重要業績評価指標 (KPI)		達成状況	算定根拠		判定
	1	スタートアップオーディション 奨励金支給件数：5件	80.0%	奨励金支給 5件		A
	2	創業利子補給金制度件数：20件	65.0%	創業利子補給金制度 13件		B
	3	ICT事業者等PR補助金利用件数：3件	0.0%	PR補助金利用 0件		C
	4	スタートアップセミナー参加数：20人	125.0%	セミナー参加数 25人		A
※「3 PR補助金利用件数」が0件となった理由 ホームページを作成し、チラシを配布するなどして周知に努めたが、利用申請に至らなかった。						

No.	3					
事業名	横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念事業		担当部課	政策推進部文化振興課、国際交流課、教育委員会博物館運営課		
基本目標	1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する		中柱	(3)	小柱	①
事業目的	横須賀市は、今から 150 年前に建設が開始された「横須賀製鉄所」により発展し、そこで培われた技術は日本全国に広がり近代日本のルーツとなった。このような歴史的な功績を市内外に発信し、横須賀の魅力を伝えることにより、観光資源として活用するための事業を行う。					
事業内容	①海上自衛隊観艦式と連携した記念コンサートの開催 ②海上自衛隊観艦式と連携したマーチングバンド等による記念パレードの開催 ③記念講演会・演奏会等の開催 ④横須賀製鉄所創設 150 周年記念企画展を開催し、「近代日本のルーツ横須賀製鉄所」の市内外への発信 ⑤ドライドック見学ツアー、物産展開催					
事業実績	①海上自衛隊の全 6 隊の音楽隊を一堂に会して記念コンサートを実施 10 月 10 日 横須賀芸術劇場大劇場 入場者数 1,605 人（応募者数 5,352 人） 出演：海上自衛隊東京音楽隊、同横須賀音楽隊、同呉音楽隊、同佐世保音楽隊、同舞鶴音楽隊、同大湊音楽隊 ②日本最大級と銘打ち、記念パレード（音楽隊パレードおよびアンコールステージ）を実施 全国の海上自衛隊地方総監部音楽隊の勢揃いや、米海軍第 7 艦隊音楽隊、県内有名マーチングバンド、本市をホームタウンとする、横浜 F・マリノス、横浜 DeNA ベイスターズをはじめ、海外からは、フランスサンシール陸軍士官学校、オーストラリア海軍カラーガードなど参加総数約 1,200 名が、横須賀を舞台に壮大で華麗なパレードを繰り広げた。 10 月 11 日 横須賀中央大通り～ドブ板通り～ヴェルニー公園 来場者数 30,000 人（中央大通り 15,000 人、ドブ板通り 2,000 人、ヴェルニー公園 13,000 人） 参加団体 26 団体（参加者総数 1,216 人） ③横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念講演会・演奏会を実施 11 月 15 日 横須賀芸術劇場 参加者 1,363 人 ・記念映像「近代日本のルーツ 横須賀製鉄所」上映 ・横須賀市、富岡市友好都市提携締結式 ・講演会「横須賀製鉄所からはじまる日仏交流」 講師：磯村尚徳氏 ・神奈川フィルハーモニー管弦楽団による弦楽アンサンブル ④横須賀製鉄所 150 周年記念行事として特別展示を開催 特別展示「すべては製鉄所から始まった —Made in Japan の原点—」 10 月 31 日～1 月 31 日 自然・人文博物館本館、ヴェルニー記念館 ⑤ドライドック見学ツアー、物産展「ヨコスカ・マルシェ」を実施（11 月 14 日・15 日） ・見学ツアー 米海軍横須賀基地内ドライドック周辺エリア 参加者 495 人 ・物産展 ヴェルニー公園 来場者 1,500 人					
重要業績評価指標 (KPI) の状況	重要業績評価指標 (KPI)		達成状況	算定根拠		判定
	1	記念コンサートの入場者数：1,500 人	107.0%	入場者数 1,605 人		A
	2	記念パレードの来場客数：25,000 人	120.0%	来場者数 30,000 人		A
	3	記念講演会・演奏会、ドライドック見学ツアー、物産展の 2 日間集客 1,500 人以上	223.9%	記念講演会・演奏会 1,363 人 ドライドック見学ツアー 495 人 物産展 1,500 人 計 3,358 人（2 日間）		A
	4	H27.11～28.1 までの博物館入館者数の前年の 10%増	119.0%	平成 27 年度 15,033 人 平成 26 年度 11,504 人 (10%増 12,655 人) 対前年比 30%増		A

No.	4					
事業名	ANJIN サミット開催事業		担当部課	政策推進部国際交流課		
基本目標	1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する		中柱	(3)	小柱	①
事業目的	三浦按針ゆかりの4市（大分県臼杵市・静岡県伊東市・横須賀市・長崎県平戸市）が連携して立ち上げた「ANJINプロジェクト連絡協議会」で、按針の功績の顕彰や各市間の相互交流を通じて各市の魅力発信を行っている。平成27年度は横須賀市が幹事市としてANJINサミットを開催し、地域の活性化を図る。					
事業内容	第3回ANJINサミットの開催 ①講演会 ②パネルディスカッション ③市民団体パネル展示 ④関連市物産展					
事業実績	第3回ANJINサミットの開催 4月7日 横須賀芸術劇場 ①基調講演「歴史の中の横須賀」 講師：日本総合研究所 理事長 寺島実郎氏 ②パネルディスカッション「三浦按針が現在（いま）に伝えたもの」 コーディネーター：寺島実郎氏 パネリスト：徳川宗家18代当主 徳川恒孝氏、浄土寺住職 逸見道郎氏 ③アトラクション 市立横須賀総合高等学校 吹奏楽部、緑ヶ丘女子高等学校 バトン部 ④市民団体パネル展示 ⑤各市の銘菓等の販売					
重要業績 評価指標 (KPI) の状況	重要業績評価指標 (KPI)		達成状況	算定根拠		判定
	1	ANJIN サミットの参加者数: 1,000人以上	107.0%	参加者 1,194人		A

No.	5				
事業名	くりはま花の国エアライフル場リニューアル事業	担当部課	環境政策部公園管理課		
基本目標	1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する	中柱		小柱	
事業目的	エアライフル競技の公式戦の開催に必要となる電子標的システム導入により、全国大会予選会の開催増やナショナルチーム、ジュニア選手強化合宿等の利用増につなげる。また、誰もがライフル競技を行えるビームライフル機器購入により、ジュニア等の利用者数の増を図る。				
事業内容	くりはま花の国エアライフル場のリニューアル ①エアライフル電子標的システム導入、エアライフル場利用者指導等 ②ビームライフル機器購入				
事業実績	①エアライフル電子標的システム導入 2月19日完了 導入により、公式戦等の開催が可能になった。 横須賀ライフル協会のホームページにも掲載し、周知を図っている。 ②ビームライフル機器購入 2月23日完了（4月からの有料貸し出し） ※導入後、横須賀ライフル協会のホームページを見て10件程度の問い合わせあり 全日本キッズ大会（7・12・3月）の開催およびその他の公認の大会について、3月時点4大会追加開催決定				
重要業績評価指標（KPI）の状況	重要業績評価指標（KPI）		達成状況	算定根拠	判定
	1	施設利用者数の増：60人増	145.0%	昨年同時期の利用者数との比較 ・28年導入（2/20～3/31） 476人 ・27年同時期（2/20～3/31） 389人 87人増	A

No.	6				
事業名	都市イメージ創造発信事業	担当部課	政策推進部政策推進課		
基本目標	2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる	中柱	(2)	小柱	①
事業目的	<p>本市は、市民の約8割から「住みやすい」、「住み続けたい」と感じてられているにも関わらず、その魅力が市内外に十分に伝わっていないため、転出超過が課題となっている。そこで「住むまち」の魅力をさらに充実させ、市内外に積極的に発信するための施策を展開する。</p> <p>「住むまち」の魅力の充実にあたっては、他市と比較して外国人と交流しやすい特性を生かし、新事業として英語コミュニケーション環境の充実を図る。将来的には「英語コミュニケーションができるまち」としての都市イメージの創造を目指し、事業者等が自立して事業を展開していくための環境を整備する。</p>				
事業内容	<p>①横須賀イングリッシュキャンプの開催 ②横須賀ホームビジット受け入れ家庭の発掘・育成</p>				
事業実績	<p>①横須賀イングリッシュキャンプの開催 8月21日～24日 三浦ふれあいの村 参加者36人（定員40人、応募者102人） ②横須賀ホームビジット受け入れ家庭の発掘・育成 ホストファミリー希望者研修の実施（講習会・体験実習） 2回 1月16日・23日、2月20日・27日 ホストファミリーとなる世帯 7世帯</p>				
重要業績評価指標（KPI）の状況	重要業績評価指標（KPI）		達成状況	算定根拠	判定
	1	横須賀イングリッシュキャンプの開催参加者による事後アンケートの満足度：70%	135.0%	事後アンケート回答者のうち、「非常に満足」「満足」と回答した割合：94.5%	A
	2	横須賀ホームビジット受け入れ家庭の発掘・育成 ホストファミリー登録：20世帯	35.0%	ホストファミリー希望者研修を修了し、ホストファミリーとなる世帯：7世帯	C
<p>※「2 ホストファミリー登録」が7世帯と少なかった理由 新規の取り組みであり、その内容について外国人に十分に周知することができなかったことが原因と思われる。修了した外国人には好評であり、知人に伝えたいとの声もあった。28年度は、修了した外国人の知人等に直接アプローチするとともに、修了者の体験などもターゲットに伝えていきたい。</p>					

No.	7						
事業名	住宅団地流通促進事業	担当部課	都市部都市計画課				
基本目標	2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる	中柱	(3)	小柱	①		
事業目的	現状の若年層の転出超過の是正や、集約型都市構造へ向け、第1種低層住居専用地域に立地する、都市基盤が整い、良好な住環境をもつ住宅団地において、空き家を活用して、子育て世代（市外から転入する中学3年生までの子どものいる世帯）の定住促進および空き家対策、耐震改修促進に繋がる施策を展開する。						
事業内容	子育てファミリー転入応援住宅バンクを開設し、その登録物件を市外から転入する子育て世代が購入する場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・引越し助成（上限15万円、100件）</li> <li>・物件購入助成（市内店舗での購入に限る）（上限20万円、100件）</li> <li>・住宅リフォーム助成（市内業者に限る）（補助率1/2、上限15万円、100件）</li> </ul> を行う。						
事業実績	子育てファミリー転入応援住宅バンクを利用し、転入した子育て世帯の数：3組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・引越し助成 3件 348,482円</li> <li>・物件購入助成 3件 595,400円</li> <li>・住宅リフォーム助成 1件 150,000円</li> </ul>						
重要業績評価指標（KPI）の状況	重要業績評価指標（KPI）		達成状況	算定根拠		判定	
	1	子育てファミリー転入応援住宅バンクを利用し転入した世帯の数：50組	6.0%	転入世帯	3組	C	
※転入世帯が3組と少なかった理由 市外の子育て世代への周知が不十分であったためと考えられる。							

No.	8						
事業名	多世代同居推進事業	担当部課	都市部都市計画課				
基本目標	2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる	中柱	(3)	小柱	②		
事業目的	著しく人口減少が進行している本市において、全庁的に取り組んでいる転入促進対策として、不動産環境の充実に向けた施策を展開する。 定住促進は、ジャンルの違う複数の施策を実施することで、複合的な効果を狙っているが、その一環として、横須賀に住む親元に市外に居住している子ども世帯を呼び寄せる施策を実施する。						
事業内容	市外に居住している子ども夫婦が転入し、2世帯同居を行う際に自宅をリフォーム（市内事業者に限る）した場合、リフォーム費用を助成する。（補助率1/2、上限30万円、10件）						
事業実績	自宅リフォームした世帯の数：2組 住宅リフォーム助成：2件 600,000円						
重要業績評価指標（KPI）の状況	重要業績評価指標（KPI）		達成状況	算定根拠		判定	
	1	子ども夫婦が転入し自宅をリフォームした世帯の数：5組	40.0%	リフォーム世帯	2組	C	
※リフォーム世帯が2組と少なかった理由 市内への周知が不十分であったためと考えられる。							

No.	9				
事業名	都市イメージ創造発信事業(プロモーション展開)	担当部課	政策推進部政策推進課		
基本目標	2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる	中柱	(4) 小柱 ①		
事業目的	市内外への魅力発信にあたっては、恵まれた食環境や快適な気候など、本市の「住むまち」の魅力を集約した冊子概要版を市外重点エリアにポスティングし、直接本市を訪れるきっかけをつくり、将来的に本市が住むまちとして選ばれることを目指す。				
事業内容	市外重点エリアへの横須賀魅力全集(概要版)のポスティング 「住むまち横須賀」の魅力を紹介するため、市外重点エリアを中心とする地域へ、ポスティングにより配布。 ※配布エリア：横浜市(金沢区、港南区、南区、磯子区、瀬谷区)、大和市、海老名市、綾瀬市				
事業実績	横須賀魅力全集(概要版)の市外重点エリアへのポスティング 10月23日～31日 235,700部				
重要業績評価指標(KPI)の状況	重要業績評価指標(KPI)		達成状況	算定根拠	判定
	1	市外重点エリアへの魅力全集(概要版)のポスティング	100.0%	市外重点エリアへのポスティングを1回実施 (配布数 235,700部)	A
2	「横須賀体感モニターバスツアー」への申込数：魅力全集(概要版)のポスティングによる配布数の0.1% ※配付数の0.1%：236組	50.4%	ポスティング後に実施した「横須賀体感モニターバスツアー」の申込数 119組 (配布エリアからの申込数)	B	

No.	10				
事業名	長井海の手公園(ソレイユの丘)魅力向上事業	担当部課	環境政策部公園管理課、公園建設課		
基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	中柱	(2) 小柱 ⑤		
事業目的	「子どもが主役になれる」公園を目指し、現代の多様化する利用者のニーズに対応した魅力的で安心して安全な施設を整備する事により市のイメージアップを図るとともに、集客を促し地域経済の発展を図る。				
事業内容	①長井海の手公園(ソレイユの丘)遊具設置 ②広報宣伝				
事業実績	①大型遊具の設置 3月12日使用開始				
重要業績評価指標(KPI)の状況	重要業績評価指標(KPI)		達成状況	算定根拠	判定
	1	長井海の手公園(ソレイユの丘)入園者数の増：826人増	1479.4%	昨年同時期の入園者数との比較 ・平成28年 3月14日(月)～31日(木) 40,971人 ・平成27年 3月16日(月)～31日(火) 28,751人 12,220人の増	A

No.	11				
事業名	ICT スタートアップ支援による仕事づくり事業	担当部課	経済部経済企画課、企業誘致推進課		
基本目標	1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する	中柱	(1)	小柱 ①	
事業目的	<p>本市には、古くから NTT 横須賀研究開発センタや NTTdocomoR&amp;D センタといった ICT (情報通信技術) に関する研究開発拠点が多数立地し、ICT 関連企業を誘致するための基礎的土壌が存在する。</p> <p>この強みを生かし、ICT 分野でスタートアップをしやすい環境を整えることで、ICT 関連企業を多数誘致し、新規雇用を創出する。</p>				
事業内容	<p>① ICT 関連企業によるオフサイトミーティングの利用支援</p> <p>② ハッカソンの開催</p> <p>③ 主に高校生を対象としたプログラミング研修の実施</p> <p>④ クラウドソーシングを活用した仕事づくりの支援</p>				
事業実績	<p>① 18 社利用 (11 月～3 月)</p> <p>② ハッカソン、アイデアソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀カレーハッカソンの開催 ご当地カレーナンバー 1 の「よこすか海軍カレー」にちなんで、カレーをテーマにしたハッカソンを開催 1 月 23 日・24 日 ヴェルクよこすか 参加者 7 人</li> <li>・(株) ニフコとのアイデアソンの開催 市内企業の (株) ニフコとコラボレーションし、ニフコの製品や技術を活用して本市の課題を解決するアイデアソンを開催 1 月 18 日 (株) ニフコ 技術開発センター 参加者 24 人</li> </ul> <p>③ プログラミング研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内高校生向け研修開催 1 回 10 月 3 日 ヴェルクよこすか 参加者 7 人 (応募者 11 人)</li> <li>・個別学校向け研修開催 2 回 12 月 12 日・19 日 学校法人湘南学院 湘南学院高等学校 参加者延べ 41 人 3 月 15 日 横須賀総合高等学校 参加者 6 人</li> </ul> <p>④ クラウドソーシングを初めて使う人向けのイベント・セミナー開催 7 回 参加者 223 人 スキルアップセミナー開催 3 回 参加者 31 人</p>				
重要業績評価指標 (KPI) の状況	重要業績評価指標 (KPI)		達成状況	算定根拠	判定
	1	オフサイトミーティングを開催した ICT 関連企業数 : 12 社 (平成 26 年度 : 0 社)	150.0%	18 社開催	A
	2	ハッカソン開催回数 : 3 回	66.7%	2 回開催	B
	3	プログラミング研修受講者数 : 45 人	73.3%	受講者数 33 人	B
	4	横須賀版クラウドソーシングの利用者 : 100 人	16.0%	利用者 16 人	C
<p>※「4 横須賀版クラウドソーシングの利用者が 16 人と少なかった理由 ファーストステップについては、横須賀版での 100 人規模の取り組みは難しかった。 今後、浸透していけば、目標に少しずつ近づくことができると考えている。</p>					

(参考) 事業実施結果報告

※内閣府への報告資料

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	交付金の種類	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後に おける実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の 今後について		
			指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの 意見	今後の方針	今後の方針の 理由	
1 横須賀市 総合戦略策定事業	基礎交付	10,000,000	①										
2 都市イメージ創造 発信事業	基礎交付	4,113,607	①	YOKOSUKAイングリッ シュキャンプの開催参加 者による事後アンケート の満足度	70	%	平成28年3月	94.5	地方創生に 効果があっ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった		事業内容の見 直し(改善)	内容を精査し、事業 をより効果的に推進 する
			②	YOKOSUKAホームステ イ受け入れ家庭の発掘・ 育成 ホストファミリー登録制度	20	世帯	平成28年3月	7					
3 都市イメージ創造 発信事業 (プロモーション 展開)	基礎交付	12,069,703	①	市外重点エリアへの魅力 全集(概要版)ポスティング 「モニターバスツアー」 への申込数(配布エリア からの申込数/配付数)	0.1	%	平成28年3月	0.05	地方創生に 効果があっ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった		予定通り事業 終了	
4 くりはま花の国 エアリアル場 リニューアル事業	基礎交付	5,265,600	①	施設利用者数の増	60	人	平成28年3月	87	地方創生に 非常に効果 的であった	総合戦略の KPI達成に有 効であった		予定通り事業 終了	
5 同上	基礎交付	5,265,600	①	同上						総合戦略の KPI達成に有 効であった		事業の継続	事業を継続し、今後 も利用者数の増加に 努める。
6 長井海の手公園 (ソレイユの丘) 魅力向上事業	基礎交付	15,759,974	①	長井海の手公園(ソレイ ユの丘)入園者数の増	826	人	平成28年3月	12,220	地方創生に 非常に効果 的であった	総合戦略の KPI達成に有 効であった		予定通り事業 終了	
7 同上	基礎交付	15,759,974	①	同上						総合戦略の KPI達成に有 効であった		事業の継続	事業を継続し、今後 も利用者数の増加に 努める。
8 住宅団地流通促進 事業	基礎交付	1,898,948	①	住宅団地空き家バンクを 利用し転入した者の数	50	組	平成28年3月		地方創生に 効果があっ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった		事業内容の見 直し(改善)	制度の見直し(対象 者の拡大)を行うと ともに、周知の強化を 図り、事業を継続す る
9 多世代同居推進 事業	基礎交付	600,000	①	子ども夫婦を転入させ2 世帯住宅にリフォームし た者の数	5	組	平成28年3月		地方創生に 効果があっ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった		事業の継続	周知の強化を図り、 事業を継続する
10 スタートアップ支援 事業	基礎交付	5,794,966	①	奨励金支給件数	5	件	平成28年3月	5					
			②	創業利子補給金制度 件数	20	件	平成28年3月	13	地方創生に 相当程度効 果があった	総合戦略の KPI達成に有 効であった			
			③	PR補助金利用件数	3	件	平成28年3月	0					
			④	セミナー参加数(事業者)	20	人	平成28年3月	25					
11 ANJINサミット開催 事業	基礎交付	1,144,633	①	集客数	1,000	人	平成27年4月	1,194	地方創生に 非常に効果 的であった	総合戦略の KPI達成に有 効であった		予定通り事業 終了	
12 横須賀製鉄所 (造船所)創設 150周年記念事業	基礎交付	38,054,506	①	記念コンサートの 入場者数	1,500	人	平成28年1月	1,605					
			②	記念パレードの来場客数	25,000	人	平成28年1月	30,000	地方創生に 非常に効果 的であった	総合戦略の KPI達成に有 効であった			
			③	記念講演会・演奏会 2日間集客数	1,500	人	平成28年1月	3,358					
			④	H27.11~28.1月までの 博物館入館者数の前年	10	%	平成28年1月	30.7					
13 ICTスタートアップ 支援による 仕事づくり事業	タイプ1	9,014,698	①	オフサイトミーティングを 開催したICT関連企業数	12	社	平成28年3月	18					
			②	ハッカソン開催回数	3	回	平成28年3月	2	地方創生に 効果があっ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった			
			③	プログラミング研修 受講者数	45	人	平成28年3月	33					
			④	横須賀版クラウドソーシ ングの利用者	100	人	平成28年3月	16					

各事業の評価等を踏まえた地方 版総合戦略の見直しの有無	見直しを行わない	地方版総合戦略を見直した場合はその 内容。見直しを行わないこととした場 合はその理由	見直しについては、今後予定している総合戦略のKPIの評価と併せて検討するため
--------------------------------	----------	--	--